

厚生労働省「平成28年度 老人保健健康増進等事業」成果報告

**中高年齢者の介護分野への参入に向けた阻害要因等の  
実態把握ならびに実態に即した啓発ツールの開発  
に関する調査研究  
事業実施報告書**

**平成29年3月**

『民間事業者の質を高める』

一般社団法人 **全国介護事業者協議会**

## 巻 頭 言

厚生労働省『2025年に向けた介護人材の確保』（平成27年2月 社会保障審議会福祉部 福祉人材確保専門委員会）によれば、今後、大きく不足することが予想される介護人材の確保に向けて、「まんじゅう型」から「富士山型」へ介護人材の構造転換の必要性が明記されています。

この「富士山型」の介護人材構造においては、人材の「すそ野を拓げる」ことが重視されており、参入促進を図る多様な人材層の1つとして、「中高年齢者」にも大きな期待が寄せられています。

わが国においては、就労や社会活動を行う意思と能力のある中高年齢者が多数存在しており、こうした人材の介護分野への参入を促進することができれば、介護保険サービスや介護予防・日常生活支援総合事業の担い手、あるいは地域におけるボランティア活動の担い手として地域包括ケアシステムの推進に向けて大きな戦力になるものと考えられます。

当協議会においても、特に介護人材の確保が極めて困難になっている東日本大震災の被災地や大都市部の事業者を中心に、介護職や介護補助職、見守りや家事援助などの生活支援サービスの担い手として中高年齢者を積極的に採用している事例が見られます。また、中高齢の住民をエンパワーメントし、互助や総合事業の担い手として育成を進めている事例などもあり、こうした先進事例の普及に向けて各地区で研修会等を進めてまいりました。

他方、子育てが一段落した後の女性の復職支援や子育てと介護職との両立支援、若者を対象とした介護分野のPRなどと比較し、中高年齢者向けの国や自治体による啓発等が比較的手薄であり、そのために「介護は専門的な知識のある人がやる仕事であり、自分たちが活動できる場はない」「腰痛のリスクなど体力的にきつい印象があり、中高年となってから始めるには不安がある」と考える方も多く見られます。

併せて、当協議会の会員からも、中高年齢者向けに社会貢献や働き方の多様性など、介護の仕事の魅力や入門的研修の存在などをアピールするツールがなく、参入を働きかける際の阻害要因となっているとの声が聞かれます。

また、中高年齢者の「介護分野での就労やボランティア活動」にテーマを絞り、業界に対するイメージや参入阻害要因、希望する介護分野での働き方、参入促進のために期待する支援策などを明らかにした調査はほとんど見られない状況です。

こうした現状を踏まえ、当協議会では、「中高年齢者の介護分野の参入に関する実態把握と実態に即した啓発ツールの開発」を目的として、厚生労働省「平成28年度老人保健健康増進等事業」の補助金を活用した調査研究事業を実施いたしました。

本書は、本調査研究事業において実施した全国の中高年齢層を対象としたWEBアンケート調査や実際に介護事業所やボランティア団体で働く中高年齢者を対象としたインタビュー、本調査研究事業のために組成された有識者検討委員会での議論など、本年度の調査研

究事業の内容を実施報告書として取りまとめたものです。本報告書、および本調査研究事業の成果として取りまとめた別冊の「Care Vol.2ー介護の現場で必要とされるシニアの力ー」（本報告書資料編 掲載）が全国の介護事業者やハローワークや福祉人材センターなどの職業紹介事業者の皆様方に活用され、中高年齢者の介護分野への参入促進に貢献するものとなっていましたら幸いです。

最後になりましたが、ご多忙の中で対談や座談会、インタビューにご協力いただきました皆様、試行事業にご協力いただいた各地域の皆様、そして本調査研究事業に対してさまざまなご助言をいただいた検討委員会の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成 29 年 3 月

「中高年齢者の介護分野への参入に向けた阻害要因等の実態把握  
ならびに実態に即した啓発ツールの開発に関する調査研究」検討委員会

座長 田中 栄子

(一般社団法人『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会 副理事長)

(有限会社ノバネットワークス 代表取締役 社長)

## 目 次

◇本 編.....	4
<b>1.本調査研究事業の背景と目的</b> —— 4	
(1) 本調査研究事業の背景 4	
(2) 本調査研究事業の目的 5	
<b>2.事業実施体制</b> —— 6	
(1) 有識者検討委員会・ワーキンググループの目的 6	
(2) 有識者検討委員会・ワーキンググループメンバー 7	
(3) 有識者検討委員会・ワーキンググループでの協議内容 8	
<b>3.本調査研究事業の内容</b> —— 9	
(1) 本調査研究事業の流れ 9	
(2) 介護経営者および中高年齢者インタビュー 10	
(3) WEB アンケート調査 12	
(4) 成果報告会の実施 13	
<b>4.本調査研究事業の成果物</b> —— 14	
(1) 本調査研究事業の成果物 14	
(2) 成果物の普及啓発 14	
<b>5.提言</b> —— 15	
◇資料編.....	17
【資料1】『care vol.2 一介護の現場で必要とされるシニアのカー』冊子 —— 17	
【資料2】中高年者向け WEB アンケート調査 調査票 —— 45	
【資料3】中高年者向け WEB アンケート調査 単純集計表 —— 69	
【資料4】講演資料～中高年齢者の介護分野への参入に向けた阻害要因等～ —— 93	



# 1.本調査研究事業の背景と目的

本章においては、次章以降で本調査研究事業の詳細を述べる前段として、事業を実施した背景ならびに事業の目的について記載する。

## (1) 本調査研究事業の背景

厚生労働省『2025年に向けた介護人材の確保』（平成27年2月 社会保障審議会福祉部会 福祉人材確保専門委員会）によれば、今後、大きく不足することが予想される介護人材の確保に向けて、「まんじゅう型」から「富士山型」へ介護人材の構造転換の必要性が明記されている。

この「富士山型」の介護人材構造においては、人材の「すそ野を拓げる」ことが重視されており、参入促進を図る多様な人材層の1つとして、「中高年齢者」にも行政や介護事業者などから大きな期待が寄せられている。

わが国においては、就労や社会活動を行う意思と能力のある中高年齢者が多数存在しており、こうした人材の介護分野への参入を促進することができれば、介護保険サービスや介護予防・日常生活支援総合事業の担い手、あるいは地域におけるボランティア活動の担い手として地域包括ケアシステムの推進に向けて大きな戦力になるものと考えられる。

当協議会においても、特に介護人材の確保が極めて困難になっている東日本大震災の被災地や大都市部の事業者を中心に、介護職や介護補助職、見守りや家事援助などの生活支援サービスの担い手として中高年齢者を積極的に採用している事例が見られる。また、中高年齢の住民をエンパワーメントし、互助や総合事業の担い手として育成を進めている事例などもあり、こうした先進事例の普及に向けた研修会等を各地区で行ってきた。

他方、子育てが一段落した後の女性の復職支援や子育てと介護職との両立支援、若者を対象とした介護分野のPRなどと比較し、中高年齢者向けの国や自治体による啓発等が比較的手薄であり、そのために「介護は専門的な知識のある人がやる仕事であり、自分たちが活動できる場はない」「腰痛のリスクなど体力的にきつい印象があり、中高年となってから始めるには不安がある」と考える方も多く見られる。

併せて、当協議会の会員からも、中高年齢者向けに社会貢献や働き方の多様性など、介護の仕事の魅力や入門的研修の存在などをアピールするツールがなく、参入を働きかける際の阻害要因となっているとの声が聞かれる。

また、中高年齢者の「介護分野での就労やボランティア活動」にテーマを絞り、業界に対するイメージや参入阻害要因、希望する介護分野での働き方、参入促進のために期待する支援策などを明らかにした調査は数が少ない。

## (2) 本調査研究事業の目的

---

当協議会では、こうした背景を踏まえ、「中高年齢者の介護分野の参入に関する実態把握と実態に即した啓発ツールの開発」を目的として、以下の点を中心に事業を実施した。

全国規模のアンケート調査を通じて中高年齢者の介護分野への参入に関する意向等を詳細に把握する。

実際に介護分野において中高年齢者を活用している事業者への調査を通じ、事業者として求める人材像や職域開拓の手法・視点、教育体制などを把握する。

また、介護分野で働く中高年齢者本人にもヒアリングを行い、介護分野で働く前後を比較したイメージの変化、現在のやりがい・働きがいなどについて聞き取りを行う。

上記の調査結果を踏まえ、中高年齢者を対象とした介護分野参入促進のための啓発ツールを作成する。

併せて、調査結果や成果物を活用した中高年齢者や介護事業者、福祉人材センターなどを対象とした研修会を開催する（来年度以降の事業展開含む）。

## 2.事業実施体制

本章では、本調査研究事業を実施するために組成した有識者検討委員会ならびにワーキンググループのメンバーリスト、および有識者検討委員会等での議論の内容について記載する。

### (1) 有識者検討委員会・ワーキンググループの目的

---

本調査研究事業では、介護労働や地域連携に精通する学識経験者、実際に中高年齢者を雇用する介護事業者などから構成される検討委員会（以下、有識者検討委員会）を組成した。有識者検討委員会の設置・検討により、調査の進め方やアンケート調査項目、好事例の選定基準、報告書の内容に対する助言などを通じて事業全体の質の向上を図った。

併せて、有識者検討委員会の下で実務レベルでの協議を行うワーキンググループを設置した。

## (2) 有識者検討委員会・ワーキンググループメンバー

本調査研究事業の有識者検討委員会およびワーキンググループのメンバーは、以下のとおりである。

### ◆有識者検討委員会 委員メンバー

(敬称略)

氏名	所属
是枝 祥子	大妻女子大学 名誉教授 (座長)
田中 栄子	民介協 副理事長 (有)ノバネットワークス 代表取締役 社長
扇田 守	民介協 専務理事
牧野 史子	(特非)介護者サポートネットワークセンター アラジン 代表
石井 久恵	(公財)介護労働安定センター 業務部次長
田尻久美子	民介協 関東甲信越地区理事 (株)カラース 代表取締役
菅野 雅子	フォスターリンク(株) コンサルタント
田中 知宏	(株)浜銀総合研究所 主任研究員
迫田 三佳	年友企画(株) 企画編集部次長

### ◆ワーキンググループ メンバー

(敬称略)

氏名	所属
是枝 祥子	大妻女子大学 名誉教授 (座長)
田中 栄子	民介協 副理事長 (有)ノバネットワークス 代表取締役 社長
扇田 守	民介協 専務理事
田尻久美子	民介協 関東甲信越地区理事 (株)カラース 代表取締役
菅野 雅子	フォスターリンク(株) コンサルタント
田中 知宏	(株)浜銀総合研究所 主任研究員
加藤 善崇	(株)浜銀総合研究所 研究員
迫田 三佳	年友企画(株) 企画編集部次長

### (3) 有識者検討委員会・ワーキンググループでの協議内容

本調査研究事業における有識者検討委員会およびワーキンググループの実施状況ならびに協議事項は以下のとおりである。

会議名	実施日時	協議事項
第1回有識者検討委員会兼 第1回ワーキンググループ	2016年9月8日	事業の趣旨・目的・全体像の説明 本事業における各種用語の定義等について 事業実施内容の説明 成果物の方向性について
第2回ワーキンググループ	2016年10月20日	アンケート調査の設計について アンケート実施スケジュールについて
第2回有識者検討委員会兼 第3回ワーキンググループ	2016年12月2日	WEBアンケート結果の報告 インタビュー実施状況報告 成果物の構成案について 今後のスケジュールについて
第3回有識者検討委員会兼 第4回ワーキンググループ	2017年2月15日	成果物原稿について 適職診断シートの内容について 成果報告会について

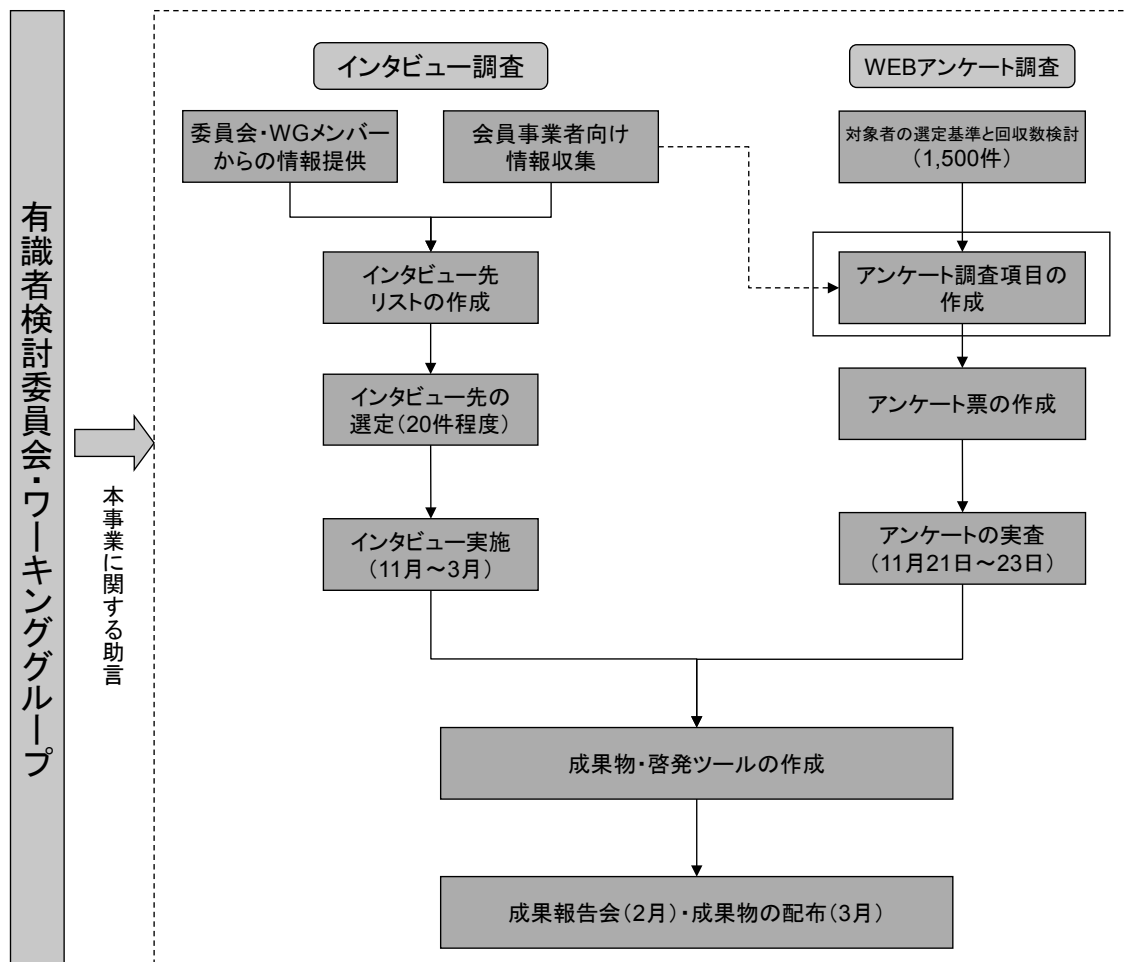
### 3.本調査研究事業の内容

本章では、本調査研究事業の流れと本調査研究事業で実施した当協会の会員事業者向け情報収集（FAX 回収による自由回答形式の情報収集）、インタビューおよびアンケート調査の実施概要について記載する。

#### （1）本調査研究事業の流れ

本調査研究事業のフローは以下のとおりである。

図表 1：本調査研究事業のフロー



## (2) 介護経営者および中高年齢者インタビュー

### ①インタビューの実施概要

本調査研究事業の成果物である中高年齢者向けの啓発ツール作成に向けた基礎情報を収集することを目的として、中高年齢者を活用している介護事業所の経営者および介護分野での就業あるいはボランティア活動を行っている中高年齢者に対してインタビューを実施した。

具体的な実施概要およびインタビュー先は、以下のとおりである。

図表 2：インタビュー実施概要

関連項目	実施内容
○調査対象	中高年齢者を活用している介護事業所の経営者介護および、事業所やボランティア団体で働く中高年齢者
○抽出方法	有識者検討委員会・ワーキンググループメンバーでの議論、当協議会の会員事業者からの情報を通じてインタビュー先を選定
○調査実施件数	介護事業所経営者 3 名、中高年齢者：12 件（座談会参加者含む）
○調査手法	半構造化面接法により実施
○調査実施時期	2016 年 11 月～2017 年 3 月

図表 3：経営者インタビューの実施先

インタビュー対象事業者・対象者	本部所在地	インタビュー実施日
○有限会社ノバネットワークス 田中 栄子 氏	岐阜県郡上市	2016 年 12 月 2 日
○株式会社カラーズ 田尻 久美子 氏	東京都大田区	2017 年 2 月 18 日
○ばんぶきん株式会社 渡邊 智仁 氏	宮城県石巻市	2017 年 3 月 7 日

図表 4：中高年齢者向けインタビューの実施先

インタビュー対象事業者	対象者の 就業・活動エリア	インタビュー実施日
有限会社ノバネットワーク 2名	岐阜県郡上市	2016年11月15日
有限会社菜花 1名	愛知県名古屋市	2016年11月16日
株式会社ソラスト 1名	大阪府大阪市	2016年11月23日
有限会社愛のかけはし 1名	大阪府東大阪市	2016年11月24日
株式会社ライフサービス 1名	福井県小浜市	2016年12月9日
社会福祉法人伸こう福祉会 1名	神奈川県横浜市	2016年11月30日
NPO 法人校舎のない学校 1名	岐阜県大垣市	2016年11月16日
NPO 法人介護者サポートネットワークセンター アラジン 1名	東京都港区	2016年12月16日
東京都大田区 多摩川芙蓉ハイツ シニアクラブ 1名	東京都大田区	2016年11月11日
株式会社ケアアカデミー葉っぱのフレディ 1名 (座談会参加者)	東京都中野区	2016年11月28日
株式会社カラーズ 1名 (座談会参加者)	東京都大田区	2016年11月28日

※インタビューを行った個人名は割愛した。

## ②インタビュー項目

本調査研究事業で実施したインタビューでは、主に以下の項目について聴き取りを行った。

### ■経営者向けの聴き取り項目

- ・中高年齢者の活用実態（従事している業務・活動、活用人数）と今後の活用意向
- ・中高年齢者を活用する際の課題や配慮している点
- ・中高年齢者が特に優れていると感じる点 など

### ■中高年齢者向け聴き取り項目

- ・介護の仕事やボランティアを行う前の経歴
- ・介護の仕事やボランティアに参入するきっかけ、動機
- ・介護の仕事やボランティアに参入する前と後でのイメージの変化 など



### (3) WEB アンケート調査

#### ①WEB アンケート調査の実施概要

インターネット調査会社のモニター登録会員を対象として、中高年齢者の介護分野参入にかかる意識（介護分野に対するイメージ、介護分野参入の阻害要因、希望する働き方など）を詳細に把握することを目的としてWEBアンケート調査を実施した。

アンケート調査の実施概要は、以下のとおりである。

図表 5：WEB アンケート調査実施概要

関連項目	実施内容
○調査目的	中高年齢者の介護分野参入にかかる意識（介護分野に対するイメージ、介護分野参入の阻害要因、介護分野における希望する働き方など）の把握
○調査対象	インターネット調査会社（楽天リサーチ）のモニター登録会員のうち、介護事業所での就業や継続的・定期的介護ボランティアの経験がない55歳～70歳までの男女
○回収数	回収数1,500件となるまで調査を実施
○調査方法	WEBアンケート調査
○調査実施時期	2016年11月21日～23日

#### ②アンケート調査における設問項目

本調査研究事業で実施したアンケート調査においては、主に以下の設問項目を設定し、調査を実施した（アンケート調査票については資料編を参照）。

- 個人属性（年齢、居住地、職業経験、学歴、年収）
- 今後の就業あるいはボランティア活動意向とその理由
- 介護に関する情報収集や介護事業者との接点の状況
- 介護事業所での就業やボランティア活動の意向と就業・ボランティアを行う際の不安
- 介護事業所での就業やボランティア活動を行いたくないと考える理由

#### ③アンケート調査の集計結果

アンケート調査の集計結果については、資料編を参照されたい。

#### (4) 成果報告会の実施

---

本調査研究事業の成果の普及啓発を目的とする報告会を2017年2月18日に東京都千代田区で実施した。報告会では、研究会の座長である大妻女子大学の是枝祥子名誉教授に事業内容と調査結果に関するご講演をいただいた（成果報告会におけるプレゼンテーション資料は、資料編参照）。

報告会の実施概要は、以下のとおりである。

図表 6：成果報告会の実施概要

実施日	実施場所	受講者数
2017年2月18日	エッサム神田2号館（東京都千代田区）	94人

## 4.本調査研究事業の成果物

本章では、本調査研究事業を通じて作成した成果物と事業成果の普及啓発の方法について記載する。

### (1) 本調査研究事業の成果物

---

#### ①成果物作成の流れについて

本調査研究事業では、アンケート調査やインタビューの結果を踏まえ、中高年齢者に介護分野の仕事やボランティア活動に興味を持ってもらうためのツールとして、冊子「Care Vol.2 ー介護の現場で必要とされるシニアのカー」を作成した。同冊子の内容については、資料編を参照されたい。

#### ②成果物のコンセプト

成果物の基本コンセプトは以下のとおりである。

介護の仕事や介護のボランティアの経験がない方々に、介護の職場・ボランティアの内容、資格、介護保険サービスの種類などを理解いただけるよう、わかりやすい内容とする。

また、介護業界に対して好意的なイメージを持っていただける内容・構成・デザインとする。

実際に介護の職場やボランティア活動の場で働く中高年齢者の生の声を掲載した冊子とする。

介護事業所や各地のハローワーク、福祉人材センター、シルバー人材センターなどが中高年齢者に介護の職場を紹介する際に活用可能な内容とする。

### (2) 成果物の普及啓発

---

#### ①全国の介護事業者等への配布

本事業を通じて作成した成果物について、全国の介護事業者、ハローワーク、シルバー人材センター、福祉人材センターなどに配布し、成果の普及・啓発を行った。

#### ②当協議会ホームページへの掲載

成果物を当協議会のホームページにおいて公開した。

#### ③業界紙等への情報発信

業界紙等への成果物の送付を通じ、マスメディアを活用した事業成果の発信を行った。

## 5.提言

本章では、本調査研究事業を通じて得られた各種情報や有識者検討委員会での議論を踏まえ、中高年齢者の介護業界での活用促進に向けた、主に介護事業者に対する提言を記載する。

### ①介護の仕事やボランティアに対する「正確な理解」の促進

今回実施した中高年齢者を対象とする WEB アンケート調査の結果によれば、介護業界や介護の仕事について肯定的なイメージを持っている方が約 2 割にとどまっている状況がある。

ただし、こうした業界へのイメージは、日常的な介護事業所との接点、あるいは介護に関する情報入手によって改善する傾向が見られる。

また、介護業界や介護の仕事に肯定的なイメージを持つ群とそうでない群を分け、介護の仕事への就業意向を比較すると、肯定的なイメージを持つ群のほうが介護の仕事をしたいと思える方の割合が高いという結果も出ている（資料編 『Care Vol.2 ー介護の現場で必要とされるシニアのカー』および是枝座長講演資料参照）。

こうした結果を踏まえ、より正確に介護の仕事の中高年齢者に知ってもらえることができれば、業界や仕事に対するイメージが変化し、介護業界での就業に前向きな方が増加する可能性があると考えられる。

そこで介護事業者においては、例えば、地域住民向けのセミナーや施設見学会、地域イベントへの参画などを通じて住民との接点づくりを積極的に進め、中高年齢者へ介護業界や介護の仕事等に関する正確な情報を伝えていくことで人材獲得につなげていく取組みが期待される。

### ②ターゲットを絞った効率的・効果的なアプローチの実施

今回の WEB アンケート調査を踏まえれば、中高年齢者における介護の仕事への就業意向やボランティア活動への参加意向は必ずしも高くないという結果が出ている。そのため、中高年齢者全般に対して介護業界での就業等を働きかけることは、ヒト・モノ・カネの制約があるなかで必ずしも効果的ではないと考えられる。

他方、介護業界での就業意向やボランティアの参画意向について見ると、「どちらともいえない」と回答している、介護業界での仕事やボランティアを明確に忌避しているわけではない層が一定の割合で存在している。

①のような介護業界に対する理解者を広げていく取組みと併せ、中間的な意向を有する層の抱えている不安や仕事に対するニーズなどを分析し、彼（彼女）らのニーズに即した、ターゲットを絞った働きかけを行うことで、効率的・効果的に就業に前向きな層の増加につなげていくことが考えられる。

### ③中高年齢者が就業・活動可能な業務の開拓

今回実施した経営者を対象とするインタビューにおいては、中高年齢者にとって介護の仕事は身体的な負担が大きく、長く続けることが難しいという印象を持たれているとの指摘が聞かれた。実際、WEB アンケート調査でも、介護の仕事をする上での不安として、体力的な問題を挙げる回答者の割合が高くなっていた。

他方、『Care Vol.2 -介護の現場で必要とされるシニアのカー-』に掲載した中高年齢者の活用に成功している事業者においては、中高年齢者が介護職だけでなく、自らの体力や働き方の希望に合わせ、デイサービスの送迎や介護補助職、法人の間接部門など多様な業務に従事している様子が見て取れた。

介護事業者においては、中高年齢者を短期的な労働力として扱うのではなく、介護業界に定着し、長く働き続けてもらえるよう、自法人の業務内容を分析し、体力面に不安を抱えるシニア人材でも活躍できる職域の開拓、業務の切り出しを行うことが重要である。

また、①とも関連するが、本調査研究事業の成果物である啓発ツールなどを活用し、介護の仕事やボランティアにおける働き方・活動内容の多様性について、事業所内外へ積極的に発信していくことが求められる。

## 【資料 1】

『care vol.2 一介護の現場で必要とされるシニアのカー』

冊子





いくつになっても自分らしさを  
発揮できるフィールドがある!

# Careケア vol.2

介護の現場で  
必要とされる  
シニアの力



いくつになっても自分らしさを  
発揮できるフィールドがある!

# Careケア



新しく始めて  
みませんか？

発行：「民間事業者の責を高める」

一般社団法人 全国介護事業者協議会

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-3 現合ビル3F

TEL 03-5289-4381 FAX 03-5289-4382





# 新しく始めて みませんか？

From now on!

介護って、  
実はとてもクリエイティブ。  
自分らしさが 人との出会いが  
長年培ってきたキャリアが  
いままで生きてきた人生そのものが  
そのまま投影される。  
人生の先輩たちの伴走者として  
自分がどこまでやれるのか？  
シニア世代に甘んじるのではなく  
いまを生きる一人の人間として  
挑戦するのびつたりのこの仕事を  
セカンドキャリアと考える、  
新しく始めてみませんか？  
いま…



発行：「民間事業者の質を高める」

一般社団法人 全国介護事業者協議会

〒101-4047 東京都千代田区内神田2-5-3 見谷セック3F TEL 03-5289-4381 FAX 03-5289-4382

# いくつになっても自分らしさを 発揮できるフィールドがある！ Careケア

## 介護の現場で必要とされるシニアの力

### 1 介護の仕事ってこんなに素敵！ 6

特集

思ってもみなかった、主婦50歳からのチャレンジ。  
人生がこんなにも輝き、魅力的になるなんて！

### 2 海上保安庁のパイロットから転じて、 ヘルパーの仕事をセカンドキャリアに選んだわけ 16

特集

操縦かんから自転車のハンドルに変わっても  
信念だけは変わらない 僕の人生がある

### 経営者に聞きました 10

労働力が不足するこれからの時代、シニア層の活躍に期待しています！

### シニア1500人にアンケート 12

介護の仕事についてどのくらい知っていますか？

### 働き方診断チャート…タイプ別の解説つき 20

「働きたい」条件と事情に合わせてこんな職場がある

### いまからでも遅くない資格ゲットへの道 24

福祉のフィールドで必要な資格&取得法

### 施設？ヘルパーステーション？デイサービス？ 26

意外に知らない福祉の現場…シニアから働ける職場はこんなにある！

## 特集 転職して介護の仕事をした人にインタビュー

#### ケース① エリアマネージャー 市村 都さん 61歳 28

◎非常勤のヘルパーから正社員。そして京都地区のエリアマネージャーに

#### ケース② デイサービス職員 山田 泰史さん 67歳 30

◎熟練の印刷工からの転身先は、思いもよらぬデイサービス職員

#### ケース③ デイサービスドライバー 川畑 三喜男さん 64歳 34

◎第二の人生を延髄梗塞で中断。ラグー魂で渾身のリハビリ、ドライバーとして完全復帰！

#### ケース④ 人事・総務 神田 求さん 64歳 36

◎外資系企業から人事総務のプロとしてキャリア転職。前職の経験を活かせる職場へ

#### ケース⑤ ボランティア活動 酒井田 久美子さん 74歳 38

◎家に閉じこもっていないで、だれかのお役に立ちたい！ボランティア活動が生きがいに

#### ケース⑥ ボランティア活動 峯崎 光恵さん 64歳 40

◎母を見送って4年余。自分の老後も考え、ボランティアをしながら、楽しんで暮らす毎日

#### ケース⑦ シニアクラブ立ち上げ 竹本 晃さん 73歳 42

◎地域を自分の住みやすい場所に！400世帯居住のマンションでシニアクラブを立ち上げる

## Talk&Talk

自分より少し先を行く方々と仕事で接することで

来し方行く末がわかる。老いることを自ら見つめるよい機会にも。 44

### シニアになってからの就活。不安にお答えする Q&A 48

# 介護の仕事ってこんなに素敵 毎日毎日、人が相手の仕事だから 気も使うが、楽しいし刺激的！

思ってもみなかった、主婦50歳からのチャレンジ。  
人生がこんなにも輝き、魅力的になるなんて…

仕事を辞めて  
ぶらぶらしているとき  
ヘルパーという  
仕事に出会う

埼玉県市川町にある訪問介護事業所「アネクトワークス」の藤田即子さん(65歳)はヘルパー歴17年のベテラン介護職員だ。94年の終わりと、仕事を辞めてぶらぶらしていたときに、たまたま近所に回覧板を届けに行きたる中茶社さんの縁で「ヘルパー講習受けよう」と誘われたのがこ



うヘルパーを採るリタイア役もあつた。いまでは後輩にそれを譲り「ヘルパーとして利用者さんの家をまわり、若いスタッフの相談に乗ったりアドバイスも行う。

お姑さんを亡くして心にぽっかり穴が空くそのとき勧められた仕事にすっかりハマる

一方、佐藤恵代子さん(64歳)は、ヘルパー歴17年。子育てがひと段落。ご主人の職業の介護をした。長年お世話したお姑さんや年になって心にぽっかり穴が空いてしまった。それ

の世界に入らなかつた。

「それからどうするの立ち上げのときで、応募するところ

で働いてます(笑)」

その間、介護福祉士の資格を取ってサード介護職員と



Interviewee  
ヘルパーアネクトワークス ヘルパー  
佐藤恵代子さん 64歳

ヘルパーアネクトワークス ヘルパー  
藤田即子さん 65歳

を埋められず、鬱々とした毎日を送っていたある日、縁あって中社長と出会う。仕事に対する社長の考え方にすっかり共感して、ヘルパーの仕事始めることに。

「ヘルパーの資格は、家で介護するのに役立つ知識が得られると思うたが、前に取っていたのですが、まさか自分がヘルパーの仕事をするなんて思ってもみませんでした。新人とし

て入り、先輩の藤田さんから教えてもらいながら、一人前のヘルパーに成長した。人生の充実感が相手なので、いろいろあったが、それを一つひとつクリアすることで、どんどん仕事にハマっていた。非常勤としての働き方を真にしているが、介護福祉士の資格も取得。訪問回数を増やして働いたころもあるが、今はだいぶ減らして、働き方にも柔軟にしている。



期出社して、まず今日の訪問先の資料を見る佐藤さん。



弊社のミーティング。利用者さんに関する申し送りや注意事項をチームで確認し合う。

# ヘルパー始めてから、まわりの人に「若くなっただね」と言われるんです...

チームで働くから  
職場はいつも  
和気あいあい

ノバでは、幅広い年代層のスタッフが一緒に働いているが、よくある女性の職場特有の固りもさほど感じない。

「不思議なんだけど、ここには同じ思いをもった人が集まってきた。だからもうイライラするっていう気持ちはなくて、思いが一緒の



人。それが大事です。自然と声がかみ、チームとしてやりやすくなっています」(藤田さん)。

モチベーションが  
高いのでお互いが  
刺激し合う

仕事をばいさず。

「私もノバに入ってから人生ちょっと変わったんだなあって思っています。又々ノバのみんながモチベーション高く、もっともっと一緒に、お互いが互いに刺激し合うことでモチベーションが上がります」

ヘルパーの仕事始めてから  
周囲の人から「若く見られるね  
若々しくなっただね」と言われる。

「業務はもう慣れて、むしろ日々の様子を周囲に話して、楽しんでるんですよ。本当に楽しんでいます。」

チームで利用者のことを考えて

る。チームの「風」として働いてるんだよね。業務がもりもりだ」(藤田さん)。

生きていると  
チャンスがいつばいある  
それを自分で上手に  
取りに行くことが大事

もし、この仕事に出会わなかったらどうしていただろう、と後悔



みんな藤田さんと同じように楽しんでる。誰かの手もしていただかん。

若い女性たちを見ていると、手取りを楽にするようにして、楽な仕事があるように感じられる。しかも、自分たちが若い年代になると、経験を積んで、年を重ねると、若年層の気持ちがよくわかる。みんなもっとも楽しめるようにする。

「あぁ来てくれたんだ」って



業務が楽しくて、みんな楽しんでる。この仕事をやりたくて入ったんだよね。「強しかならなくて」「そうやな」と言っただけ。何にもないよ。

「仕事を楽しくて、みんな楽しんでる。みんな楽しんでるよ。業務が楽しくなりました。業務も楽にできる。みんなも楽しんでる。みんなも楽しんでるよ。」(藤田さん)。

## 現場で活きるシニアの力

### シニアでスタートするからこそ「味のある仕事」ができる

働くシニアの先輩 田中栄子さん

職場では、先輩が一蹴としてなつてくるヘルパーの方が多い。でも、田代の人たちがたくさんいてくれて。みんなシニアの方たちの活躍が



あつて、自分たちが活躍できる場所がある。

みんなが活躍している。みんなが活躍している。みんなが活躍している。みんなが活躍している。

いままでの女性の働き方と違って、みんなが活躍できる場所がある。みんなが活躍できる場所がある。みんなが活躍できる場所がある。

たのびたいけど、シニアの方の経験が、みんなが活躍できる場所がある。みんなが活躍できる場所がある。みんなが活躍できる場所がある。

「味のある仕事」が、みんなが活躍できる場所がある。みんなが活躍できる場所がある。みんなが活躍できる場所がある。



# 経営者に 聞きました

介護事業所の経営者は、シニア人材を雇用することについてどのように考えているのでしょうか？  
シニア層の活用状況は？ なぜ職力として重宝するのか？  
雇用にあたって留意している点は？  
など、さまざまな角度から質問してみました。

## Q1 シニアの方々は、 介護の現場でどんな仕事を しているのでしょうか？

さまざまな領域で  
活躍されています。  
たとえばこんな職場です。

- 「ホームヘルパーで60歳を超えて活躍している方が、多数在籍しています。比較的生涯のヘルパーが現場を支えているケースが多いですね。彼女(彼)らがなければ、サビトスが成り立たないです。」
- 「60歳を超えたら介護の仕事始めた方もいますが、もう少し若い年齢から働き始め、そのまま継続して働いてもらっている方が比較的多いですね。」
- 「通所介護事業所の送迎ドライバーやレクリエーション活動の補助、地域で開催する介護予防教室のスタッフとして、働いていただいています。なかには70歳代の方も「元気でやる気があれば、いつまでも働いてもらいたいと考えています。」
- 「在宅高齢者の生活を支える生活支援ボランティアとして、シニア人材の方が多数在籍しています。自分や家族に介護が必要になったときの備えとして、介護技術や社会保障制度などについていろいろ学べるのが、モチベーションにつながっているのではないのでしょうか？」

し若い年齢から働き始め、そのまま継続して働いてもらっている方が比較的多いですね。

「通所介護事業所の送迎ドライバーやレクリエーション活動の補助、地域で開催する介護予防教室のスタッフとして、働いていただいています。なかには70歳代の方も「元気でやる気があれば、いつまでも働いてもらいたいと考えています。」

「在宅高齢者の生活を支える生活支援ボランティアとして、シニア人材の方が多数在籍しています。自分や家族に介護が必要になったときの備えとして、介護技術や社会保障制度などについていろいろ学べるのが、モチベーションにつながっているのではないのでしょうか？」

## シニア人材が 介護の仕事に フィットする理由 は何でしょうか？

- 「利用者の方と年齢が近く、しかも社会人としての基本的なマナーやコミュニケーションスキルを身につけている方が多いため、介護職としての立ち上がりやすいように思います。長く専業主婦だった人の場合、家事スキルが高いのも豊富です。家事援助のヘルパーとしての活躍が期待されます。」
- 「現役時代の職業を通じて得た簿記や人事、マシナリのスキルなどを活かして、介護が草莽企業スタートしていただければ、介護の専門職が、より専門性の

必要なケアに注力できるよう、要介護度が軽度の方への夜寝の担い手や介護補助職として働いてもらいたいと考えています。

「年齢の近い方が地域のコミュニティや介護予防教室にいらして、高齢者の方もそこに参加しやすくなります。事業所内だけでなく、地域活動の場などでもぜひ活躍してもらいたいですね。」

「仕事が一段落して、社会貢献をしたいという高い意識をもつ方が多いので、志がしっかりした方が多いと感じています。」

## Q3 雇用に際して、留意している点を教えてください。

- 「採用時に年齢制限を設けず、人事制度で採用しています。シニアの方たちにも、役職登用や職の機会を公平に提供しています。」
- 「長く働き続けてもらいたいため、夜勤や急発助など、体力面で負担の大きい業務・活動を減らし、比較的負担の少ない活動のフィールドを、さまざまに用意しています。」
- 「歳を重ねてから新しいことを覚えるのは大変です。若手職員と比較すると、業務内容などを覚えるのには時間を要するな、長い目で見たOJTを行うよう、指導にあたる職員には伝えられています。」
- 「介護業務の方や体力に自信の方を、いらつしやるため、身体に負担のかからない介護技術や認知症の方への対応などについて、随時しっかりと研修をするようにしています。」

うにしています。

「介護の仕事はチームワークが重要です。以前の職場でも接する機会が少なかった方については特に力を入れて、チームワークの重要性を説明し、指導しています。」

「これまでの設備・社会的な地位、プライドを一度忘れ、初心にもどって学んでもらうことが大切です。」

資格を取って  
働くだけでなく、  
介護の世界も違う働き方が  
生まれてきています。  
そういったジャンルに  
フィットしていくのでは  
ないでしょうか。

利用者さんと年齢が近く、社会経験も豊富、  
コミュニケーションスキルも高いので、  
信頼関係が築きやすいことが、魅力です。

## Q4

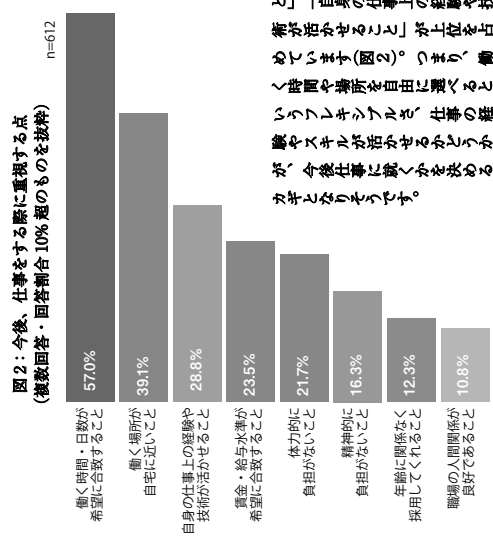
今後は、シニア人材の活躍の場は、  
どう広がっていくと考えますか？

- 「シニア人材をいま以上に積極的に活用していきたいです。現在、在籍しているシニアの方々の数は、なるべく長く働き続けてもらいたいと思っています。」
- 「自分の体調や体力と相談しながら無理がないよう、自分のペースで働いてもらいたいですね。」
- 「第一線の介護職としては、体力面や技術面で不安がありますが、これからスタートする介護事業のスタッフとして活躍していただけるのではないかと考えています。」

# シニア1500人に アンケート。 介護の仕事に ついてどのくらい 知っていますか??

この本を作成するにあたり、  
1500人の中高年齢層(55歳~70歳)の  
人たちに、今後の働き方やボランティア活動参加への意向、  
介護の仕事への興味・関心などについて、  
インターネット上で以下のような  
アンケート調査を実施しました。  
果たして中高年齢層の人たちの介護分野への参入が  
期待できるでしょうか？結果を踏まえ、考えてみました。

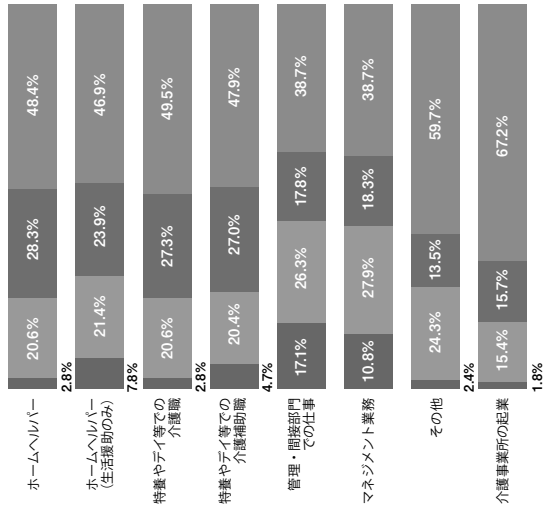
「仕事をしたい」「やや仕事を  
したい」と考えた人は、その理由  
を尋ねると、「生活費を得るた  
め」や「健康維持のため」と答  
える人が最も多く、「自分の  
小遣いのため」「将来の生活費



金のため」「余暇の時間を有効に使いたため」が続き、仕事をしたい時に重視することは、「働く時間・日数が希望に合致すること」がいちばん多く、次に「働く場所が自宅に近いこと」「自身の仕事上の経験や技術を活かせること」が上位を占めていきます(図2)。つまり、働く時間や場所を自由に選べるというフレキシブルな、仕事の経験やスキルを活かせるかどうか、今後の仕事は嫌々を求められるか否となりそうです。

労働条件や就業場所が折り合い、自身のスキルや経験を活かせるかがカギに...

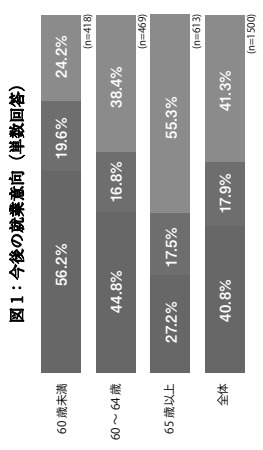
図3：介護の仕事への就業意向 (それぞれ単独回答)



■ 仕事をしたくない ■ どちらともいえない ■ 仕事をしたくない ■ 仕事をしたくない

介護の仕事への関心はどうか？

「仕事をしたい」「やや仕事をしたい」と考えた人は全体の約4割(図1)。年齢別に見てみると、60歳未満の人は6割近くが働きたい意欲をもち、60~64歳では4割強にのびります。しかし65歳以上では、3割を下回ります。つまりシニア層では若い年代ほど働く意欲が強いことがわかります。「どちらともいえない」と答えた人は流動的であると考え、条件によっては働いてもいいと考えている可能性も見逃せません。



■ 仕事をしたくない ■ どちらともいえない ■ 仕事をしたくない ■ 仕事をしたくない

## 中高年齢層で仕事をしたいと考えている人は意外と多い

調査対象	現住は介護事業認定を申請しようとしている、もしくは介護事業認定を申請しているヘルパーは登録していない人なら、全国から選りすぐられた方
調査対象	1900名
調査期間	2010年11月15日～12月15日
調査方法	Webアンケート調査(郵送アンケート)を1ヶ月間実施し、回収率100%
調査項目	・回答者の属性 ・今後の就業意向はどうか ・今後の働き方やボランティア活動への参加意向はどうか ・介護の仕事に携わりたいと思う理由 ・介護の仕事に携わりたいと思う理由

ボランティア志向は  
結構高い

ボランティア活動については、4人に1人が、何らかの関わりをもちたいと回答しました(図4)。年齢としては、「自然体験や環境保全活動」「地域イベント(夏祭りなど)の運営支援」が大半を占めています。なかに

は若年層に関する活動を希望する人も割合存在しました。このことから地域に貢献したり、社会に貢献したりすることに意欲を感じている人が一定数存在することがわかります。

図4：今後のボランティア活動意向(単数回答)

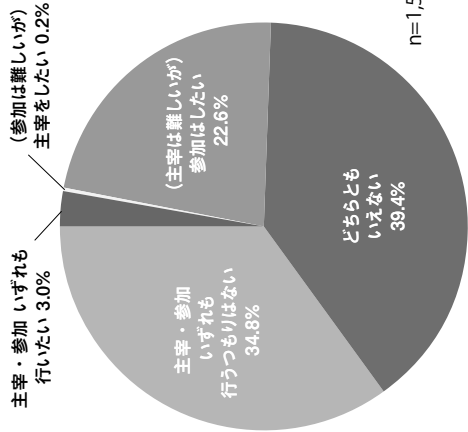
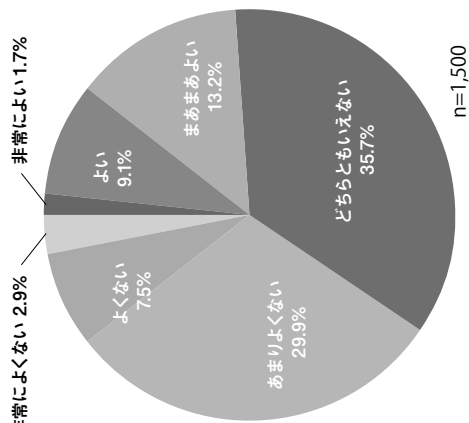


図6：介護業界や介護の仕事に対するイメージ(単数回答)



介護の仕事は、特に訪問介護の働き方、働く時間や場所が自由に選べ、また年齢に関係なく正社員として雇用される機会も多いです。介護業界や介護の仕事に対する総合的なイメージを尋ねたところ、全体の24%がよいイメージをもっていました(図6)。あとはどちらともいえない「既婚女性」と、

この層に好感をもってもらえれば、6割近くが「よい」となる可能性を秘めています。図7にあるように、介護事業所への接点をもつ機会が増えれば、仕事へのイメージはもっとよくなるでしょう。介護の仕事とより多くの接点をもつていただくためにも、本書を活用していただければ幸いです。

介護の仕事のイメージアップには、  
まず接点づくりから

ボランティアなら介護関連の  
仕事にも興味を示す傾向が

介護系のボランティアなら、やってもいいかなと思う人が前もって存在しています(図5)。また、地域の交流会等にも関心

を示していますので、ボランティア活動や、介護の仕事を知るきっかけにもなることが大層ではないでしょうか。

図5：介護関連のボランティアへの参画意向(それぞれ単数回答)

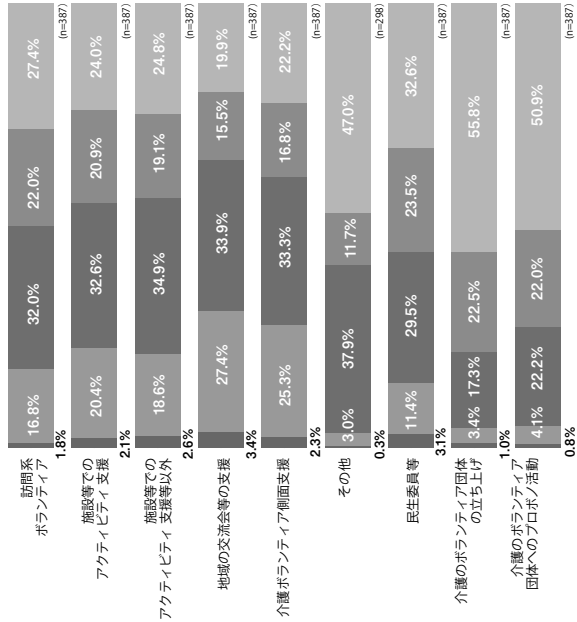
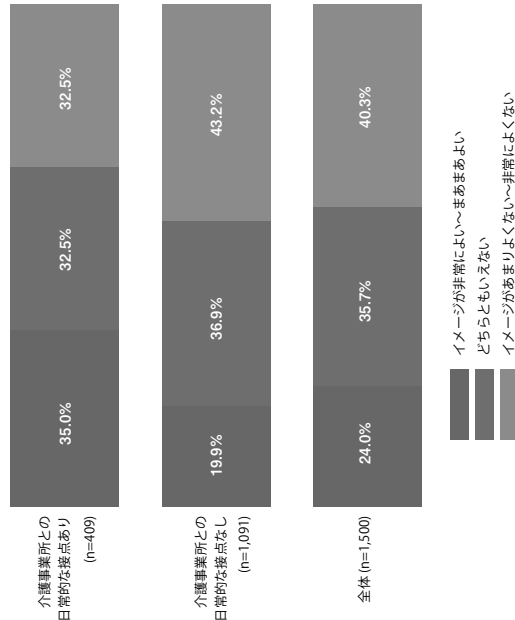


図7：介護事業所との日常的な接点と介護に対するイメージ



# 海上保安庁のパイロットから 転じて、ヘルパーの仕事をして セカンドキャリアに選んだわけ

操縦かんから  
自転車のハンドルに変わっても  
信念だけは変わらない  
僕の人生がある

「鬼のゴリ勝」と呼ばれた  
海上保安庁時代

高校を出て海上保安庁に入りました。航空機のパイロットになんかかったんです。自衛隊で2年間訓練して、現場にもどり広島航空基地に赴任しました。それから大塚の人馬 羽田を経て福野航空基地へ。その後、第8航空隊の運用船長やの次席操縦士としてヘリコプターを操縦していました。10年間パイ

ロットを兼ね、本庁で事務方の仕事を兼ねた後、海上保安学校の教官を6年間やりました。ゴリ勝と呼ばれ、当時は「鬼教官」と(笑)。「進退」って風潮がありますが、あの進退にかならない人間を嫌うってんです。その後、管区本部の運用司令



室の管理員として配属されました。全国には管区あるなかの第4管区本部、名古屋を最初に全国にいろいろなところに転勤し、最後は運用司令センターの所長を兼ねた所、海上保安学校を兼ね、60歳で退職しました。

介護の世界への転身  
女房には反発されたけど  
結構自分に合っている

退職後は、小型船舶教習所長に7年間勤めました。船の船長と違って、自動車の車検にあたりとをまひるってことです。そこを勤め終わるころから自分には、もっとやりたいことがあるんじゃないかと思いはじめました。僕は生涯現役を貫きたいので、何かすること入を

助けるような、役に立つ仕事はないものかと。それで介護の資格を取ろうと思つたんです。女房に相談すると、「やめよまあさい、嫌かないから」と反発されました。一勝勝めたんですが、ちょうど終わるタイミングで、シルバー人材センターの初任者研修の募集があり、無条件でしたので、すぐに応募しました。

研修が始まると、スイスイ学んだことが頭に入ってくるんです。自分にこれは回ってるんじゃないかと思いました。人を助ける、尽くすという意味では、いままでやってきた仕事と通じるものがあるのかもしれない。



interviewee

介護サービスセンター業務部長  
矢野 勝則さん 68歳





# 究極の幸せって何だろう？と 考えると、物や金じゃない。

障がいのある人への  
支援に目覚める

不慮な事故ですが、今まで身内  
にも介護の必要人がおらず、介  
護は思い世界の出来事でした。でも  
衝撃を受けつゝ、これもが  
非難と自分にも役に立つ。

介護業界は、認知症の方の支援  
に携わろうと考えていたのですが、  
働くことになると、障がいの  
あつた方への支援をしたいと思つた  
ようになりました。

今は、認知症のある方の支援  
をメインで、ケアマネジャー（職  
がある人の移動支援）の仕事  
もしています。

「業の花」に出会つたのは、シ  
ニア人材センターの就職フェア  
に参加したのがきっかけ。家から  
近かつたのと、職員の方の雰囲気  
がよかつたので、決めまし  
た。介護の仕事を始め、1年が経

たあたりから、即座で転職  
しているケアマネジャーの話を  
聞かれています。



夢は3年後、介護福祉士の  
資格を取得すること

究極の幸せって何だろう？と  
考えると、物や金じゃない。ひ  
とは人から愛されること、そし  
て人から褒められること。それ  
から、人の役に立つこと。最  
後に、人から必要とされるこ

と心に思ひます。

介護の仕事を始め、自分  
は頑張らなくてはならないと思  
い、人になつてうれしくなりました。

おまかせしていても、職員の  
カーンエスケーターの位置関係  
を覚えるのが大変です。入居する  
職員の、そのついでに気になる  
ところがありました。トータル気にな  
りますし、おまかせした職

も気をつけます。

介護の世界は一生懸命な仕事  
だから、魅力があります。リタイ  
ア後の資格があること、それだけ  
なんと思つています。そして、介護  
は、業務経験やスキルをたたく  
福祉士を取りたいですね。そのこ  
ろには対応になります。働き方  
も、おまかせするのび、おまかせ  
まじつて頑張ります。

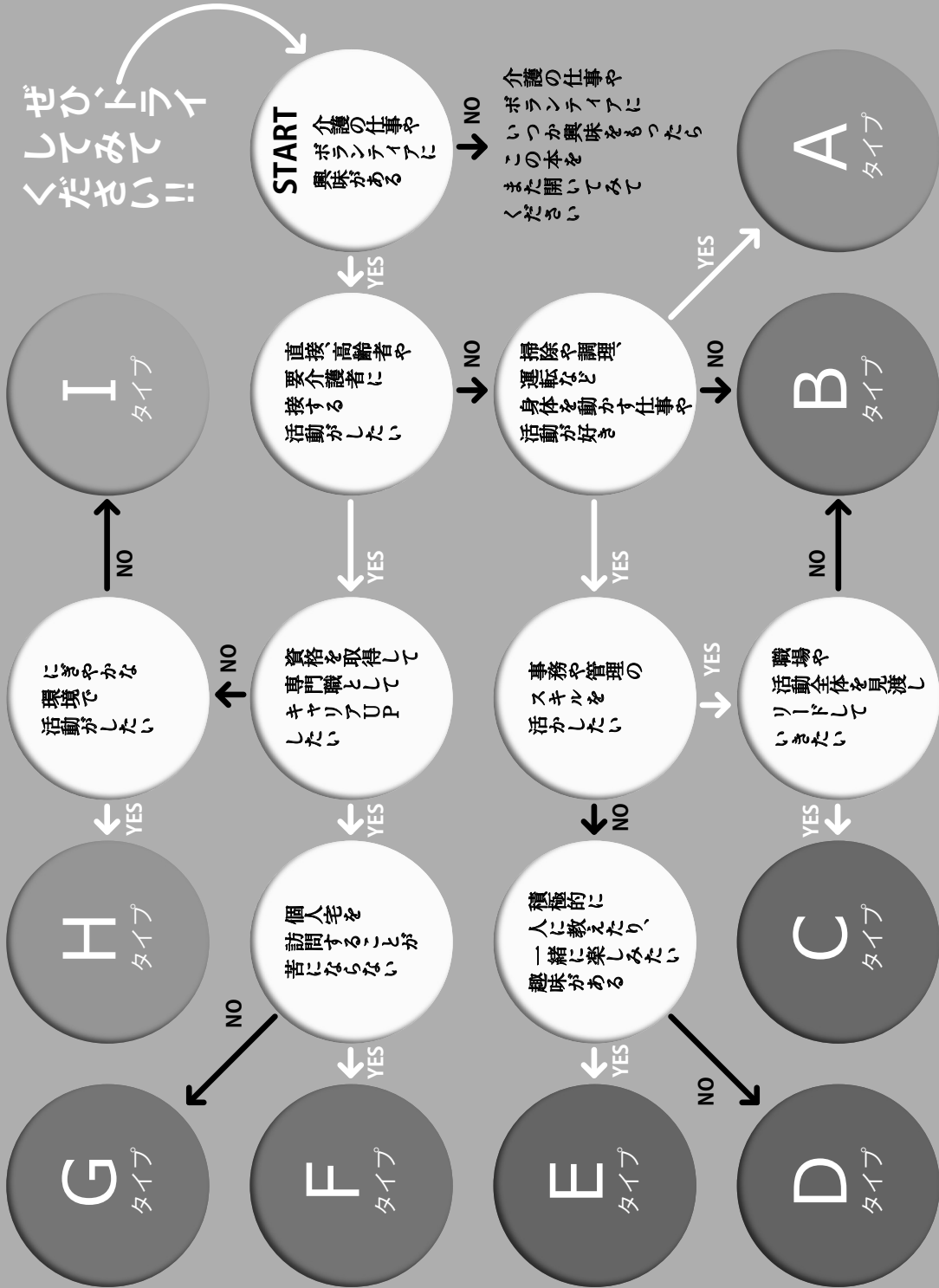
## コリ勝さんの海上保安庁時代

警備時代、左衛門さんは海上保安庁時代に知り、その仕事は「男」と言われるほど、た  
くさん、左衛門さんのバリエーション時代の写真だ。



# 「働きたい」 条件と事情に 合わせてこんな職場がある

介護業界にはさまざまな種類の仕事やボランティア活動の場があります。  
活躍のフィールドが広くて、幅が深い…  
どのような仕事や活動があなたに向いているのか？  
介護の仕事やボランティアに専らして向いているのか？  
それを知るためのチャートをつくってみました。



タイプ別の解説は、次のページです。

「働きたい」条件と事情に  
合わせてこんな職場がある

# タイプ別の解説

**Aタイプ**  
Aタイプの人は家事や運転などのスキルを活かして「誰かの介護」として介護事業に参入していく仕事や活動が向いています。

具体的な活躍の場としては、マイカーバスを利用する方の自宅と事業所間を巡回するドライバーや特別養護老人ホームやグループホームなど施設のリネオスタッフや介護スタッフの仕事などがあります。

**Bタイプ**  
Bタイプの人は事務スキルを活かし事業所の間接部門で活躍する人です。

介護事業場には様々な特別なニーズがあります。事業者の企業を団体ごとに関わり組織づくりや運営については期待する点が多々あります。たとえば、経理や簿記の仕事はこの事業所でも必須ですし、大手法人であればシステム管理業務などの部署が設けられているケースもあります。

また、若手タイプ団体においても事務スキルをもつ人のニーズは高まっています。イベント

や活動の企画や業務改善推進のための案件やホームページ制作などお持ちの知識やスキルを活用し若手タイプ団体の活動を支援する場もあります。

**Cタイプ**  
Cタイプを選んだ人は、現役時代に経営者や管理職として企業などで活躍をされた経歴をお持ちの方は多いでしょう。

介護事業とは真実の現場志向が強く、そのためのマネジメント人材の確保に苦労している事業所も少なくありません。そういったニーズでは、現場志向に強みを持つマネジメントやフロントスタッフを志す人に対して強いニーズがあります。

また、NPO法人などの若手タイプ団体でも（法人の継承者を含む）リーダークラスの人材が不足しているリーダーシップやマネジメントスキルのある人材が活躍できるフィールドはたくさんあります。

介護事業場のマネジメントに関しては、いくつからの業界特有の留意点があります。介護事業

所や若手タイプ団体のマネジメントに興味をお持ちの方は、**介護業界**の経営者ならではの視点で読んでいただくなら（基本はホームページで読んでいただけます）。

**Dタイプ**  
Dタイプを選んだ人は、介護事業者や地域のNPO法人行政などに関わる高齢者向け事業開発イベントのスタッフに活躍の場があります。

現在、全国各理と連携する各自治体に関わっており、活動が広がって来ている状況になってきています。それを踏まえて、事業開発イベント（全国・関東大会など）や地域開発イベント（各都道府県大会など）に参加できる機会も増えてきています。こうした場では、事業への関心・興味や、担当の活動内容を理解し（即ち理解）を深めたいという思いや、タイプを求めています。自分の経験やスキルをどう活かすかを、右記のような活動の相手は、どうしてはいいかなどをどうするか。

**Eタイプ**  
特別養護老人ホーム（特養）やケアホームなどでは、日中に介護者をサポートする利用者のケアやケアマネジャーの

一環として、さまざまな介護支援活動やイベントが開催されています（一般的に「ケアタイム

タイム」呼ばれます）。こうした自治体は利用者だけでなく介護者を若手タイプの方も一緒に参加し、地域の課題が総画を共同で解決・改善するための場となるケースもあります。

Bタイプの人は、特養やケアホームなどのケアタイムやケアマネジャーとしての活躍が期待されます。若手の職種の成長を促すために、ケアマネや職歴を築くことが、社会貢献につながるでしょう。

**Fタイプ**  
Fタイプの人は「介護職員初任者研修」を修了しホームページ（訪問介護）として働くことが向いています。

ホームページとは、訪問介護事業所に所属し介護が必要な方の自宅を訪問して介護サービスを提供する仕事です。住み慣れた地域や自宅での生活をできるだけ保つことが非常に重要な役割を担っています。

また、自治体や各法人から介護福祉人材が不足している状況や高齢者や障害者に対する関心の高まりなど、さまざまな利用者ニーズや人生活動を踏まえ、介護事業を営んでいくことが求められます。登録ヘルパー（非営利）となる特別養護老人ホームやケアホームなどのスタッフには職歴がなく、自分の都合よく活動をするという働き方は難しいです。自由な働き方であるがホームページの難関の一つです。

**Gタイプ**  
Gタイプの人は、特別養護老人ホーム（特養）やケアホームなどで介護士や介護職として働いてほしい人が多いでしょう。

施設系介護は、特養入所者やケアホーム利用者は決して介護サービスを受けずにはいられません。訪問介護は異なり、業務に参入するにあたり、等しいような業務が必要ではありません。しかし、より質の高いサービスを提供するため、あるべきケアサービスのためには、継続し、改善を繰り返すことが重要です。

施設系介護の経営の1つには、困ったときは周囲の職員を信頼し、頼り、相談し、サポートすることがあります。介護職の働き方、いろいろな働き方から訪問系よりも施設系の介護職を目指す傾向があります。

**Hタイプ**  
Hタイプの人は、特別養護老人ホーム（特養）やケアホームなどにおける介護職やケアマネジャーやいわゆる福祉のフロントスタッフとして活動することになります。

こうしたケアタイムは、業務の必要に応じては職歴がなく、直接的な人活動業務はほとんどなく、しかし、職員（または時間）に頼られることなく、ゆとりを持って活動することが求められます。サービスを利用する方のニーズや不安などを、信頼を築くことで、ケア利用者の信頼を築く

ことも求められます。こうした若手タイプの方がいれば、介護の負担は軽減され、より専門性を必要とする施設に集中できる環境が整うので、非常にありがたい存在です。

ケアタイムの仕事は事業所内の職員や自治体活動（ケアタイム）の協力もあって、利用者の悩みを思いを察し、解決することを目指す。介護にも大きな役割を果たします。

**Iタイプ**  
Iタイプの人は、他の方の幸福が最大の目標で、日常生活支援を行う仕事、あるいはケアタイムが向いていると考えられます。

このような種類の若手タイプの仕事は、活動の場が広く、常・非常・特養などの事業所から、業務支援や車椅子などの生活支援、課題を解決の相手に寄り添うような働き方が求められます。日常生活のあらゆることに関わり、あらゆる場での生活支援を担うための役割です。こうした若手タイプ活動を担う介護職のキャリアアップが、その数、ホームページとして活躍する人も出てきます。

「他人の幸福」を助けること（ヘルパー）も、いろいろありますが、若手の若手タイプ団体や介護事業者にとっては、介護は友人、知人の手助けや、親戚と訪問すること、関わり方からケアタイムの働き方もあります。

# いまからでも遅くない資格ゲットへの道

介護の職場にはさまざまな働き方が用意されています。  
資格が必要ない仕事もありますが、もっと専門性の高い業務に従事したい、  
キャリアアップをしたい、と思う人には、資格が必要になります。介護業界で働くために必要な  
10の資格(養成講座も含む)をここに紹介しましょう。

## 1 ケルパー

### 介護職員初任者研修

介護業務を行ううえで必要な基礎的知識・技術を身につけることを目的とした研修です。介護の基本的な考え方を100時間の研修を通じて、コミュニケーション、認知症などに関する研修を受講し、修了時の筆記試験に合格するとケルパーとして働くことができます。

### 実務者研修

初任者研修と比較するとより実務的で専門的な介護に関する知識・技術を学ぶための研修です。さらなる実務経験に加えてこの研修の修了が、いわゆる「実務経験ルート」となり、介護福祉士(国家試験受験)をする際の必須条件に、介護の志をもち100時間の理論教育とスタートアップを修了することで、取得できます。

### ガイドケルパー(移動介護従事者)

障害のある方の移動を支援するための資格で、前述の介護職員初任者研修などとは別に専門の研修を受講します。福祉職者の方を対象とした「介護福祉実務者研修」(全身性障害のある

る方)の修了後、さらに「全身性障害者スタートアップ養成研修」(知的障害や精神障害のある方の移動介助に必要な知識・技能を学ぶ行動支援実務者研修)の履修があり、市町村が指定する研修を受講できます。いずれの研修も毎時間の研修(日登壇)で修了可能で、同行支援と行動支援は介護資格と実務経験がなくても受講できます。

### トケルパー

介護が必要な方を認知症をもつ方の受け手とする介護に特化した専門資格です。トリオ(日本語)とケルパー(英語)の2種類があり、それぞれ修了後に認定試験に合格すると、認知症対応できます。研修は養成ならし身に入らなければなりません。仕事として「習得をきり別業型の介護従事者」として(同業ルーパー)は、取組むことができます。

## 2 介護福祉士

介護福祉士は「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づき国家試験で、介護が必要な方の生活

を支える活動を支える知識・技能を要する介護の専門資格です。この資格を要する人が「介護福祉士」と名乗ることができ、活用のフィールドは広く在宅介護からさまざまな介護現場まで働くことができます。一定の実務経験と実務者研修を修了するが、養成施設を卒業するなどの受験資格を備えたうえで、毎年1月に実施される筆記試験の日に受験される「実務試験」を受験し合格することが必要です。

### 3 ケアマネジャー(介護支援専門員)

介護が必要な方の相談に応じて、ケアマネとして受けられるものとしてスタートする仕事です。ケアマネを併せケアがスタートした介護事業所や医療機関の業務・業務の拠点となり、サービス全体をマネジメントし介護施設としての要となる役割を担います。医療・医療・福祉の実務経験を有し「介護支援専門員養成施設」に合格後、実務研修を修了。各都府県別の介護支援専門員資格取得講習を修了し、介護支援専門員証の交付を受けることが必要です。

\*一定の事前経験がある方などは、実務試験が免除されます。

## 4 社会福祉士

社会福祉士は「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づき国家試験で、一般的に「ソーシャルワーカー」と呼ばれます。介護事業所や行政機関などに勤務して「福祉職者」(職事者)として、生活困窮者など、さまざまな支援を要する方々に対し、専門的な知識と技能に基づき相談援助を行います。社会福祉士国家試験に合格する必要があるが、受験資格を得るためには福祉系大学等で指定科目を履修するなど、12の資格取得ルートがあります。

## 5 精神保健福祉士

精神保健福祉士は「社会福祉士と並ぶソーシャルワーカー」の国家資格(精神保健福祉士法)です。「精神科ソーシャルワーカー(PSW)」とは、主に統合失調症やうつ病など、精神障害をもつ方を対象として、他の専門職と連携しながら利用者の方の社会復帰や社会参加の支援を行います。医療福祉事業所や医療機関に加え福祉行政や司法機関などで活躍する人もいます。社会福祉士と同様、指定科目の履修を経て精神保健福祉士国家試験に合格することが資格取得のルートとなります。

## 6 看護師・准看護師

看護師は、医師の指示のもと、患者の療養上の世話をしたり、診療の補助を行う医療専門職です。患者さんには身近に接し、心と身体両面を支える「医療職」には不可欠の職種です。また近年は、健康増進を志す方から在宅での生活を継続

する方から在宅での取り組みを希望される方が増える「訪問看護」のニーズも高まり、活用のフィールドは医療機関だけでなく地域にも広がっています。看護職になるためには、看護学校を卒業し、国家試験に合格する必要があります。看護職については、看護学校卒業後に都道府県別実務研修を受講し、合格しなければなりません。

## 7 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

リハビリテーション専門職の国家資格の職種があります。理学療法士(PT)は、ケガや病気など身体に障害のある方への、座り、立ち、歩くといった基本動作の回復や維持を目的とした運動療法や物理療法などを提供する職種です。作業療法士(OT)は、食事や入浴など日常生活を営むうえで必要な動作の回復をサポートします。言語聴覚士(ST)は、生まれつきあるか、病気や事故などによって言語に障害がある方に訓練・指導を行い、社会復帰を支援します。看護職と同様に国家試験による養成教育を卒業し、国家試験に合格することが必要となります。

## 8 福祉用具専門相談員

福祉用具専門相談員は、介護施設の指定を受けた福祉用具貸与・販売事業所に任命された職員が業務を行っている福祉用具の専門職です。

福祉用具の選定相談への対応、福祉用具スタートアップの作成、福祉用具の調整、モニタリングなどの業務に従事します。福祉用具専門相談員として従事するためには、都府県別知事の指定を受けた福祉事業所が実施する「福祉用具専門相談員研修講習」を受講し、50時間のカリキュラムを修了する必要があります。

## 9 福祉住環境

福祉住環境コーディネーターは、高齢者や障害者に対し、自立した生活で暮らす住環境を提案するアドバイザーです。医療・福祉・建築などの幅広い知識を身につけ、他の専門職種と連携しながら住宅改修を行う際の助言を行います。厚生労働省が主催する「福祉住環境コーディネーター」の養成試験に合格することで資格取得できます。受験の際に、医療福祉の実務経験を必要とします。

## 10 認知症サポーター

自治体やキャリアバン・ネットが主催となり、養成する「認知症サポーター養成講座」を受講・修了した人です。地域住民や小中学生、高齢者や小売店の従業員など、現在全国に約850万人(平成28年12月発表)の認知症サポーターがいます。認知症を正しく理解し、まわりの認知症をもつ方が困っているのを見かけた際などに声をかけるといった様々な役割の担い手として、役割が期待されます。

\*キャリアバン・ネットとは、認知症サポーターを養成する「認知症サポーター養成講座」を開催し、講師役を務める。全国でキャリアバン・ネット事務局(認知症サポーター養成講座)を開催し、修了したうえで、登録された人です。

\*各資格の受験条件詳細については、試験実施団体や自治体、専門職団体へお問い合わせください。

## 施設？ ヘルパーステーション？

## デイサービス？

# 意外に知らない福祉の現場・・・ シニアから働ける職場はこんなにある！

介護の仕事、というと皆さんは何を思い浮かべますか？  
ヘルパーさん？ 施設の職員？ ケアマネさん？  
ざっくりとそんな印象しかないのでは？  
実は介護の業界の仕事はもっともっと、いろいろあるんです。  
ボランティアも含めると、働ける職場の選択肢が広くて、実は懐の深い仕事なんですよ！



## ボランティア活動も いろいろある 好きなジャンルで 自由に行えるのが魅力に

高齢の方のなかには、介護保険サービスをまだ使っていないが、そろそろ生活に不便を感じている。一人暮らしでゴミ出しがまじい、老衣箱なので掃除が行き届かない、足腰が弱って、2階に上がれなくなり不自由しているなど、毎日の生活に困っている人が意外と多くいらっしゃいます。

このように、制度では支援を受けられない方々に対して、ボランティア活動団体や自治会などがさまざまなサービスを提供しています。ボランティアによる家事援助や見守り・安否確認、地域の公民館などを活用した茶話会やカラオケ大会など交流イベントの開催など、内容は多岐にわたります。

また、地域での活動だけでなく、介護事業所内でのボランティア活動(事業所内での日中活動の支援、傾聴ボランティアなど)もあります。

今後、このような活動の必要性はますます高まるものと考えられ、担い手の確保も重要になっていきます。介護や高齢者の支援に興味はあるものの、介護事業所で働くことには躊躇してしまうという場合、まずは地域活動やボランティア活動に参加してみたいか検討してみよう。そうすることで、介護を理解し、またご自身の健康づくりや地域での新たな友人づくりにもつながっていきます。

なお、介護ボランティアについては、家事援助や交流イベントなどで高齢者として接する活動のほか、ボランティア団体の運営を支える事務スタッフや※プロボノなどの活躍の領域があります。

※財務・法律、マーケティングやITなどの専門家が専門知識スキルを活かして、非営利団体などの支援を行うボランティア活動のこと。

## 01

## シニアでも 介護保険サービスの 種類に応じて 働ける職場は 用意されている

左の表は、介護保険サービスのもとで運営されている事業所の種類と仕事内容です。  
働く場所は結構たくさん用意されています。

いずれの職場でも、働く際には資格等が必要となりますが、年齢に関して制限はありません。むしろ、介護経営者は、シニア層のチャレンジを大歓迎していますので、チャンスはいっぱいあります。

これ以外にも、管理・開発部門で働く事務職の仕事や厨屋スタッフ、送迎スタッフの仕事など、資格を必要としないさまざまな職種の仕事があります。

介護の専門職として働きたいのか、それ以外の職種として働きたいのかによっても、選択肢は変わってきます。

どんな仕事？	職場の名称(例)	仕事の内容
介護サービスの利用にかかわる相談、ケアプランの作成	居宅介護支援事業所	介護に関する相談を受けたり、実際に介護サービスを利用する際の計画(ケアプラン)を作成します。
利用者の自宅に移動して働く	訪問介護事業所/訪問入浴/訪問看護/訪問リハビリテーション	介護職や看護職、リハビリテーションなどの専門職が、利用者の自宅を訪問し、身体介護や食事援助、医療ケア、リハビリテーションなどを行います。
事業所に行きたくて働く	通所介護(デイサービス) 通所リハビリテーション 認知症対応型通所介護	利用者が週に何度か事業所に通い、運動やリクリエーションをしたり、リハビリテーションを受けられる際にケアやリハビリを提供します。入浴や食事などの介助も行います。
施設などに行きたくて働く	特別養護老人ホーム/介護老人保健施設(老健)/ショートステイ/有料老人ホーム/グループホーム	介護施設に入所して常に介護が必要な方に、適切なリハビリテーションや生活支援、身体介護などを行います。また、介護をする家族などの不在時に介護施設で一時的に宿泊し、介護サービスが受けられるショートステイでの生活支援や身体介護も行います。
施設や利用者の自宅に行きたくて働く	小規模多機能型居宅介護	通い・泊り、訪問を利用者の都合に合わせて提供する介護サービスなので、職員もそれに合わせて、利用者宅を訪問したり、デイサービスで働いたり、夜勤をしたり、とフレキシブルに働きます。
福祉用具販売店で働く	福祉用具貸与 特定福祉用具販売	利用者が自立した生活を送るために必要な杖や車いす、手すりやスロープなどの福祉用具を輸入またはレンタルする際のサポートを行います。用具選定時のアドバイスや用具の調整なども行います。

※厚生労働省ホームページ等より関係機関にて改定・作成

訪問介護のヘルパーの資格を取得。正社員としてキャリアアップ

# 非常勤のヘルパーから正社員。 そして京都地区のエリアマネージャーに

— 45歳の転機。子どもから手が離れたので  
仕事に就きたい！ そんな思いが募って始めた仕事 —

40代での再スタートは家族の反対から始まった。45歳になると、今と違って「そろそろ仕事がしたい」と思っていた。2人の子どもの手が離れてきて、少し自分の時間が取れるようになった。おとなの女性ができる仕事は、スーパリーのレジ打ちくらいしかない。そこで、おとなの女性ができる仕事は、スーパリーのレジ打ちくらいしかない。そこで、おとなの女性ができる仕事は、スーパリーのレジ打ちくらいしかない。


これ！と思う。2ヶ月ほど資格を受けて資格を取り、働き始めました。家族(特に主人)は仕事なんか私にできるわけない、と反対していましたが、自分自身も働いてみることにしました。最初は、おとなの女性ができる仕事は、スーパリーのレジ打ちくらいしかない。

週ご時間少なくなり、辞めました。その後、病院が経営する事業所に入りましたが、医療がメインだったので、企業はどうしても下に見られがち。いくら生懸命働いても、残業コマ働きのヘルパーのままの感じで見えてきます。もっと自由にアイトする職場はないか、と探していたら出会ったのが「まらめい」です。まず、各所に夢があつていなと思えました。最初は本業の事業所で非常勤として勤務しましたが、主として子どもとランチにも行きたいし、子どもの学校関係の役目も務めたい。非常勤だとお休みが取りにくくなります。

株式会社介護事業本部訪問介護プログラム  
副社長兼サトースーパーバイヤー  
市村都さん 61歳

My history

東京生まれ  
大手の0世代。資格が高じて、京都の支店に転勤。  
45歳でヘルパーの資格取得  
京都の別の訪問介護事業所に勤務した。おとなの女性ができる仕事は、スーパリーのレジ打ちくらいしかない。  
訪問介護事業所からスタートしたが、子どもは仕事に集中したい。おとなの女性ができる仕事は、スーパリーのレジ打ちくらいしかない。  
管理職になる  
売り上げを伸ばしたいが非正規で、京都のエリアマネージャーに転職。おとなの女性ができる仕事は、スーパリーのレジ打ちくらいしかない。  
現在スーパリーバイヤーとして後輩指導中





その点、非常勤だと自分の働きたい時間が減って、生活リズムも乱れず、家族との時間も取りやすいからです。訪問介護のヘルパーの仕事って1時間のサトースーパーバイヤーの時間と一緒。おとなの女性ができる仕事は、スーパリーのレジ打ちくらいしかない。おとなの女性ができる仕事は、スーパリーのレジ打ちくらいしかない。

管理職になり、管理業務にもハマりました。京都のエリアマネージャーを務めたあと、本社でインストラクターとなり、60歳で定年を現しました。現在はスーパリーバイヤーの仕事をしています。私も思いますが、ヘルパーの仕事のいいところは、自分の年齢や基礎体力に合わせた仕事ができる点です。働きたい人は、毎日仕事をすることもできる。もし「家は遠いから」といふ人なら、自転車の取手が得られるだけ働いてもいい。

P23 「働き方診断シート」  
F タイプ  
F タイプをチェック!!

## 訪問介護事業所で働くって?

訪問介護事業所に登録して、非常勤としてヘルパーを務める場合と、正規雇用の常勤として働く場合があります。非常勤の場合は、自分が働きたい時間の希望が出せて、ゆるく、ハートでも、働き方を自分で選べる点が魅力です。常勤の場合は、サラリーマンと同じで、決められた勤務時間がある。たまた、利用者への訪問サービスがなくても、会社にいて、さまざまな業務を行わなければなりません。一方で毎月決まった収入が得られる魅力があります。



# 熟練の印刷工からの転身先は、 思いもよらぬデザイナー職員

—まさかのリストラから警備員…そしてデザイナーの人気者に！—

同郷の社長からの  
依頼で年に1回  
三線のコンサートに  
開いていたのがきっかけ

山田さんと社長は徳  
島の出身で、旧知の仲。書さんは  
タイを始める前、大阪の鴻池  
新田の印刷屋にまで介護施設事業  
所を運営していた。月1回敬老会



を聞いていた。そのときに三線  
が通る山田さんを同郷のよし  
みで迎え、施設を運営を依頼して  
いたのがきっかけ。

「それまで、介護の仕事なんて  
全然知らなかったし、嫌いなこと  
たくさんしてました山田さん。」

美は、中学を出て大阪の印刷屋  
で印刷工として40年間働いたが、  
57歳のときにリストラに遭う。

「まさかと思ったり、まさか  
世界やな」

勤めていた印刷屋は小さな工  
場で、職人から職長まで全部一人  
で担当していたのだが、職長の職  
業のようにならなりました。

その後、警備員を経て「ごだ  
の茶」に来たのが半年前のこと。  
菅社長の娘の叔父、デザイナーと

オアノミをやるにあたり、人柄の  
良さや何でもできる器用を買  
われて入社した。

デザイナーとしての仕事を  
断り続けていたが  
熱心な誘いに根負けして

最初デザイナーとして働いた  
とき、山田さんは固く断りました。

「しゃべるのが難は苦手やか  
ら、そんな人間が役に立つはずは  
ないと思つた」(山田さん)

それでも書さんは諦めなかつた。

「色々な「アエス」がもらえな  
から、だれかしごとく教えて  
山田さんは、三線のほかにも畑仕  
事が得意で、しかも大工仕事もや  
るし、器用で何でもできることを

知っていました。人柄の誠実  
さもあって、だし…」

いつまで経っても山田さんが  
直ぐには断るないので、美の果  
てに響かすは「しゃべらなさい  
かい、来て」と、まで言った。

美は「うん、おまじことみたら、  
山田さんの多様な才能が花開いた  
遊園のトライバードから、タイ  
サートの補助的な仕事、そして  
文庫のポスターの設計から施工ま  
でを、美は、園芸・畑仕事は趣  
味の書と愛など、口癖の麗麗。五

線の種をみかや園上種園も全部  
山田さんが世話をしてらる。

そのほか、体験型利用者もと  
一緒に行ったり、三線の演奏  
ゲームの運営づくりと、おまじま  
な仕事をこなす。おまじまとい  
と口下手で村瀬を山田さんが、  
利用者さんからの人気は高い。

ウイークデーは  
社宅で単身生活  
週末は岸和田の自宅に  
帰って趣味に没頭する

自宅は新田にあるのだが、鴻  
池新田まで通うのは距離があつ  
てきついので、ウイークデーは自  
宅を離れ、単身社宅で暮らしてい  
る。勤務時間は正社員なので、朝  
8時半から1時半までだ。

一日の仕事が終わって帰宅し  
てから、家で一杯やりながら、好  
きな大工仕事をするのが至福のひ  
ととき。

「大工仕事はらめいたときに  
勝負。いろんなアイデアを思  
ひだすにも楽しかったことば



徳島のかけし  
デザイナーとしていた社長 菅  
書さん  
山田 泰史さん 67歳

My history  
鹿児島県薩摩川内市で生まれ  
16歳から大阪府豊中へ出陣して  
約40年働く印刷工として  
57歳のときにリストラに遭  
う。その後、警備員として勤務  
8年。それからごだの茶の立ち上げ  
スタッフとして正社員になる



社会経験が人を育むケース



徳島のかけし社長  
菅のぶ子さん

何でもできる  
山田さんのような人が  
来てくれて  
とても助かっています

山田さんのような年代の方  
は、人生経験も豊富ですし、  
企業で働いてきた方ですので、  
介護だけでなく違った感覚を  
もっています。

企業で働く、経営戦略的な  
ことも経験していることで視  
点が違います。新しい事業展  
開を考えなければいけない時  
代になって、他の職場で働い  
てきた方たちから、自由な発  
想に基づくアドバイスをもら  
えたら、うれしいですね。





手を動かす。  
山田さんの場合は、全生協にて趣味でもって来たことがいま全部活かされて、開花している感じと山田さんは言う。人生はただなごとは何一つない。

「土日のお休みの日は荒瀬田に帰って、奥さんと釣りに行き、新鮮なうちに料理した魚を煮し入れてくれたり、大きな畑をお友だちと一緒に借りているので収穫した野菜も持ってきてくれます」

ていだの業には、事業所内にキッチンがあり、食事もそこでつくっているの、山田さんの大根、キャベツ、白菜、玉ねぎが屋敷の食卓に上るところも多い。利用者さんも毎日の食事を楽しんでにている。

屋上庭園でも、大根やさつま豆、野菜を栽培して、収穫のよときは利用者さんと屋上に出て、園遊を楽しむ。

無口で口下手の自分だが、人と人とは心でつながれる

アイサービスの仕事を始めた当初、山田さんは、舌がまわらず、苦勞した。

「最初は嫌らしさを感じず、しゃべらなからんから最初のうちは構れないで、声が枯れて風邪ひいたみたいに出らんようになりました(笑)」

奮闘員で、仕事人生はもう終わりと思っていたが、山田さんの人生は思わぬ方向に開けていった。いまは、仕事の流れもしつかり理解でき、自分の立ち位置もわかっている。

人一倍働くのに、相変わらずの口下手で照れ顔ながら、自分から進んでスタッフに声をかけるのが苦勞だ。そこが山田さんの課題だと、社長は言う。

「いちばんうれしいのは、利用者さんに『山田さんありがとう』と声をかけてもらったとき。そんなときは嬉れも何も一気に飛びますわ。人と人とは心でつながれると思う瞬間やね」



いちばんうれしいのは、利用者さんから「ありがとうね」と言われるとき。

山田さんの一日に密着！！

1 朝 8 時前に田村社 さまを助は、岩間まわりや部屋を敷まる。山田さんが行ら行っている車庫に水をやったり、準備に忙しい。

2 8:15 ころ 利用者さんへ車へ車で出発、送迎開始。

3 9:15 利用者さん到着 連絡帳の記入のサポートを運んぶ、介護職員をかサポート(バケルケアエクスなど)。

4 10:30 ~ 11:45 ストレッチ、生活動作改善運動・ラジオ体操、認知症予防体操、座下体操など、利用者さんともに行う。

5 昼食の準備のサポート 利用者さんの見守り。

6 13:30 ~ 足湯の準備。浴槽を掃除し、湯を張り、湯をセット。

7 ゲームタイム ゲームでつづいたゲームで利用者さんが盛り上がる。自分でつくったゲームで盛り上がる。

8 音楽療法のひとつ。得意の三線で独り独り演奏。利用者さんと歌う。

9 15:30 ~ 送迎開始。

一日終了

P22 「副都庁診療センター」 E タイフ  
E タイフをキエック!!



ドライバーとしての朝夕2時間非常勤で働く

# 退職後の第二の人生を病気で中断。 ラグビー魂で渾身のリハビリ ドライバーとして完全復帰！

一年金生活になって始めた朝夕2時間勤務のドライバーの仕事。  
闘病を経て、さらに新しい人生が開ける！

LPGガスを配送して35年退職後に考えたのは、身体のコロンテーションづくり。全部仕事を辞めてはダメになる

と、両年代の及だちを見てみると、会社をリタイアしてから「毎日が日曜日」で、一気に身体がなまこころのが、よくわかります。

ずっとLPGガスの配送の仕事をしてると運動が止まると、私自身、それだけは避けたいと思えます。今までみだりにリタイアし、働きたくもなければ、社会の役に立たず、自分の健康のためにもなるような仕事を選ぼうと……

たので、ちゃんとしてみようと思えました。

もちろん、介護の「か」の字も知りません。研修を受け、いざトランスの仕事を始めるよと、責任の重い仕事だということがよくわかりました。LPGガスは危険物ですが、今度人間相手です。なごらんと話さないと。

高齢の方を乗っているので、慣れに気を配ったり、急がず慌てず、まっすぐに、常に安全を心がけなければなりません。朝夕の勤務時間の合間には自宅に戻って、趣味のしだけ練習や田んぼ仕事は続かれています。

ドライバーになつて2年が経ち、仕事にも慣れてやりがいを感じていた矢先、突然病に襲われました。



最初は、ロンドントラックで納品を運ぶ仕事がいなと思いましたが、ハローワークに相談すると「ダンナの仕事は朝の8時から午後5時までのフルタイムしかありません」と言われました。厚生年金と企業年金をもらい、強



強い意欲でリハビリを重ね、医師の証明書をもらって、延髄梗塞から完全復帰

会社の研修で動脈硬化の発症を受けたとき、その病院で突然立ちついたらならん、発作のようなものが起き、後遺症で寝たのです。頭は寝たのかもしれませんが、家にもつきましたが再び発作が起きて病院へ運ばれ、と診断されました。手探りで薬で治すために、延髄梗塞と診断されました。ベッドの上で寝続け、仕事はもうできないかと悩んでいました。

でも、薬業のなごらんと話せば、もちろんとやうに、病院で診られたメニュー以外にも、非常用隊の昇降など、障害は自分から考え、メニューをつけ直す、やっています。困った仕事です。トラックをやっていたので、運転だけは自信があります(笑)。

その成果が、延髄梗塞を克服、医師からも「こんなによく回復するのは思わなかった」と褒めてもらい、トランスをやることも大丈夫だという医師まで書いてもらいました。

めていたので、フルタイムで仕事したら年金が止められてしまい困ります(笑)。そこで別の仕事はないか、探しました。

思っていたより責任のある仕事、やりがいもある。しかし突然の病に倒れて

あるとき「だまの木」というトランスが、ドライバーを探しているという情報が、ハローワークを通じて入りました。朝夕2時間勤務の仕事です。

正真正ドライバーの仕事が特別したいというわけでもなかったのですが、まだまだ条件が折り合



社草が「もう一歩動いてみないか」と言ってくれて、復帰が決まりました。うれしかったです。以前と同じ条件で働いています。

この男性ドライバーは、大手の企業などを退職して、私と同じような条件で働いている人も多

くいます。働きやすい、即よりも利用者さんから「今日一日ありがたね」と感謝してもらえるのが励みになります。本人にと家族の笑顔が見たい、みんなそこは一緒じゃないでしょうか。対人関係の仕事が好きならはお勧めの職場です。

トランスドライバー  
川畑三喜男さん 64歳

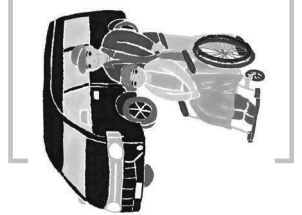
My history  
福井県津市生まれ  
井田運輸に、約客LPGガスの配送に携わる  
経営者となり、LPGガスの拠所で働く  
60歳に退職し、トランスに入社、その中で運送ドライバーとして勤務  
62歳より「延髄梗塞」で入院  
62歳、脳梗塞のリハビリを経て、医師の診断で「だまの木」トランスに完全復帰  
現在運送ドライバーの仕事を中心に活動中



P22  
「働き先診断シート」  
Aタイプをチェック!!  
A  
9/17

## 意外と多い 男性リタイア組 非常勤のトランス サービスドライバー

最近増えてきているのが、川畑さんのような男性リタイア組です。返却は「トランス」の街にもいれられるほど大事な仕事。お迎えに始まり、お送りが終わる送迎のなかで、スワッチとしての目配り、気配り、運転技術、幅広いスキルが要求されます。その点、企業に専任勤務した経験のある男性は、マナーもきちんとしていまして、判断力もあり、頼りに使われます。しかも、注目されているのが、まさにこの「だまの木」です。



# 長年勤めた外資系企業から社会福祉法人に転職。 前職のキャリアが十分に活かされ 職場にやりがいを感じる日々

「畑は違っても、人事管理の専門職としてのスキルが発揮できる職場」

長年外資系の会社に勤め  
キャリアを積んだ後  
早期退職し、日本企業へ

近年と異なり価値観の異なる企業  
に赴き、工業系の専攻であったため、  
S.B.を希望しての就活でしたが、  
職後最大と言われた不況期で、  
経理部門からのスタートになります。  
職後人事部門に異動し、  
この経験が現在の私のキャリア  
につながっています。

近年として入社9年が経った  
とき、声をかけてくれたのがその  
後23年間勤務した外資系企業と

なります。本社がシカゴにある  
携帯電話と半導体の多国籍企業  
でした。

そこでは、会社の理念の一つ  
である個人の尊厳やダイバーシ  
ティ、コンプライアンスを業務  
の基底とした人事制度の整備や  
労務管理を学びました。

また、人事管理や労務管理の  
テーマの勉強にも携わり、自身の  
キャリアを大きく積むことができました。

33歳のときに早期退職し、日本  
の企業に人事労務の担当者と  
して転職しました。

母がお世話になった法人の  
人事総務・管理部門に転職  
培ったキャリアを活かす

そして現在の「伸こう福祉社」  
管理本部に就いて、人事総務・労  
務管理を努めています。きっかけ  
となったのは、私が転職する10年  
前から法人の経営者である特別養  
老老人ホームに研修が主題になっ  
ていたこと、そして、偶然にも友  
人が理事長と知り合ったことだ  
ので、あるとき紹介され、勤務する  
ことになりました。

保育・介護の仕事は、対人サ

どこであるかによって、さまざま  
な会社にはなっていますが、  
仕事の内容は人事・労務関係で  
す。なので、自分が培ったキャリアを  
活かすことができました。

## ダイバーシティ マネジメントという 法人の取り組みにも 積極的に改革案を提示

現在勤める法人の特徴の一つ  
として、人材の多様性を推進して  
いる点があります。当法人では、  
現在130名ほど（全体の12%）  
の、65歳以上の高齢者や外国籍の  
大層がいをもちつ方を雇用してい

ます。増強と連携することを目的  
とする社会福祉法人としてこの  
仕事を、今後さらに進めたいと  
なっています。

しかし、そこにはさまざまな  
ごまなりリスクもあります。「定年  
70歳（80歳まで継続勤務可能）」と  
しているため、高齢になるにつれ  
は従い、業務を遂行するための準備が  
リスクはとんとん高まっています。  
外国籍の方については、雇用  
している職員の国籍が外国に  
もわたるため、コミュニケーション  
の面で苦労があります。日本語  
も英語も通じないスタッフもあ  
り、働きやすさの基盤がカ  
ルをどのように伝えていくが課  
題と感じています。

このような人材の多様性に対  
応しながら、人事総務の担当として  
して、働きやすさの基盤を安  
定して築く働ける職場環境を  
目指し、就業期間の延長や新たな  
制度の構築などに努めています。

また、企業側は職員がお客様の  
看取りケアをすることが少なく  
ありません。そういった事柄は対



する職員の仕事の心づかみ、これから  
の課題です。

私のように、いったん退職して  
から新たに他の企業に就くのは、  
チャレンジだと思いますが、介護  
業界にも、一般企業で経験してき  
たノウハウが活かせるファイル  
があるということは、知ってい  
ただきたいと思っています。

現場の仕事だけでなく、今まで  
の経験を活かして、新しい仕事に  
チャレンジしたい方には選取  
のひとことになり得ますね。

社会福祉法人伸こう福祉社

人事・総務室

かんた もと

神田 求さん 64歳

My history

伸こう福祉社で生まれ

理工系の大学を出ての私を目撃す

不況のため、S.B.の時期がなく、

外資系専門職の企業に転職して社

の、人事は総務、6年間勤務

別の外資系企業から働きを受け、

人事・総務担当として入社

53歳より早期退職するまでの23年間勤務

53歳でこの会社へ日本の人材紹介会社で

人事・総務の仕事に就ける

その経験を活かして伸こう福祉社の

人事と関わり、

法人総務の担当で

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

人事・総務の仕事に

P22 「働き方改革サイト」  
Bタイプをチェック!!

## 介護業界にも 管理・間接部門がある

介護の仕事というと、利用者ど  
んと接する仕事ばかりを思い浮か  
べがちですが、実はそれだけ  
ではありません。なかには、人  
事・労務管理など、採用や人事  
配置、職場環境の整備などに力  
を入れている法人も多く、介護  
の資格をもちいなくても、企  
業にお勤めの経験やスキルをつ  
くに活用して、働けるファイル  
があります。人材の定着が課  
題となっている業界ですので、  
今後ますます雇用のニーズが高  
まる部門でしょう。



# 家に閉じこもっていないで、だれかのお役に立ちたい！ そんな思いで始めたボランティア活動が生きがいに



「ライフサポーターの仕事には介護保険とは違って枠がない。それが面白くて楽しい！」

歳を取って一人で生活するに困りごとが増える。それをお手伝いするのが私たちの役目

68歳になつたころ、主人が大病を患つたので、看病のためいままでしていた仕事をいっさい辞めました。50代まではアルバイトの仕事を持って、ケニアもやっていたんですが、いつの間にかわからない状況で、職場の人にも迷惑がかかると思つたからです。

幸いにも主人の病気が次第によくなりました。すると、今度はやる事がなくなつてしまつて。このままではいけません。何かしらになつてしまふとある種他郷感を抱き始めた。そこに

ライフサポーター有償ボランティアのお話をいただいたのです。

いまは週にも一回くらいお仕事させていただいています。内容は洗濯のあった利用者さん（主に高齢の方）のお宅のお掃除や片づけ、外出、教本のサポートなど。うまく条件がマッチしたら、お返ししています。

だれもが歳を取ると困りごとが増えます。ヘルパーさんなどができることを、私たちがボランティアでお手伝いするということなんです。

ふつうの主婦のやることだからサポート内容だから無理なくできる

サポートの仕事は、無理や無理がないところが魅力。つまりふつうの主婦ならだれもがやっていることを、ボランティアとして提供していますので、だれでもできます。

しかも、私たちサポートは、みんなシニア層ですから、利用者さんも親近感を抱いてくださいます。仕事のスキルや雇用条件など関係ありませんから、いつでも気軽に参加できます。専業主婦の感覚でも大丈夫です。男性サポートの場合も、簡単な大工仕事やドライバー役、ちょっとした力仕事など、簡単でたくさんあるようです。

こんなおもしろいことのでき、喜んでいただけるなんて、うれしくて張り合いを感じながら働いています。

利用者の方と話すとき、来し方行く末が自然と見えてくる

利用者さんは、80代、90代の高齢者の方が多く、だいたい女子さん。一歳たり年輩に近づいていっても、相談しにくく、こころ

とあるみたいですよ。

いま、私が伺っている90歳の方もそんな方で、「ああ、話を聞いてもらってほしかった」とつて喜んでくださる。

言葉には言えないけど、他人には言えずに苦しみ苦しんでおられるんですね。私自身も歳を取つて生活状況はから、「ああ、それわからない」「これわからない」といった事象で（笑）。

私たちが何うことで、生活が生き生きとしてくる様子が伝わってくるのがうれしいですね。自分を頼りにしてくれる方がいらつしやるというのは、やりがいは感じます。

サポートの仕事を通して、いろいろな方の人生を知ること、自分の行く末もわかります。利用者さんと交流して、私たちは生き生きと成長していますね。

人のためって言いながら、結局は自分のため（笑）。私自身も70代で定年まで経ちました。もつと歳を取つたら自分はどうしていいのかわからなくなりますが、そのとらえかたにあると感づいています。

NPO法人 救いのなび 救済センター

酒井田 久美子さん 74歳



My history  
主婦からある社の女の役員！  
55歳から61歳の専業主婦として、継続してボランティアで活動し続けられる。  
ケアマネジャーの資格を取つた経験、介護職歴も活かすための経験も豊富。  
68歳ごろから夫が病気、思い悩んで  
70歳からライフサポーターとして登録、ボランティアとして活動を始められる。

What's ライフサポーター



介護保険でできないことを行つて高齢者を支えるのが私たちのボランティア活動

※ライフサポーターの仕事は、介護保険制度でカバーしきれない日常生活のいろいろな困りごとをお手伝いする内容です。家族がいても高齢だったり、独居だったり、それに近い状況だったり、と高齢の方を取り巻く状況は困難がつまみます。

サポートがなごことで、少しでも生活が豊かになればと、通つて取り組んでいる活動です。主婦でもできますし、やりたい仕事の内容を、好きな時間帯にやつていただくかなど、多くのシニア層の男女が登録しています。

P23 「働きの診断書」を1シートタイプをチェック!!  
I タイプ

# 母を見送って4年余。自分の老後を考えるようになった 地域でボランティアをしながら、楽しんで暮らす生活がいい



「地域から少しずつ何かを発信したい。  
自分が80・90歳になったとき  
住みやすいまちであるように」

認知症カフェで  
地域の方が私たちと  
話すことで少しでも  
気持ちが軽くなって  
いただければ…

「アララ」が運営するアララ  
シカフェには、ボランティアとして  
登録しています。月1回カ  
フェはあるのですが、毎月  
に1度参加しています。

少し前まで、主人の遺業を継  
いでいましたが、二人とも看  
取、子どもも独立しています。手  
育中では専業主婦でしたが、一  
度養った印代後半から、くまの  
仕事もしています。余暇の時間  
は趣味が利くので、ボラン  
ティア活動にも参加することに

なりました。  
アララさんとの出会いは、一  
昨年。かねてより認知症の方  
のみなさんのことをおぼやかし  
たので、ボランティア養成講  
座を登録したのがきっかけです。  
オンラインカフェでのボラン  
ティア活動の内容は、お茶をお出  
ししたり、参加者の方の顔に  
触れてお話ししたり…。  
「養育と一緒ならいした方が、  
「養育期間の経験と知識を  
たり、養育会に出ている間、ひ  
たりはらって不安にならないよ  
うに、お話し相手を務めます。

ボランティアをする  
ことで自分自身も  
楽しんでいる

「ボランティアに参画しよう」  
そんな思いが心に芽生えたのは、  
一昨年のこと。それからは、  
いろいろなボランティア養成講座を  
受け始めました。

きっかけは、自分の将来と  
か、老後について考えること  
になったからです。

「自分が80・90歳になったら  
どうだろう?」

自分が住んでいる地域は、し  
かり想いを馳せられないとい  
うのも、認知症になつたとき、つな  
がりがなくて、見捨てられること  
も怖い。

もちろん仲間づくりをしてお  
かないと「だれ? あの人にな  
りかねません。でも、関係を  
くつておけば、誰かをどう  
かしたの?」一緒にお話しし  
よう。って、案外現実は楽と  
れるかも知れない。ですから、私  
の目的は、地域に属した自分を  
自分の居場所をつくることです。

仕事は「もちろんやる」専業主  
婦ですが、ボランティアは「自分  
が楽しむ」感覚がある。庭のし  
らみも少なくある意味、私はい

は自由で居られる場所ですね。

私たちシニア層が  
社会貢献することで  
地域に根ざす  
それが大事、と思う

いま考えているのは、仕事をし  
ながら、こんなふうにボランティア  
活動を続けていて、ゆくゆくは  
生涯の仲間とカラオケをやら  
たいかな…。

いまのカフェやサロンで、元  
気な方が自分の適性を参加して  
いることが多いのですが、身体が  
弱くなつておぼやなくなつたり、  
認知症になつたら、一人で運  
べないかもしれません。

そんな風に、わたし大事  
なのは、身近な場所にあるサロ  
ンです。

町会単位、お隣り同士で手を  
つなぐにはどうしたらいいか  
あれはいいな、と悩んでいます。

来るのは若年層ばかりじゃ  
なく、若い人も、子育て中のお  
母さん、だれでも来られる場所  
をつくるのが私の夢です。

認知症  
介護福祉士  
NPO法人  
企業まちづくりネットワーク  
認知症  
みはらまちづくり  
峯崎光恵さん 64歳



My history  
子育てしながら風邪を癒  
▼ 町会へ入る前の資格取得  
▼ 働き始める  
62歳からボランティア養成講座を受講  
▼ アララに参加  
ボランティアとして活動を始める

What's ボランティア養成講座

講師さんのように、ボラ  
ンティアをしてみたい、ボ  
ランティア活動に興味があ  
る、と思っているなら、  
自分の住んでいるまちの、  
社会福祉協議会や、ボラン  
ティア協議会に足を運ぶこ  
とをおすすめします。  
そこでは役に立つボラ  
ンティア情報をいろいろ  
と教えてくれますし、地域  
で活動できるさまざまな  
タイプのボランティアを  
募集しています。  
そのための養成講座も  
紹介していますので、便利  
です。

P22 「働き手総動員サート」  
Dタイプをチェック!!  
Dタイプ

# 自分の住んでいる地域のために役に立ちたい！ 400世帯居住の大型マンションで、 シニアクラブを立ち上げる



「自身が高齢になったときを考えた。  
居場所をつくりたい。仲間をつくり  
一緒に活動できる喜びは大きい」

リタイア後の人生は  
意外と長い  
健康であれば、働いて  
きたのと同じくらい  
生きることになる

我がの世代は多くは自分の  
キャリアをつくっては転職しまた  
キャリアをつくって転職、といったふ  
うに、アメリカ的に一つの会社にど  
んなら仕事人生をまっすぐまっすぐ  
そして、その後のボタンの社歴  
を自分の最後、切腹で会社を辞め  
ました。

リタイアしてから、卒業は、健康な  
ら、自分が働いてきた期間と同じくら  
い人生が残っている。今後どうしたも

んは、自分ももつて職を取って  
居るところを出てくるとは、それ  
でこのシニアクラブを住んでいるマ  
ンションに立ち上げました。

自分自身は、多分、自分だ  
ちの代わりになることをしたい、と考  
え始めたんです。

いつかは自分ももつて職を取って  
居るところを出てくるとは、それ  
でこのシニアクラブを住んでいるマ  
ンションに立ち上げました。

地域にもどって  
気づいたことは  
高齢者が多く、  
居場所や仲間がない  
ことだった

「親戚、マンションに住んでいる皆さ  
んの見守りとか、お手伝いとかしたら  
難題はなさって、敬辞書で置ったよ  
うな強硬からスタートしました。でも  
早くこればうまくいかなって  
感だなんです。

アンケートを取って、こんなお手伝

のかと喜んでいただき、知人から  
これから高齢化が進むので、社会福祉  
士の資格を取ってみたいかと勧めら  
れ、資格は諦めました。

現役時代は専任赴任が長く  
地域の実情を知らなかった

その間、歩くと通院をしたり、現役  
時代にはともなひだに楽しんでいま  
した。でも、楽しいことはやりやっ  
ても、人間関係が壊れてしまします。

資格を取ってから、「生活は、特別  
職業者人ホーミングサービスに、介  
護士として働きました。現職で働くこ  
ろいろいろなことを覚えてきます。

ソーシャルワーカーとして残って

いならやりたいのが、項目を挙げて聞  
き、やりたいことに関しては、聞いて  
たんですが、集まってきた人の雰囲気  
がバラバラでした。それと、できるこ  
とが、それは、やってみようという  
の感でした。シニアクラブなど、だ  
れも知らないわけでもない。

このマンション内で、居住者団士の  
顔見知りの集まり、思っていたより広  
がっていない。

そんななかで互助活動しても、形だ  
けになるだろう。ラポール…つなが  
り、顔見知り、知り合いの集まり、思  
っていたより、まっすぐいかなって思  
いました。

そこで、団地をどうにか立ち上げ  
ました。高齢者士、ボランティア、ク  
ラウドワーク、健康、ポールウォークに、健康  
委員会、講演会や音楽会を開いたり  
しました。

そうすると顔見知りの集まりはな  
って、団地「見守りをやりたいから」  
という声が出ました。自然とそう  
いう声が出れば、やりやすいです。

いまでは皆さんが自発的にいろいろ  
な活動を行うようになって、活動活動  
もなっています。僕も、自分ごと  
としてこの見守り活動に参加し、感  
を重たにしたいと思っています。

東京都中央区多摩山麓六丁目  
シニアクラブ世帯代表者

竹本 長さん 73歳



My History

- 外資系の企業に長期勤務
- 50歳頃、当時の社長を助けていた  
くろこローラのボディービルをリタイア
- リタイア後、四十八歳まで、専任  
として、同時に、退職、退職、退職
- 60歳頃、社会福祉士の資格を取得
- 前職、介護士ホーミングサービスとして  
1年間、介護士として働く
- 64歳、自分の住んでいる多摩山麓六丁目  
でシニアクラブを立ち上げ、  
社長になる

What's シニアクラブ

高齢者同士が  
お互いに  
「監」をつくり、  
支え合う

少子高齢化で、多くの  
高齢者は単身になったり、  
夫婦だけの世帯になって  
います。地域とのつなが  
りが希薄だと、孤立する  
人がどんどん増えていく  
ので、互いに支え合う、  
困りごとを相談する、居  
場所がある、情報を得ら  
れる手段がある、そんな  
しくみが必要となります。  
シニアクラブのような、  
高齢者同士が集まって仲  
間づくりをし、顔の見え  
る関係になってサポート  
し合うのが必要です。

P22 「働き手診断シート」  
Cタイプをチェック!!

企業の努力もそこには必要

氏外協理事長

佐藤 優治さん



Talk&Talk

# シニア層をもっと活用するには？

シニアが働きやすい環境づくりを！

司会

是枝 祥子さん

大妻女子大学 名誉教授



## シニア層の介護業界への参入はこれからどんどん期待される

是枝 少子高齢社会と言われる高齢者がどんどん増える介護の必要分が増えています。ところが、現場で介護を担ってくださる若い方は減っています。そんな状況下、シニアの方々に介護現場でどんどん参入していただきたいと思っていますが…。

佐藤 これから、元気な高齢者が地域の中で活躍できる環境が整います。元気な高齢者が介護の世界に参加してもらえるきっかけが、介護保険制度を維持していくうえでも必要となってくるでしょう。実際、弊社にも50歳以上の社員が活躍しています。職力となるシニア層の活躍を業界が渴望しているのではないのでしょうか？

田中 私はいま、65歳ですが、44歳のときに父母を立て続けに亡くしました。そのときに両親をしっかりとケアできなかった思いが動機となっていました。2003年にヘルパーの養成講座を受け、2007年には介護福祉士の資格も取って、現在介護福祉士として、現場で働いています。

柴野 私は新聞社で働いていました

是枝 いろいろある事業者の中で、「キャリア」を選んだ理由は何ですか？

柴野 たまたま准看護学校のときのクラスメイトが、キャリアでアルバイトをしているのを知りました。それまで病院の世界しか知らなくて、そこは違う何かを感じました。

佐藤 田中さんは、「乗っばのフレアイ」にはどんな経緯で大働したのですか？

田中 最初は、ライフプランニングセンターというところで介護を勉強しました。その講師に弊社社長の片山がいて、実習も乗っばのフレアイに行き、生き生きと働くヘルパーさんたちを見て、いいなと思ったのです。

是枝 いま、柴野さんから介護の世界で働くのは自分のためでもあるといったお話が出ましたが、田中さんはその辺どうですか？

田中 たしかに自分のため、という部分は大きいと思います。結局ヘルパー自身も健康管理をしなければなりません。風邪をひかないように手の消毒もします。寒にずっといるとわがまま放題でも、一歩社会に出ると、多くの方に出会えますし、お叱りを受けることもあります。利用者さ

が、53歳のときに辞め、准看護師の学校に入りました。2年で資格を取ってその後2年間勉強して正看護師の資格も取りました。病棟勤務の正看護師を60歳まで2年はと働め、ちよと休もうかと思っていたところに、現在動めているカライズさんからお声がかかります。それ以外の火・水・木・金は、別のところで看護師としてフリーで働いています。

是枝 看護師の資格をもちながら、ヘルパーとして働いているんですね？ 珍しいケースですね。

柴野 看護と介護は、実は重なる部分が多いと思います。毎日現場に入り、利用者さんと深接することのできるヘルパーの仕事はエキサイティングです。ヘルパーの仕事に興味をもたきっかけは、自分もいつか衰えていく、看護や介護が必要になったときに、ちゃんとした知識と人脈をもって、セニアネットワークを張り巡らしておくことは、絶対プラスになると思っています。

## ひいては自分の介護予防にも

んのなかには人生のお手本になる方もたくさんいらっしゃるの、学びにもつながります。

柴野 シニア同士が助け合い、かつ自分のこととしても助かるというコンセプトですね。

佐藤 実際に親の介護と対峙したとき、介護をきちんと勉強しなければ、というところで興味をもち、リタイアするときに介護の勉強を始めようとする人が結構いますね。柴野さんが53歳でこういう決断をなさったのはすごいことだと思います。理屈は4代のことからそういう方が増えるともいいですね。

柴野 私はそのころは、もともとギブしていました(笑)。

田中 4代の方は私も気づかなかった。だんだん歳を重ねて気づくこともありますね。

佐藤 歳を重ねたからこそその良さですね。

是枝 そういう意味でも介護の仕事は、シニアに向いていると思います。

田中 利用者の方とは、だんだん年が近くなると、気持ちも少し近づける。若いころは両親の気持ちもわからなかつたのに、いまやとわかる気がしています。シニアになると急がない

# 自分より少し先を行く方々と仕事で接することで来し方行く末が見つめるよい機会にも。

—利用者さんとも歳が近いシニア層。心も身体のことともよく理解できる—





## 自分より少し先を行く方々と仕事で接することで来し方行く末がわかる 老いることを自ら見つめるよい機会にも。

—利用者さんとも歳が近いシニア層。心も身体のことともよく理解できる—



働き方は自分でアレンジできます。

働かろーず/ヘルパー・看護師

しばの じまろ

柴野 次郎さん 62歳

新聞社に編集者として勤務。准看護師・正看護師資格を取得。53歳のとき早期退職し、准看護師に。病院で臨床を経験し、60歳よりフリーに。現在障がい児のサポートや、カラーズでヘルパーの仕事に携わる。



とが増えるので、利用者さんの気持ちに寄り添えるようになるのかもしれない。

### いままでの人生経験、仕事経験、いろいろな意味での経験が役に立つ！

是枝 柴野さんは新聞社というジャンルの違うお仕事をずっとなさってきて、今までの経験が活かされていると感じてはありますか？

柴野 人を相手にしてきましたので、やはりコミュニケーションなしには成り立たない仕事です。そういった意味では介護や看護と共通していると思います。若いころはどはハッピーじゃないと感じて日々暮らしている利用者さんと接するわけですから、対人関係といいますか、コミュニケーションをうまく取ることが重要になってきます。コミュニケーションに関しては前の職場でさんさん経験してきましたかな。

是枝 人生経験も含め、いろんな経験が役に立つんですね。雇う側はどうでしょう？

佐藤 現状、50歳以上の方が多いと

感多なのは、男社会も女社会も一緒(笑)。その点、介護の世界はフラットで、それが新鮮でした。

田中 私が変わったと思うのは、先ほど少しお話ししましたが、自己管理をするようになったこと。健康診断もきちんと受けるようになったし、それだけじゃ足りないから人間ドックも受けています。私自身の介護予防にもなっています(笑)。介護で肩や腰を使うので、ストレッチも欠かせません。自分の身体を常によい状態にすることを考えようかなと思います。

佐藤 シニアの方にこの世界をお勧めするのに声をかけるとしたら？

柴野 世界はもう少し広いですよ。ずっと自分がやってきたことを続け

いうことは、そういう年齢層の方たちがたくさん手を挙げてくださっている結果だと思います。ここが流絶なように。次の50代の方にもことごとく入っていただけるように、そしてその方たちが60になり70になっても働きやすい環境をつくれるようにしていきたいと思います。肉体的負担も軽減でき、そのような業務努力ができる。好循環が生まれてくる気がします。

是枝 若い人が採用できないから、シニア層を雇う、という意識はもう経営者もやめてほしいですね。セカンドキャリアという考え方で。

田中 利用者の方もみなにはさうとうわがままな方もいらっしゃいます。でもどちらも経験を積んでいますので、そこに活かすべき。これがシニアのいいところではないでしょうか？

柴野 自分がよりハッピーになるための仕事と考えると楽しいですし、メリットです。介護の知識を持っていると、その後の人生も大きく変わります。歳を取る、介護が必要になる、この問題から逃げるわけにはいかなないので、知識を得ておくことはプラスになると思います。この世界を知り、こまもできていざというときに助けてもらえますし。

るのは楽です。定年後も職歴をやり、同じ職場にしがみつくと、言ううちよと語弊がありますが、現役からみれば嬉しいんです。それよりもうが、視野を広げ、自分のためになつて、「ありがたい」と言ってもらえる職場の選択もありでは？

是枝 シニアを受け入れる企業にも、シニアの方が働くのに優しい労働環境をつくっていただきたいですね。ぜひ！

佐藤 もっと働きやすい環境を整えれば、人が来ようかな。働きたくなくなるようなしなかけを企業側がもっとつくればいい。そうすれば、労働力確保に即ち地域のみで高齢者を支える元気な高齢者を育成できるようにもなります。相乗効果として大きいですね。我々事業者もそこに一歩踏み込んでいきたい。シニア層を活用していきたいですね。

田中 介護予防ですね。

柴野 月曜はスポーツクラブへ、火曜は介護の仕事をして、といったふうには、二重県ではなくいろんな選択肢をもつてやっていけたら楽しいのではないのでしょうか？あなたのプログラムのなかのひとつにこの仕事を組み込んだらいいかなと思いますか？



## 世界はもつと広い 働き方も自分でアレンジ できる介護の仕事は シニア層にフィットする

是枝 この仕事に親じて自分が変わったと思うのは、ほとんどこのことですか？

柴野 サラリーマンの世界は男社会と言いますが、かつてはそのおしい世界に私はいたわけです。ところが、看護師になつて180度ひっくり返ってしまいました。多数派は女性。師長も看護部長も全部女性で、男の肩身は非常に狭い(笑)。でも、多数派が

## 自分の健康管理 介護予防にも



働かろーず/ケアマネー兼つばのフレディ/介護福祉士

たなか ともこ

田中 友子さん 65歳

40代で父母を亡くし、十分にケアできなかった思いがきっかけで、介護の道に。ヘルパーを経て介護福祉士の資格を取得。自分の健康管理と介護予防のためにも仕事を続けている。

## Q3

年金をもらっていても、働くことは可能ですか？

**A3. 介護の職場にはフルタイムで働くだけでなく、さまざまな働き方があります。年金受給額を減らさずに働く方法もあります。**

年金額と給与収入の合計金額によっては、年金の一部または全部が支給停止となる在職老齢年金という制度※があります。年金を受給しながら働くこととする場合、この在職老齢年金制度が適用されるかどうかは大きな関心事でしょう。

その点、介護業界では常に人材が不足しているため、フルタイムで働きたい、夜勤だけ入りたい、週1日午後だけ働きたいといった多様な働き方のニーズに対し、多くの事業所が受け皿を用意しています。通常は、最低週3日以上といった求人条件が多いのですが、介護業界は、働き方にもっとフレキシブルに対応していますから、あなた自身の年金額や都合に合わせて、働く先が見つかる可能性はとても高いのです。

また、定年退職後も「バリバリ稼ぎたい」という方でも、「年齢問わず」の条件で職員を募集している事業所も多いので、行きたい職場が見つかるかもしれません。

※在職老齢年金制度の詳細は、日本年金機構などにお問い合わせください。

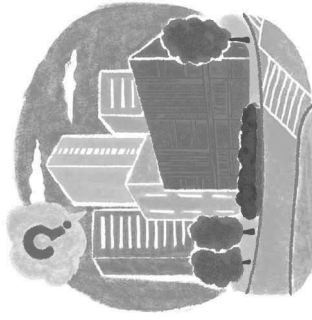
年金をもらっているけど大丈夫かな



## シニアになってからの就活

### 不安にお答えする Q&A

この仕事に興味がある。楽しく仕事をしたい。けど・・・資格なくても大丈夫？ 年金をもらって生活していても、働けるのだろうか？ どこに行ったら、仕事の相談ができるの？ そんな不安にお答えする Q&A です。



## Q4

認知症をもつ方と接し方について不安があります。研修などが必要なのを身につけることで、不安はだんだんなくなっていくのでしょうか？

ちゃんと研修を受けられるから？



**A4. 認知症をもつ方と接する際にはいくつかの留意点があります。研修などで必要な知識を身につけることで、不安はだんだんなくなっていくでしょう。**

認知症をもつ方に見られる症状や行動（記憶障害や失語、徘徊、暴言、妄想、睡眠障害など）に初めて遭遇した場合、驚かれる方が多いかもしれません。しかしその症状や行動の背景には、理由と原因があります。専門的な知識に基づき接し方をすれば、表情も穏やかになり、安定します。事業所などでも、認知症に関する正しい知識を得るための研修はよく行われています。

正確な知識と適切な接し方を身につければ、必要以上の不安を感じることはありません。もし、そういった研修を事業所が行っていない場合は、そこでの就業やボランティア活動は避けようがよいでしょう。

## Q5

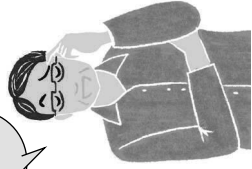
実際に介護の仕事やボランティアをしたいと考えた場合、どこに連絡をすればよいのでしょうか？

**A5. ハローワークや都道府県の社会福祉協議会のボランティアセンターなどが一般的ですが、身近にある介護事業所を訪ねてみるのも一つの手です。**

介護の仕事の求職方法としては、ハローワークや都道府県の社会福祉協議会が運営する福祉人材センターなどの窓口を訪ねてみるのが一般的な方法です。また、ボランティアであれば、同じく社会福祉協議会が運営するボランティアセンターでも情報を得ることができます。また、身近にある介護事業所を訪問し、相談してみるのが一つの方法でしょう。仕事の中心やボランティアとして役立てることなどを尋ねてみてください。実際に働いているスタッフの表情を見ることが、職場の雰囲気もわかります。

介護事業所は、地域の方々のつながりをとても重視しています。まちのよるず相談窓口として常に開かれていますので、常日ごから事業所主催の地域イベントなどにも気軽に出かけ、職員に積極的に話しかけてみてください。

体力に自信がない



## Q2

介護の仕事は重労働のイメージが・・・体力に自信がなくても大丈夫でしょうか？

**A2. 介護の仕事は体力が必要なものばかりではありません。**

傾聴ボランティアやサービスの送迎、法人の間接業務など、身体的な負担がかからない仕事や活動もたくさんあります。また、資格を取って、介護職として働く場合は、介護技術に関する専門的な研修を受けて身体への負担の少ない方法を学べるので、車いすへの移乗や入浴の支援、体位変換など体力を使う行為も、不安なく行えるようになります。予備校や入浴の発達、介護負担を軽減するロボットなどの導入も今後増えていくので、身体への負担はさらに減っていくと予想されます。

**Q1** 介護業界で働いた経験がなく、資格も持っていません。そんな私でも働けますか？

**A1. 経験や資格がなくても活躍の場は多数あります。**

趣味を活かすなら、ティザーサービスやグループホームなどでのレクリエーション支援、企業人としてのビジネススキルを活かすなら、事業所の人事や経理業務など、この業界での経験や資格がなくても、活躍できるフィールドがたくさんあります。

これを機に資格にチャレンジしたい、という方には、介護職員初任者研修といった資格取得のための公的な支援が活用できます。また、事業所独自で資格取得のための支援を行っているケースもありません。そこで働きながら資格を取得することも可能です。

どうしても、一歩を踏み出せないという方には、ボランティアとしてのスタートをお勧めします。介護との接点づくりから始めてみるのも、一つの方法ですね。

経験・資格がないけど大丈夫かな



※介護の資格取得に向けた支援については、自治体や介護事業者、各都道府県の介護労働安定センターなどにお問い合わせください。



いくつになっても自分らしさを  
発揮できるフィールドがある!



介護の現場で必要とされるシニアの力

平成 29 年 3 月発行  
発行 「民間事業者の質を高める」  
一般社団法人 全国介護事業者協議会  
〒101-0047 東京都千代田区神田 2-5-3 見谷ビル 3F  
TEL:03-5289-4381 FAX:03-5289-4382

企画・編集・制作 年友企画㈱  
制作協力 ㈱派銀総合研究所

編集委員長  
長枝 祥子 大妻女子大学 名誉教授

編集委員  
田中 栄子 ㈱ノバネットワークス代表取締役社長(民介協 副理事長)  
原田 守 民介協 専務理事  
牧野 史子 NPO法人 介護者サポートネットワークセンター アラジン 代表  
石井 久恵 (公財)介護労働安定センター 業務部次長  
田尻 久美子 ㈱カワーズ代表取締役(民介協 理事)  
菅野 雅子 フォスターリンク㈱ コンサルタント  
退田 三佳 年友企画㈱ 企画編集部次長  
田中 知宏 ㈱派銀総合研究所 主任研究員

写真撮影 藤牧 徹也  
イラスト 本山 浩子  
デザイン 廣田 修/中西 章夫  
取材・文 退田 三佳  
執筆協力: 田中 知宏

## 民介協とは？

民介協は、一般社団法人「民間事業者の質を高める」全国介護事業者協議会(略称:民介協)という在宅介護サービス事業者の全国団体であり、平成 28 年 12 月末時点で 600 社を超える介護事業者が加盟しています。

平成 14 年の団体設立以来、「介護サービスの質を高める」「介護が必要な方の地域での生活を支える」という使命のもと、全国 8 ブロックでの研修会の開催、厚生労働省をはじめとする関係機関への政策提言や要望書の提出、介護の質の向上に向けた調査研究などを実施してきました。

また、特に力を入れている取り組みとして、「全国事例発表会」と「若手経営者研修会」を毎年実施しています。事例発表会は、全国の会員事業者が日々実践しているケアの好事例に関する研究発表を行う場であり、開催回数は 11 回を数えます。他方、若手経営者研修会は、次世代の介護業界を担う若手経営者・経営幹部を対象に 2 泊 3 日の合宿形式で開催していて、次世代育成に特化した、業界内でも珍しい取り組みとして、マスメディア等で取り上げられる機会も増えてきました。

「団塊の世代」が後期高齢者となる 2025 年に向けて、在宅介護サービスのニーズはますます増加していくでしょう。急増する需要に対し、質の高いサービスを継続的に提供していくために、当協議会ではほとんどどんな積極的に活動を行っていきたいと考えています。

## この本のねらい

本書は、これまで介護というものにあまり接点のなかったシニアの方々に、介護業界や介護の仕事の現状と魅力について知っていただくことを目的に、作成いたしました。

介護の仕事は、人が人を支えることがその業務の中心にあります。そのため、気力・体力を要し、苦勞すること、つらさを感じることも少なくありません。しかし、さまざまな人と直接接するがゆえに、人間というものに対する新たな学びや発見がある。何歳になっても成長することができる非常にやりがいのある仕事だと当協議会では考えています。

本書をお読みになり、介護について少しでも興味をおもちになった方は、ぜひお近くの介護事業所が主催する地域イベントやセミナーなどに参加してみてください。介護サービスの内容や介護事業所で働く人々のことをより身近に感じていただければ、セカンドキャリアとしての介護の仕事やボランティアの魅力をご理解いただけるものと考えます。本書をお読みになられた方が、介護の現場で活躍されることを楽しみにしております。



「民間事業者の質を高める」  
一般社団法人 全国介護事業者協議会  
理事長 佐藤 敏治

## 【資料 2】

中高年齢者向けWEBアンケート調査

調査票



## あなたご自身に関するアンケート

### モニターの皆様へのお願い

本アンケートには、一般に公開していない情報が含まれる場合があります。  
アンケート内で知り得た情報について、決して第三者に口外しないよう、お願いします。

#### 「第三者への口外」に含まれる例

- 口頭、電話、メール等で友人・知人に話す
- 掲示板やブログに書き込む
- その他、手段を問わず、情報を第三者に伝達する行為

#### 注意事項

- 複数のアンケート画面を同時に開くと、正常に回答できません。  
アンケートはひとつずつ、回答ください。
- アンケートへの回答は、「動作環境」に記載の環境からお願いします。

上記の内容をご確認いただき、同意してご協力いただける場合のみ、「同意し、アンケート開始」を押してアンケートを開始してください。

同意し、アンケート開始

改ページ

問1 必須 あなたは介護事業所で仕事をしましたことがありますか。

※本調査における「仕事」とは（1）雇用契約を結び、労働の対価として賃金を受け取ること、あるいは（2）個人経営の事業所の経営をすること（個人事業主）を指します。  
※介護事業所での職種や役職は問いません。  
※介護事業所を経営していたことがある人は「1.仕事をしましたことがある」を選択してください。

- 1.仕事をしましたことがある
- 2.仕事をしましたことがない

次へ

終了条件

SC

優先順位	条件名	条件式
1	調査対象外のため	(問1 or 1)

改ページ

問2 必須 あなたは介護事業所で定期的かつ継続的なボランティア活動に従事した経験がありますか。  
※介護事業所でボランティアを行う団体を主宰していた方は「1.経験がある」を選択してください。

- 1.経験がある
- 2.経験がない

次へ

終了条件

SC

優先順位	条件名	条件式
2	調査対象外のため	(問2 or 1)

SC終了

終了条件

SC

優先順位	条件名	条件式
1	調査対象外のため	(問1 or 1)
2	調査対象外のため	(問2 or 1)

クォータ設定

SC終了質問

No	項番	質問	改ページ	質問タイプ
1	問2	あなたは介護事業所で定期的かつ継続的なボランティア活動に従事した経験がありますか。 ※介護事業所でボランティアを行う団体を主宰していた方は「1.経験がある」を選択してください。	改ページ	ラジオボタン

本調査対象条件

優先順位	条件名	条件式
1	55歳【男性】	((年齢 or 55歳~55歳) AND (性別 or 男性))
2	56歳【男性】	((年齢 or 56歳~56歳) AND (性別 or 男性))
3	57歳【男性】	((年齢 or 57歳~57歳) AND (性別 or 男性))
4	58歳【男性】	((年齢 or 58歳~58歳) AND (性別 or 男性))
5	59歳【男性】	((年齢 or 59歳~59歳) AND (性別 or 男性))
6	60歳【男性】	((年齢 or 60歳~60歳) AND (性別 or 男性))
7	61歳【男性】	((年齢 or 61歳~61歳) AND (性別 or 男性))
8	62歳【男性】	((年齢 or 62歳~62歳) AND (性別 or 男性))
9	63歳【男性】	((年齢 or 63歳~63歳) AND (性別 or 男性))
10	64歳【男性】	((年齢 or 64歳~64歳) AND (性別 or 男性))
11	65歳【男性】	((年齢 or 65歳~65歳) AND (性別 or 男性))
12	66歳【男性】	((年齢 or 66歳~66歳) AND (性別 or 男性))
13	67歳【男性】	((年齢 or 67歳~67歳) AND (性別 or 男性))
14	68歳【男性】	((年齢 or 68歳~68歳) AND (性別 or 男性))
15	69歳【男性】	((年齢 or 69歳~69歳) AND (性別 or 男性))
16	70歳【男性】	((年齢 or 70歳~70歳) AND (性別 or 男性))
17	55歳【女性】	((年齢 or 55歳~55歳) AND (性別 or 女性))
18	56歳【女性】	((年齢 or 56歳~56歳) AND (性別 or 女性))
19	57歳【女性】	((年齢 or 57歳~57歳) AND (性別 or 女性))
20	58歳【女性】	((年齢 or 58歳~58歳) AND (性別 or 女性))
21	59歳【女性】	((年齢 or 59歳~59歳) AND (性別 or 女性))
22	60歳【女性】	((年齢 or 60歳~60歳) AND (性別 or 女性))
23	61歳【女性】	((年齢 or 61歳~61歳) AND (性別 or 女性))
24	62歳【女性】	((年齢 or 62歳~62歳) AND (性別 or 女性))
25	63歳【女性】	((年齢 or 63歳~63歳) AND (性別 or 女性))
26	64歳【女性】	((年齢 or 64歳~64歳) AND (性別 or 女性))
27	65歳【女性】	((年齢 or 65歳~65歳) AND (性別 or 女性))
28	66歳【女性】	((年齢 or 66歳~66歳) AND (性別 or 女性))
29	67歳【女性】	((年齢 or 67歳~67歳) AND (性別 or 女性))
30	68歳【女性】	((年齢 or 68歳~68歳) AND (性別 or 女性))
31	69歳【女性】	((年齢 or 69歳~69歳) AND (性別 or 女性))
32	70歳【女性】	((年齢 or 70歳~70歳) AND (性別 or 女性))

本調査開始

問3 必須 あなたはどこに住んでいますか。

- 1.東京特別区（東京23区）
- 2.政令指定都市
- 3.その他市区
- 4.その他町村

次へ

問4 必須 あなたの昨年1年間におけるおおよその世帯年収はどのくらいですか。

1. なし
2. 1万円以上～100万円未満
3. 100万円以上～200万円未満
4. 200万円以上～300万円未満
5. 300万円以上～400万円未満
6. 400万円以上～500万円未満
7. 500万円以上～1,000万円未満
8. 1,000万円以上

次へ

問5 必須 下記の資格の保有・活用状況を教えてください。  
(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

【資格の保有状況および仕事をする上での活用状況】

資格	1. 保有しており、 仕事上活用している	2. 保有しているが、 仕事上活用していない	3. 保有していない
1. ヘルパー資格 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 介護福祉士 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 看護師・准看護師・保健師 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. PT・OT・ST※ →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 社会福祉士 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. その他の医療・福祉系資格 →	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

※PTとは「理学療法士」、OTとは「作業療法士」、STとは「言語聴覚士」を指します。

次へ

質問表示条件

条件式

((問5\_1 or 1,2) OR (問5\_2 or 1,2) OR (問5\_3 or 1,2) OR (問5\_4 or 1,2) OR (問5\_5 or 1,2) OR (問5\_6 or 1,2))

問6 必須 ■前問のいずれかの資格について「1.保有しており、仕事上活用している」、あるいは「2.保有しているが、仕事上活用していない」と回答した方にお伺いします■

前問で回答した資格を取得した理由を教えてください。  
(いくつでも)

- 1. 当時行っていた家族等の介護に役立てるため
- 2. 将来、家族等の介護に役立つと思ったから
- 3. 当該資格が必要な職種につくため
- 4. 就職・転職する際に有利と感じたから
- 5. 自己啓発のため
- 6. 昇給・昇格の要件であったから
- 7. 家族や友人・知人に勧められたから
- 8. 進学した先が医療・福祉関係の学校だったから
- 9. その他
- 10. 特に理由はない(排他)

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

((問5\_1 or 2) OR (問5\_2 or 2) OR (問5\_3 or 2) OR (問5\_4 or 2) OR (問5\_5 or 2) OR (問5\_6 or 2))

問7 必須 ■問5で、いずれかの資格について「2.保有しているが、仕事上活用していない」と回答した方にお伺いします■

先程、回答した資格を活用していない理由を教えてください。  
(いくつでも)

- 1. 今の仕事では資格が不要だから
- 2. 仕事自体をしていないから
- 3. 家族介護等の必要がなくなったから
- 4. 自己啓発のために取得したから
- 5. その他
- 6. 特に理由はない(排他)

次へ

改ページ

問8 必須 現在、あなたが働いている業種（業界）を教えてください。

※現在、仕事をしておらず、家庭での家事や育児を主にこなしている場合は「17. 主婦（主夫）業」を選択してください。

- |   |  |
|---|--|
| <input type="radio"/> 1.農林水産業           | <input type="radio"/> 10.宿泊業・飲食サービス業       |
| <input type="radio"/> 2.建設業             | <input type="radio"/> 11.生活関連サービス業、娯楽業     |
| <input type="radio"/> 3.製造業             | <input type="radio"/> 12.教育、学習支援業          |
| <input type="radio"/> 4.情報通信業           | <input type="radio"/> 13.医療・福祉             |
| <input type="radio"/> 5.運輸業、郵便業         | <input type="radio"/> 14.サービス業（他に分類されないもの） |
| <input type="radio"/> 6.卸売業、小売業         | <input type="radio"/> 15.公務                |
| <input type="radio"/> 7.金融業、保険業         | <input type="radio"/> 16.その他               |
| <input type="radio"/> 8.不動産業、物品賃貸業      | <input type="radio"/> 17.主婦（主夫）業           |
| <input type="radio"/> 9.学術研究、専門・技術サービス業 | <input type="radio"/> 18.仕事をしていない          |

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(問8 or 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16)

問9 必須 ■問8で「1.農林水産業」～「16.その他」のいずれかを回答した方にお伺いします■

必須

現在のあなたの就業形態を教えてください。

※会社等の法人を設立せずに自ら事業を行っている方は「7.自営業主」を選択してください。

- 1.正規社員・正規職員
- 2.派遣社員・派遣職員
- 3.契約社員・契約職員
- 4.パート・アルバイト
- 5.会社、法人等の役員
- 6.嘱託社員・嘱託職員
- 7.自営業主
- 8.家族従業者

次へ

改ページ



質問表示条件

条件式

(問9 or 1,2,3,4,6,7,8)

問10 ■問8で「1.農林水産業」～「16.その他」のいずれかを回答した方にお伺いします■  
必須

現在、あなたがお就きになられている職業の分類（職種）を教えてください。

(※) なお、どの職種に分類されるかわからない方は下記のURLを参照してください。  
[https://www.hellowork.go.jp/info/job\\_dictionary.html](https://www.hellowork.go.jp/info/job_dictionary.html)

- |                                    |  |
|------------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 1. 管理的職業     | <input type="radio"/> 7. 農林漁業の職業       |
| <input type="radio"/> 2. 専門的・技術的職業 | <input type="radio"/> 8. 生産工程の職業       |
| <input type="radio"/> 3. 事務的職業     | <input type="radio"/> 9. 輸送・機械運転の職業    |
| <input type="radio"/> 4. 販売の職業     | <input type="radio"/> 10. 建設・採掘の職業     |
| <input type="radio"/> 5. サービスの職業   | <input type="radio"/> 11. 運搬・清掃・包装等の職業 |
| <input type="radio"/> 6. 保安の職業     |  |

次へ

改ページ

問11 あなたがこれまでに最も長く働いた業種（業界）を教えてください。  
必須

※今まで仕事をしておらず、家庭での家事や育児を主におこなっていた場合は「17.主婦（主夫）業」を選択してください。

- |  |   |
|--|---|
| <input type="radio"/> 1. 農林水産業           | <input type="radio"/> 10. 宿泊業・飲食サービス業       |
| <input type="radio"/> 2. 建設業             | <input type="radio"/> 11. 生活関連サービス業、娯楽業     |
| <input type="radio"/> 3. 製造業             | <input type="radio"/> 12. 教育、学習支援業          |
| <input type="radio"/> 4. 情報通信業           | <input type="radio"/> 13. 医療・福祉             |
| <input type="radio"/> 5. 運輸業、郵便業         | <input type="radio"/> 14. サービス業（他に分類されないもの） |
| <input type="radio"/> 6. 卸売業、小売業         | <input type="radio"/> 15. 公務                |
| <input type="radio"/> 7. 金融業、保険業         | <input type="radio"/> 16. その他               |
| <input type="radio"/> 8. 不動産業、物品賃貸業      | <input type="radio"/> 17. 主婦（主夫）業           |
| <input type="radio"/> 9. 学術研究、専門・技術サービス業 | <input type="radio"/> 18. 仕事をすることがない        |

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(問11 or 1,2,3,4,5,6,7,8,9,10,11,12,13,14,15,16)

問12 ■前問で「1.農林水産業」～「16.その他」のいずれかを回答した方にお伺いします■  
必須

あなたが今まで経験した職業の分類（職種）の中で、最も経験の長いものを教えてください。

(※) なお、どの職種に分類されるかわからない方は下記のURLを参照してください。  
[https://www.hellowork.go.jp/info/job\\_dictionary.html](https://www.hellowork.go.jp/info/job_dictionary.html)

- |                                    |  |
|------------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 1. 管理的職業     | <input type="radio"/> 7. 農林漁業の職業       |
| <input type="radio"/> 2. 専門的・技術的職業 | <input type="radio"/> 8. 生産工程の職業       |
| <input type="radio"/> 3. 事務的職業     | <input type="radio"/> 9. 輸送・機械運転の職業    |
| <input type="radio"/> 4. 販売の職業     | <input type="radio"/> 10. 建設・採掘の職業     |
| <input type="radio"/> 5. サービスの職業   | <input type="radio"/> 11. 運搬・清掃・包装等の職業 |
| <input type="radio"/> 6. 保安の職業     |  |

次へ

改ページ

問13 あなたは今後、仕事をするについてどのように考えていますか。  
必須  
なお、60歳未満の方で現在仕事をされている方は、現在の職場を定年退職した後を想定してご回答ください。

1. 仕事をしたい
2. やや仕事をしたい
3. どちらともいえない
4. あまり仕事をしたくない
5. 仕事をしたくない

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(問13 or 1,2)

問14 ■前問で「1.仕事をしたい」あるいは「2.やや仕事をしたい」と回答した方にお伺いします■  
必須

あなたは、何歳くらいまで仕事をしたいと思いますか。  
(半角数字でご記入ください)

テキストボックス1 歳 くらいまで 【必須】(数字のみ(小数不可))(制限あり:55以上150以内)

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(問13 or 1,2)

問15 必須 ■問13で、「1.仕事をしたい」あるいは「2.やや仕事をしたい」と回答した方にお伺いします■

仕事をしたい理由について教えてください。  
(いくつでも)

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1.生活費を得るため        | <input type="checkbox"/> 9.自分の健康を維持するため     |
| <input type="checkbox"/> 2.生活水準をあげるため      | <input type="checkbox"/> 10.社会や地域に貢献したいため   |
| <input type="checkbox"/> 3.自分のお小遣いのため      | <input type="checkbox"/> 11.自分の視野を広げたいため    |
| <input type="checkbox"/> 4.借金・ローンの返済のため    | <input type="checkbox"/> 12.友人・知人を増やしたいため   |
| <input type="checkbox"/> 5.別居する子・孫への仕送りのため | <input type="checkbox"/> 13.余暇の時間を有効に使いたいため |
| <input type="checkbox"/> 6.子や孫にお小遣いをあげるため  | <input type="checkbox"/> 14.自分で起業を試みたいため    |
| <input type="checkbox"/> 7.将来の生活資金のため      | <input type="checkbox"/> 15.その他             |
| <input type="checkbox"/> 8.子や孫の将来のため       | <input type="checkbox"/> 16.特に理由はない(排他)     |

次へ

改ページ

条件設定

その他条件

回答数制限  
あり（1以上3まで）

質問表示条件

条件式  
(問13 or 1,2)

問16 必須 ■問13で、「1.仕事をしたい」あるいは「2.やや仕事をしたい」と回答した方にお伺いします■

今後、仕事をする上で重視することを教えてください。  
(3つまで)

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1.働く時間・日数が希望に合致すること   | <input type="checkbox"/> 13.知人・友人が職場内にいること      |
| <input type="checkbox"/> 2.働く場所が自宅に近いこと        | <input type="checkbox"/> 14.同年代が職場内にいること        |
| <input type="checkbox"/> 3.賃金・給与水準が希望に合致すること   | <input type="checkbox"/> 15.新しい知人・友人が得られること     |
| <input type="checkbox"/> 4.自身の仕事上の経験や技術が生かせること | <input type="checkbox"/> 16.新しい技術や知識が得られること     |
| <input type="checkbox"/> 5.自分の趣味等の経験や技術が生かせること | <input type="checkbox"/> 17.現在働いている業種で働き続けられること |
| <input type="checkbox"/> 6.職場内で明確な役割が与えられること   | <input type="checkbox"/> 18.現在働いている職種で働き続けられること |
| <input type="checkbox"/> 7.体力的に負担がないこと         | <input type="checkbox"/> 19.現在働いている組織で働き続けられること |
| <input type="checkbox"/> 8.精神的に負担がないこと         | <input type="checkbox"/> 20.人に使われない仕事であること      |
| <input type="checkbox"/> 9.年齢に関係なく採用してくれること    | <input type="checkbox"/> 21.職場の人間関係が良好であること     |
| <input type="checkbox"/> 10.法人の業績が良いこと         | <input type="checkbox"/> 22.仕事と家庭の両立ができること      |
| <input type="checkbox"/> 11.法人の知名度が高いこと        | <input type="checkbox"/> 23.その他                 |
| <input type="checkbox"/> 12.地域・社会へ貢献できること      | <input type="checkbox"/> 24.特にない(排他)            |

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(問13 or 3,4,5)

問17 必須 ■前問で「3.どちらともいえない」「4.あまり仕事をしたくない」「5.仕事をしたくない」のいずれかを回答した方に対してお伺いします■

前問で選択した回答を選んだ理由について教えてください。  
(いくつでも)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1.時間に縛られず自由に生活をしたいため      | <input type="checkbox"/> 10.自身の経験や能力でできる仕事がないと思うため |
| <input type="checkbox"/> 2.仕事をする体力がないため            | <input type="checkbox"/> 11.自分の年齢で働ける職場がないため       |
| <input type="checkbox"/> 3.趣味やボランティア活動等に時間を費やしたいため | <input type="checkbox"/> 12.新しい仕事を覚えるのが大変なため       |
| <input type="checkbox"/> 4.自身の健康上の理由のため            | <input type="checkbox"/> 13.人に使われたくないため            |
| <input type="checkbox"/> 5.家族の介護に時間をとられるため         | <input type="checkbox"/> 14.子や孫の育児に時間をとられるため       |
| <input type="checkbox"/> 6.家事に時間をとられるため            | <input type="checkbox"/> 15.仕事をするきっかけがないから         |
| <input type="checkbox"/> 7.他人と接するのがおっくうなため         | <input type="checkbox"/> 16.その他                    |
| <input type="checkbox"/> 8.仕事自体したくないため             | <input type="checkbox"/> 17.特に理由はない(排他)            |
| <input type="checkbox"/> 9.年金、退職金等で十分に生活ができるため     |  |

次へ

改ページ

問18 必須 あなたのボランティア活動への参加状況を教えてください。

- 1.参加している
- 2.以前は参加していたが、現在は参加していない
- 3.参加したことがない

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(問18 or 1,2)

問19 必須 ■前問で「1.参加している」あるいは「2.以前は参加していたが、現在は参加していない」と回答した方にお伺いします■

参加している（参加していた）ボランティア活動の分野・領域を教えてください。  
(いくつでも)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1.高齢者に対する活動           | <input type="checkbox"/> 9.災害時支援・防災活動          |
| <input type="checkbox"/> 2.障害者・障害児に対する活動       | <input type="checkbox"/> 10.観光案内活動             |
| <input type="checkbox"/> 3.子育て世帯、およびその児童に対する活動 | <input type="checkbox"/> 11.人権・平和活動            |
| <input type="checkbox"/> 4.スポーツに関連した活動         | <input type="checkbox"/> 12.交通安全・防犯活動          |
| <input type="checkbox"/> 5.芸術や歴史・文化に関連した活動     | <input type="checkbox"/> 13.その他公民館・学校等での教育活動   |
| <input type="checkbox"/> 6.自然保護・環境保全活動         | <input type="checkbox"/> 14.地域イベント（夏祭りなど）の運営支援 |
| <input type="checkbox"/> 7.公園管理・地域美化活動         | <input type="checkbox"/> 15.生涯学習に関する活動         |
| <input type="checkbox"/> 8.国際交流活動              | <input type="checkbox"/> 16.その他                |

次へ

改ページ

問20 必須 あなたの今後のボランティア活動への参画意向を教えてください。

- 1.主宰・参加いづれも行いたい
- 2.（参加は難しいが）主宰をしたい
- 3.（主宰は難しいが）参加はしたい
- 4.どちらともいえない
- 5.主宰・参加いづれも行うつもりはない

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

(問20 or 1,2,3)

問21 必須 ■前問で「1.主宰・参加いずれも行いたい」～「3.（主宰は難しいが）参加はしたい」のいずれかを回答した方にお伺いします■

参画をしたいボランティア活動の分野・領域を教えてください。  
(いくつでも)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1.高齢者に対する活動           | <input type="checkbox"/> 9.災害時支援・防災活動          |
| <input type="checkbox"/> 2.障害者・障害児に対する活動       | <input type="checkbox"/> 10.観光案内活動             |
| <input type="checkbox"/> 3.子育て世帯、およびその児童に対する活動 | <input type="checkbox"/> 11.人権・平和活動            |
| <input type="checkbox"/> 4.スポーツに関連した活動         | <input type="checkbox"/> 12.交通安全・防犯活動          |
| <input type="checkbox"/> 5.芸術や歴史・文化に関連した活動     | <input type="checkbox"/> 13.その他公民館・学校等での教育活動   |
| <input type="checkbox"/> 6.自然保護・環境保全活動         | <input type="checkbox"/> 14.地域イベント（夏祭りなど）の運営支援 |
| <input type="checkbox"/> 7.公園管理・地域美化活動         | <input type="checkbox"/> 15.生涯学習に関する活動         |
| <input type="checkbox"/> 8.国際交流活動              | <input type="checkbox"/> 16.その他                |

次へ

改ページ

条件設定

その他条件

回答数制限

あり（1以上3まで）

質問表示条件

条件式

(問20 or 1,2,3)

問22 必須 ■問20で、「1.主宰・参加いずれも行いたい」～「3.（主宰は難しいが）参加はしたい」のいずれかを回答した方にお伺いします■

ボランティア活動へ参画する上で重視することを教えてください。  
(3つまで)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1.活動する時間・日数が希望に合致すること     | <input type="checkbox"/> 11.知人・友人が参加していること       |
| <input type="checkbox"/> 2.活動場所が自宅に近いこと            | <input type="checkbox"/> 12.活動する仲間との人間関係が良好であること |
| <input type="checkbox"/> 3.交通費等の活動に係る経費が負担してもらえること | <input type="checkbox"/> 13.同年代が参加していること         |
| <input type="checkbox"/> 4.自身の経験や技術が生かせること         | <input type="checkbox"/> 14.新しい知人・友人が得られること      |
| <input type="checkbox"/> 5.自身の活動内での役割が明確であること      | <input type="checkbox"/> 15.新しい技術や知識が得られること      |
| <input type="checkbox"/> 6.体力的に負担がないこと             | <input type="checkbox"/> 16.自身の健康維持につながる         |
| <input type="checkbox"/> 7.精神的に負担がないこと             | <input type="checkbox"/> 17.団体の考えや理念に自身が共感できること  |
| <input type="checkbox"/> 8.活動する団体の信頼度が高いこと         | <input type="checkbox"/> 18.その他                  |
| <input type="checkbox"/> 9.活動団体の知名度が高いこと           | <input type="checkbox"/> 19.特になし(排他)             |
| <input type="checkbox"/> 10.地域・社会へ貢献できること          |  |

次へ

## 質問表示条件

条件式

(問20 or 4,5)

問23 必須 ■前問で「4.どちらともいえない」「5.主宰・参加いずれも行うつもりはない」のいずれかを回答した方にお伺いします■

前問で選択した回答を選んだ理由について教えてください。  
(いくつでも)

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 1.時間に縛られずに自由に生活をしたいため | <input type="checkbox"/> 9.他人と接するのがおっくうなため   |
| <input type="checkbox"/> 2.参加する体力がないため         | <input type="checkbox"/> 10.関心がある活動がないため     |
| <input type="checkbox"/> 3.趣味等に時間を費やしたいため      | <input type="checkbox"/> 11.自宅の近くでの活動がないため   |
| <input type="checkbox"/> 4.自身の健康上の理由のため        | <input type="checkbox"/> 12.活動団体等の情報入手が困難なため |
| <input type="checkbox"/> 5.家族介護に時間をとられるため      | <input type="checkbox"/> 13.外出時の交通手段がないため    |
| <input type="checkbox"/> 6.家事に時間をとられるため        | <input type="checkbox"/> 14.活動へ参画するきっかけがないから |
| <input type="checkbox"/> 7.子や孫の育児に時間をとられるため    | <input type="checkbox"/> 15.その他              |
| <input type="checkbox"/> 8.仕事に時間をとられるため        | <input type="checkbox"/> 16.特に理由はない(排他)      |

次へ

## 質問表示条件

条件式

((問20 or 1,2,3) OR (問23 or 14))

問24 必須 ■問20で、「1.主宰・参加いずれも行いたい」～「3.(主宰は難しいか)参加はしたい」のいずれかを回答した方、あるいは問23で「14.活動へ参画するきっかけがないから」と回答した方にお伺いします■

ボランティア活動に参画する際のきっかけとして、どのようなものがあればよいとお考えになれるか教えてください。  
(いくつでも)

- |   |
|---|
| <input type="checkbox"/> 1.家族や友人からの活動への勧誘・お誘い                                 |
| <input type="checkbox"/> 2.ボランティア団体による研修・セミナー                                 |
| <input type="checkbox"/> 3.行政や社協によるボランティア研修・セミナー                              |
| <input type="checkbox"/> 4.行政や社協の広報誌やホームページでのボランティア活動の紹介                      |
| <input type="checkbox"/> 5.回覧板や掲示板でのボランティア活動の紹介                               |
| <input type="checkbox"/> 6.ボランティア団体によるチラシやホームページ等での活動紹介                       |
| <input type="checkbox"/> 7.テレビや新聞によるボランティア活動の紹介                               |
| <input type="checkbox"/> 8.ボランティア活動にトライアルで参加する機会の提供                           |
| <input type="checkbox"/> 9.所属する組織や町内会によるボランティア活動の実施                           |
| <input type="checkbox"/> 10.その他： <input type="text"/> (回答必須)(入力制限なし)(文字数制限なし) |

次へ



問25 あなたのご家族（親戚も含めます）に介護が必要な方はいますか。  
必須  
※同居していない場合も含みます。

- 1.いる
- 2.過去にいたが、現在はいない
- 3.いない

次へ

質問表示条件

条件式

(問25 or 1,2)

問26 ■前問で「1.いる」あるいは「2.過去にいたが、現在はいない」と回答した方にお伺いします  
必須 ■  
あなたはそのご家族の介護にどのくらい関わっていますか（関わりましたか）。

- 1.主たる介護者である（介護者であった）
- 2.一部、関わっている（関わっていた）
- 3.ほとんど関わっていない（関わっていなかった）

次へ

質問表示条件

条件式

(問26 or 1,2)

問27 ■前問で「1.主たる介護者である（介護者であった）」「2.一部、関わっている（関わっていた）」と回答した方にお伺いします ■  
必須 ■  
あなたが実施したご家族への介護について、全体を通じて提供したいと考えている（考えていた）介護が実施できていますか（できましたか）。

- 1.実施できている（できた）
- 2.ある程度実施できている（できた）
- 3.どちらともいえない
- 4.あまり実施できていない（できなかった）
- 5.実施できていない（できなかった）

次へ

問28-1 必須 あなたの家族（親戚も含めます）や友人・知人について、介護の仕事をしている人はいますか。  
（矢印方向にそれぞれひとつだけ）

		1. いる	2. いない
1. 家族	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 知人・友人	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

改ページ

条件設定

引継ぎ設定

質問アイテム

No	引継ぎ元質問	回答 非回答	引継ぎ項目	表示項目	引継ぎ条件
1	問28-1.あなたの家族（親戚も含めます）や友人・知人について、介護の仕事をしている人はいますか。（矢印方向にそれぞれひとつだけ）	回答	1.家族 2.知人・友人	家族 知人・友人	1.いる

問28-2 必須 ■前問で「1.いる」を選んだ人にお伺いします■

介護の仕事をしている家族や知人・友人は、介護の仕事をどのように評価していますか。  
（矢印方向にそれぞれひとつだけ）

		1. 好意的	2. やや好意的	3. 普通	4. やや否定的	5. 否定的
1. 家族	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 知人・友人	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

次へ

改ページ

問29 必須 あなたと近隣の介護事業所との接点を教えてください。  
（いくつでも）

- 1.あなたやご家族が介護保険サービスを利用している
- 2.あなたやご家族が介護保険外のサービスを利用している
- 3.活動に対して寄付等を行っている
- 4.事業所主催の祭り等の行事に参加している
- 5.事業所主催のセミナー・勉強会に参加している
- 6.町内会や自治会等のメンバーとして交流がある
- 7.事業所の設備や建物等を利用している
- 8.家族や友人・知人が働いている
- 9.運営推進会議のメンバーである
- 10.現在の仕事の一環で介護事業所と付き合いがある
- 11.その他
- 12.特に接点はない(排他)
- 13.近くに介護事業所がない(排他)

次へ

問30 あなたの介護に関する知識の入手方法を教えてください。  
必須 (いくつでも)

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1.介護専門の新聞・雑誌・書籍の記事     | <input type="checkbox"/> 9.自治体や行政機関によるセミナー      |
| <input type="checkbox"/> 2.介護専門でない一般の新聞・雑誌・本の記事 | <input type="checkbox"/> 10.社会福祉協議会によるセミナー      |
| <input type="checkbox"/> 3.行政・社協の広報物            | <input type="checkbox"/> 11.介護業界団体・職能団体によるセミナー  |
| <input type="checkbox"/> 4.回覧板・掲示板              | <input type="checkbox"/> 12.介護サービスを利用する家族や友人・知人 |
| <input type="checkbox"/> 5.インターネット (SNS含む)      | <input type="checkbox"/> 13.介護事業所で働く家族や友人・知人    |
| <input type="checkbox"/> 6.テレビ・ラジオ              | <input type="checkbox"/> 14.12、13以外の家族や友人・知人    |
| <input type="checkbox"/> 7.介護事業者によるセミナー         | <input type="checkbox"/> 15.その他                 |
| <input type="checkbox"/> 8.地域包括支援センターによるセミナー    | <input type="checkbox"/> 16.特に情報は入手していない(排他)    |

次へ

問31 あなたが介護業界や介護の仕事に対して抱えているイメージを教えてください。  
必須 (いくつでも)

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 1.社会的な意義が大きい        | <input type="checkbox"/> 17.離職率が高い              |
| <input type="checkbox"/> 2.今後成長していく          | <input type="checkbox"/> 18.向いている・向いていないがはっきりする |
| <input type="checkbox"/> 3.資格や専門知識を活かせる      | <input type="checkbox"/> 19.社会的地位や評判が低い         |
| <input type="checkbox"/> 4.色々な人と交流できる        | <input type="checkbox"/> 20.補助金・助成金頼みの法人が多い     |
| <input type="checkbox"/> 5.やりがいがある           | <input type="checkbox"/> 21.知名度が低い法人が多い         |
| <input type="checkbox"/> 6.専門知識や技術が身につく      | <input type="checkbox"/> 22.規模が小さい法人が多い         |
| <input type="checkbox"/> 7.雇用不安が少ない          | <input type="checkbox"/> 23.福利厚生が充実していない        |
| <input type="checkbox"/> 8.長く働くことが可能である      | <input type="checkbox"/> 24.給与体系が明確でない法人が多い     |
| <input type="checkbox"/> 9.介護職以外にも多様な活躍の場がある | <input type="checkbox"/> 25.働く人が特定の層に偏っている      |
| <input type="checkbox"/> 10.仕事と家庭の両立ができる     | <input type="checkbox"/> 26.尊敬できる人がいない          |
| <input type="checkbox"/> 11.早い段階で責任ある役職につける  | <input type="checkbox"/> 27.人手不足の法人が多い          |
| <input type="checkbox"/> 12.自分のアイデアが仕事に反映できる | <input type="checkbox"/> 28.職場の人間関係が大変そうである     |
| <input type="checkbox"/> 13.体力的にきつい          | <input type="checkbox"/> 29.他業界に転職することが難しい      |
| <input type="checkbox"/> 14.精神的にきつい          | <input type="checkbox"/> 30.経営層のマネジメントが未熟である    |
| <input type="checkbox"/> 15.給与水準が低い          | <input type="checkbox"/> 31.その他                 |
| <input type="checkbox"/> 16.他人の人生に関わるので大変である | <input type="checkbox"/> 32.特にイメージはない(排他)       |

次へ

問32 必須 介護業界や介護の仕事に対する総合的なイメージを教えてください。

- 1.非常によい
- 2.よい
- 3.まあまあよい
- 4.どちらともいえない
- 5.あまりよくない
- 6.よくない
- 7.非常によくない

次へ

---

改ページ

問33 必須 あなたが仕事をする上で重視することが満たされた場合、以下の介護に関連する仕事をしてみたいと思いますか。  
(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

※仕事をする上で重視することについては、例えば、下記の選択肢を参考にしてください。

1. 働く時間・日数が希望に合致すること
2. 働く場所が自宅に近いこと
3. 賃金・給与水準が希望に合致すること
4. 自身の仕事上の経験や技術が生かせること
5. 自分の趣味等の経験や技術が生かせること
6. 体力的に負担がないこと
7. 精神的に負担がないこと
8. 年齢に関係なく採用してくれること
9. 法人の業績が良いこと
10. 法人の知名度が高いこと
11. 地域・社会へ貢献できること
12. 知人・友人が職場内にいること
13. 同年代が職場内にいること
14. 新しい知人・友人が得られること
15. 新しい技術や知識が得られること
16. 現在働いている業種で働き続けられること
17. 現在働いている職種で働き続けられること
18. 現在働いている組織で働き続けられること
19. 人に使われない仕事であること
20. 職場の人間関係が良好であること
21. 家庭との両立ができること
22. その他
23. 特にない

[意向]

	1. 仕事をしたい	2. やや仕事をしたい	3. どちらともいえない	4. あまり仕事をしたくない	5. 仕事をしたくない
<b>職種</b>					
1. ホームヘルパー (※1)	➡	○	○	○	○
2. ホームヘルパー (生活援助のみ) (※2)	➡	○	○	○	○
3. 特別養護老人ホームや通所介護事業所等での介護職 (※3)	➡	○	○	○	○
4. 特別養護老人ホームや通所介護事業所等での介護補助職 (※4)	➡	○	○	○	○
5. 間接部門での仕事 (※5)	➡	○	○	○	○
6. マネジメント業務 (※6)	➡	○	○	○	○
7. その他 (※7) : (回答任意)	➡	○	○	○	○
(回答任意)(入力制限なし)(文字数制限なし)					
8. 介護事業所の起業	➡	○	○	○	○

※1 介護が必要な方の自宅等を訪問し、食事、排せつ、入浴などの介助を通じ、要介護者等の生活を支えるサービスを提供する仕事。

※2 ※1のうち、調理や洗濯、掃除といった利用者の生活を援助するサービスのみを提供する仕事。

(入浴や排せつといった要介護者等の身体に触れる介護をする仕事は含まない。)

※3 特別養護老人ホームや通所介護事業所等で勤務し、当該施設を利用している、あるいは入居している要介護者に対して、食事、排せつ、入浴などの介助を通じ、生活を支えるサービスを提供する仕事。

※4 特別養護老人ホームや通所介護事業所等で勤務し、送迎や営繕、食事の配膳やシーツ交換、掃除、洗濯、利用者が行うレクリエーションの補助などを行なう仕事。

※5 事業所内の直接部門(介護部門)の業務を支援する部門に従事する仕事であり、具体的には人事・経理・総務・情報システム等の事務作業に携わる仕事。

※6 事業所内の直接部門や間接部門の業務を管理する仕事。

※7 1~6いずれにもあてはまらない仕事(具体的に記入)。

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

((問33\_1 or 1,2) OR (問33\_2 or 1,2) OR (問33\_3 or 1,2) OR (問33\_4 or 1,2) OR (問33\_5 or 1,2) OR (問33\_6 or 1,2) OR (問33\_7 or 1,2))

問34 ■前問の1～7いずれかにおいて、「1.仕事をしたい」あるいは「2.やや仕事をしたい」と回答した方にお伺いします■

他の仕事と比較して特に介護に関連する仕事をする上で不安を感じる点を教えてください。(いくつでも)

- 1.体力的に仕事が続けられるか不安を感じる
- 2.勤務日や勤務時間帯について希望が通らないのではないかと不安を感じる
- 3.休暇が取得しづらいのではないかと不安を感じる
- 4.おむつ交換や排泄介助など排泄ケアができるか不安を感じる
- 5.認知症の方への対応ができるか不安を感じる
- 6.人の死に身近に接することに不安を感じる
- 7.(介護や福祉に関する)専門的な技能が身に付けられるか不安を感じる
- 8.1人で利用者に接することになるのではないかと不安を感じる
- 9.職場の人間関係が良くないのではないかと不安を感じる
- 10.顧客(利用者)との人間関係の構築がうまくいかないのではないかと不安を感じる
- 11.いきなり現場での仕事を任されるのではないかと不安を感じる
- 12.(事業所の都合等で)補助職や間接部門の担当でも介護職として働くことになるのではないかと不安を感じる
- 13.給与体系や人事評価の仕組みが不明瞭なのではないかと不安を感じる
- 14.給与水準が低いのではないかと不安を感じる
- 15.入職後に実際にやることになる仕事のイメージがつかめず不安を感じる
- 16.その他:  (回答任意)(入力制限なし)(文字数制限なし)
- 17.特に不安はない(排他)

次へ

改ページ

問35 必須 あなたがボランティア活動を行う上で重視することが満たされた場合、以下の介護に関連するボランティア活動を行ないたいと思いますか。  
(矢印方向にそれぞれひとつだけ)

※ボランティア活動を行う上で重視することについては、例えば、下記の選択肢を参考にしてください。

- 1.活動する時間・日数が希望に合致すること
- 2.活動場所が自宅に近いこと
- 3.交通費等の活動に係る経費が負担してもらえること
- 4.自身の経験や技術が生かせること
- 5.体力的に負担がないこと
- 6.精神的に負担がないこと
- 7.活動する団体の信頼度が高いこと
- 8.活動団体の知名度が高いこと
- 9.地域・社会へ貢献できること
- 10.知人・友人が参加していること
- 11.活動する仲間との人間関係が良好であること
- 12.同年代が参加していること
- 13.新しい知人・友人が得られること
- 14.新しい技術や知識が得られること
- 15.自身の健康維持につながる
- 16.団体の考えや理念に自身が共感できること
- 17.その他
- 18.特になし

【意向】

1. 活動 したい	2. やや 活動 したい	3. ど ちら とも いえ ない	4. あ まり 活 動 し た く ない	5. 活 動 し た く な い
-----------------	-----------------------	---------------------------------	--	---------------------------------------

ボランティア活動						
1. 訪問系ボランティア活動（※1）	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 施設等でのアクティビティ支援等のボランティア活動（※2）	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 施設等での2.以外のボランティア活動（※3）	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 地域で行われる高齢者を対象とした交流会等の支援（※4）	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 介護のボランティア活動の側面支援（※5）	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. その他（※6）： (回答任意)	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
<input type="text"/> (回答任意)(入力制限なし)(文字数制限なし)						
7. 民生委員・社会福祉推進委員	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 介護のボランティア団体の立ち上げ	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. 介護のボランティア団体に対するプロボノ活動（※7）	➡	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

- ※1 要介護者を含む高齢者の自宅等を訪問し、調理や掃除などの家事援助、電球交換やゴミ出しなどのちょっとした手伝い、囲碁や将棋の相手や話し相手となるなどの活動。  
 ※2 特別養護老人ホームや通所介護事業所などにおいて、利用者に対し、自分の趣味を生かしたレクリエーション支援（編み物教室、絵画教室、生け花教室等の講師など）や介護予防のための運動の支援、外出支援などを行う活動。  
 ※3 特別養護老人ホームや通所介護事業所等で食事の配膳やシーツ交換、掃除、洗濯などを行う活動。相対的に利用者とは直接接点を持つ機会が少ない活動。  
 ※4 公民館等において行われる地域の要介護者を含む高齢者を対象とした茶話会や食事会、介護予防教室などの運営支援。  
 ※5 ボランティア活動に関連する事務作業やチラシづくり、会計などの手伝いを通じ、運営を側面から支える活動。  
 ※6 1～5にあてはまらない活動（具体的に記入）。  
 ※7 自らの専門知識や技能を生かして、介護のボランティア団体に対して、第三者的な立場から助言等を行う社会貢献活動。

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

((問35\_1 or 1,2) OR (問35\_2 or 1,2) OR (問35\_3 or 1,2) OR (問35\_4 or 1,2) OR (問35\_5 or 1,2) OR (問35\_6 or 1,2) OR (問35\_7 or 1,2))

問36 必須 ■前問の1～7のいずれかにおいて「1.活動したい」あるいは「2.やや活動したい」と回答した方にお伺いします■

他の領域のボランティア活動と比較し、特に介護に関連するボランティア活動を行う上で不安を感じる点を教えてください。  
(いくつでも)

- 1.体力的に活動を続けられるか不安を感じる
- 2.活動をともに行うボランティア間の人間関係が良くないのではないかと不安を感じる
- 3.活動が強制や義務のようになってしまわないかと不安を感じる
- 4.活動の対象である高齢者等との人間関係の構築がうまくいかないのではないかと不安を感じる
- 5.ボランティアに必要な技能・知識を身に付けられるか不安を感じる
- 6.自身が活動に対してどのような手伝いができるか分からず不安を感じる
- 7.介護職になるよう参加する団体や事業所側から促されるのではないかと不安を感じる
- 8.活動に要する費用等について自己負担が大きくなるのではないかと不安を感じる
- 9.その他:  (回答任意)(入力制限なし)(文字数制限なし)
- 10.特に不安はない(排他)

次へ

改ページ

質問表示条件

条件式

((問33\_1 or 3,4,5) AND (問33\_2 or 3,4,5) AND (問33\_3 or 3,4,5) AND (問33\_4 or 3,4,5) AND (問33\_5 or 3,4,5) AND (問33\_6 or 3,4,5) AND (問33\_7 or 3,4,5)) AND ((問35\_1 or 3,4,5) AND (問35\_2 or 3,4,5) AND (問35\_3 or 3,4,5) AND (問35\_4 or 3,4,5) AND (問35\_5 or 3,4,5) AND (問35\_6 or 3,4,5) AND (問35\_7 or 3,4,5))

問37 必須 ■問33の「1.ホームヘルパー」～「7.その他」でいずれも「3.どちらともいえない」「4.あまり仕事をしたくない」あるいは「5.仕事をしたくない」と回答し、また、問35の「1.訪問系ボランティア活動」～「7.民生委員・社会福祉推進委員」で「3.どちらともいえない」あるいは「4.あまり活動したくない」「5.活動したくない」と回答した方にお伺いします■

他の仕事やボランティア活動と比較して、特に介護に関連する仕事やボランティアをしたくないと考える理由を教えてください。  
(いくつでも)

- 1.体力的にきついから
- 2.精神的にきついから
- 3.給与水準が低いから
- 4.他人の人生に関わることが大変そうだから
- 5.新しい知識や技術を覚えるのが大変だから
- 6.介護関係の資格を持っていないから
- 7.介護に向いていないと思うから
- 8.介護業界や仕事の社会的地位や評価が低いから
- 9.自分が働いた(活動した)ことのある業界や領域以外関心がないから
- 10.家族から理解が得られないから
- 11.家族や友人・知人が以前利用した事業所やボランティア団体の質がよくなかったから
- 12.高齢者と接することが苦手だから
- 13.健康上の理由で働くことが難しいから
- 14.介護の仕事やボランティアの内容がイメージできないから
- 15.そもそも仕事やボランティアをしたくないから
- 16.介護事業所や介護ボランティア団体との接点がないから
- 17.その他:  (回答任意)(入力制限なし)(文
- 18.特に理由はない(排他)

次へ



アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。

【あなたご自身に関するアンケート】の獲得ポイント

〇〇ポイント

閉じる

## 【資料 3】

中高年齢者向けWEBアンケート調査

単純集計表

## ■単純集計表

問 1.あなたは介護事業所で仕事をしましたことがありますか。

※本調査における「仕事」とは(1)雇用契約を結び、労働の対価として賃金を受け取ること、あるいは(2)個人経営の事業所の経営をすること(個人事業主)を指します。

※介護事業所での職種や役職は問いません。

※介護事業所を経営していたことがある人は「1.仕事をしましたことがある」を選択してください。

	n	%
全体	1500	100.0
仕事をしましたことがある	0	0.0
仕事をしましたことがない	1500	100.0

問 2.あなたは介護事業所で定期的かつ継続的なボランティア活動に従事した経験がありますか。

※介護事業所でボランティアを行う団体を主宰していた方は「1.経験がある」を選択してください。

	n	%
全体	1500	100.0
経験がある	0	0.0
経験がない	1500	100.0

問 3.あなたはどこに住んでいますか。

	n	%
全体	1500	100.0
東京特別区(東京 23 区)	152	10.1
政令指定都市	417	27.8
その他市区	810	54.0
その他町村	121	8.1

問 4.あなたの昨年 1 年間におけるおおよその世帯年収はどのくらいですか。

	n	%
全体	1500	100.0
なし	67	4.5
1 円以上～100 万円未満	98	6.5
100 万円以上～200 万円未満	150	10.0
200 万円以上～300 万円未満	224	14.9
300 万円以上～400 万円未満	214	14.3
400 万円以上～500 万円未満	211	14.1
500 万円以上～1,000 万円未満	364	24.3
1,000 万円以上	172	11.5

問 5.下記の資格の保有・活用状況を教えてください。(それぞれひとつだけ)

	n	保有しており、 仕事上活用している	保有しているが、 仕事上活用していない	保有していない
ヘルパー資格	1500 100.0	0 0.0	36 2.4	1464 97.6
介護福祉士	1500 100.0	0 0.0	1 0.1	1499 99.9
看護師・准看護師・保健師	1500 100.0	3 0.2	2 0.1	1495 99.7
PT・OT・ST	1500 100.0	0 0.0	0 0.0	1500 100.0
社会福祉士	1500 100.0	0 0.0	0 0.0	1500 100.0
その他の医療・福祉系資格	1500 100.0	15 1.0	26 1.7	1459 97.3

問 6.前問のいずれかの資格について「1.保有しており、仕事上活用している」、あるいは「2.保有しているが、仕事上活用していない」と回答した方にお伺いします。前問で回答した資格を取得した理由を教えてください。(いくつでも)

	n	%
全体	82	100.0
当時行っていた家族等の介護に役立てるため	9	11.0
将来、家族等の介護に役立つと思ったから	15	18.3
当該資格が必要な職種につくため	18	22.0
就職・転職する際に有利と感じたから	20	24.4
自己啓発のため	9	11.0
昇給・昇格の要件であったから	1	1.2
家族や友人・知人に勧められたから	3	3.7
進学した先が医療・福祉関係の学校だったから	11	13.4
その他	9	11.0
特に理由はない	9	11.0

問 7.問 5 で、いずれかの資格について「2.保有しているが、仕事上活用していない」と回答した方にお伺いします。先程、回答した資格を活用していない理由を教えてください。(いくつでも)

	n	%
全体	64	100.0
今の仕事では資格が不要だから	9	14.1
仕事自体をしていないから	27	42.2
家族介護等の必要がなくなったから	7	10.9
自己啓発のために取得したから	10	15.6
その他	7	10.9
特に理由はない	10	15.6

問 8.現在、あなたが働いている業種（業界）を教えてください。

	n	%
全体	1500	100.0
農林水産業	7	0.5
建設業	45	3.0
製造業	94	6.3
情報通信業	27	1.8
運輸業、郵便業	23	1.5
卸売業、小売業	88	5.9
金融業、保険業	26	1.7
不動産業、物品賃貸業	32	2.1
学術研究、専門・技術サービス業	12	0.8
宿泊業・飲食サービス業	26	1.7
生活関連サービス業、娯楽業	17	1.1
教育、学習支援業	77	5.1
医療・福祉	22	1.5
サービス業(他に分類されないもの)	97	6.5
公務	38	2.5
その他	78	5.2
主婦(主夫)業	429	28.6
仕事をしていない	362	24.1

問 9.前問で「1.農林水産業」～「16.その他」のいずれかを回答した方にお伺いします。現在のあなたの就業形態を教えてください。

※会社等の法人を設立せずに自ら事業を行っている方は「7.自営業主」を選択してください。

	n	%
全体	709	100.0
正規社員・正規職員	240	33.9
派遣社員・派遣職員	11	1.6
契約社員・契約職員	67	9.4
パート・アルバイト	188	26.5
会社、法人等の役員	36	5.1
嘱託社員・嘱託職員	20	2.8
自営業主	133	18.8
家族従業者	14	2.0

問 10.問 8 で「1.農林水産業」～「16.その他」のいずれかを回答した方にお伺いします。現在、あなたがお就きになられている職業の分類（職種）を教えてください。

	n	%
全体	673	100.0
管理的職業	102	15.2
専門的・技術的職業	171	25.4
事務的職業	127	18.9
販売の職業	79	11.7
サービスの職業	116	17.2
保安の職業	16	2.4
農林漁業の職業	5	0.7
生産工程の職業	22	3.3
輸送・機械運転の職業	7	1.0
建設・採掘の職業	7	1.0
運搬・清掃・包装等の職業	21	3.1

問 11.あなたがこれまでに最も長く働いた業種（業界）を教えてください。

	n	%
全体	1500	100.0
農林水産業	7	0.5
建設業	76	5.1
製造業	248	16.5
情報通信業	66	4.4
運輸業、郵便業	44	2.9
卸売業、小売業	144	9.6
金融業、保険業	124	8.3
不動産業、物品賃貸業	20	1.3
学術研究、専門・技術サービス業	31	2.1
宿泊業・飲食サービス業	32	2.1
生活関連サービス業、娯楽業	21	1.4
教育、学習支援業	124	8.3
医療・福祉	44	2.9
サービス業(他に分類されないもの)	133	8.9
公務	106	7.1
その他	101	6.7
主婦(主夫)業	145	9.7
仕事をすることがない	34	2.3

問 12.前問で「1.農林水産業」～「16.その他」のいずれかを回答した方にお伺いします。あなたが今まで経験した職業の分類（職種）の中で、最も経験の長いものを教えてください。

	n	%
全体	1321	100.0
管理的職業	190	14.4
専門的・技術的職業	399	30.2
事務的職業	367	27.8
販売の職業	142	10.7
サービスの職業	123	9.3
保安の職業	16	1.2
農林漁業の職業	2	0.2
生産工程の職業	48	3.6
輸送・機械運転の職業	12	0.9
建設・採掘の職業	10	0.8
運搬・清掃・包装等の職業	12	0.9

問 13.あなたは今後、仕事をする事についてどのように考えていますか。なお、60歳未満の方で現在仕事をされている方は、現在の職場を定年退職した後を想定してご回答ください。

	n	%
全体	1500	100.0
仕事をしたい	345	23.0
やや仕事をしたい	267	17.8
どちらともいえない	268	17.9
あまり仕事をしたくない	203	13.5
仕事をしたくない	417	27.8

問 14.前問で「1.仕事をしたい」あるいは「2.やや仕事をしたい」と回答した方にお伺いします。あなたは、何歳くらいまで仕事をしたいと思いますか。(半角数字でご記入ください)

	値
全体	612
平均値	69.82
最小値	55.00
最大値	100.00

問 15.問 13 で、「1.仕事をしたい」あるいは「2.やや仕事をしたい」と回答した方にお伺いします。仕事をしたい理由について教えてください。(いくつでも)

	n	%
全体	612	100.0
生活費を得るため	378	61.8
生活水準をあげるため	149	24.3
自分のお小遣いのため	243	39.7
借金・ローンの返済のため	62	10.1
別居する子・孫への仕送りのため	10	1.6
子や孫にお小遣いをあげるため	59	9.6
将来の生活資金のため	193	31.5
子や孫の将来のため	47	7.7
自分の健康を維持するため	349	57.0
社会や地域に貢献したいため	157	25.7
自分の視野を広げたいため	158	25.8
友人・知人を増やしたいため	69	11.3
余暇の時間を有効に使いたいため	179	29.2
自分で起業を試みたいため	15	2.5
その他	17	2.8
特に理由はない	6	1.0



問 16.問 13 で、「1.仕事をしたい」あるいは「2.やや仕事をしたい」と回答した方にお伺いします。今後、仕事をする上で重視することを教えてください。(3 つまで)

	n	%
全体	612	100.0
働く時間・日数が希望に合致すること	349	57.0
働く場所が自宅に近いこと	239	39.1
賃金・給与水準が希望に合致すること	144	23.5
自身の仕事上の経験や技術が生かせること	176	28.8
自分の趣味等の経験や技術が生かせること	43	7.0
職場内で明確な役割が与えられること	22	3.6
体力的に負担がないこと	133	21.7
精神的に負担がないこと	100	16.3
年齢に関係なく採用してくれること	75	12.3
法人の業績が良いこと	3	0.5
法人の知名度が高いこと	1	0.2
地域・社会へ貢献できること	37	6.0
知人・友人が職場内にいること	5	0.8
同年代が職場内にいること	9	1.5
新しい知人・友人が得られること	9	1.5
新しい技術や知識が得られること	16	2.6
現在働いている業種で働き続けられること	37	6.0
現在働いている職種で働き続けられること	35	5.7
現在働いている組織で働き続けられること	23	3.8
人に使われない仕事であること	27	4.4
職場の人間関係が良好であること	66	10.8
仕事と家庭の両立ができること	39	6.4
その他	6	1.0
特になし	14	2.3

問 17.前問で「3.どちらともいえない」「4.あまり仕事をしたくない」「5.仕事をしたくない」のいずれかを回答した方に対してお伺いします。前問で選択した回答を選んだ理由について教えてください。(いくつでも)

	n	%
全体	888	100.0
時間に縛られず自由に生活をしたいため	343	38.6
仕事をする体力がないため	134	15.1
趣味やボランティア活動等に時間を費やしたいため	159	17.9
自身の健康上の理由のため	92	10.4
家族の介護に時間をとられるため	45	5.1
家事に時間をとられるため	46	5.2
他人と接するのがおっくうなため	55	6.2
仕事自体したくないため	89	10.0
年金、退職金等で十分に生活ができるため	195	22.0
自身の経験や能力のできる仕事がないと思うため	57	6.4
自分の年齢で働ける職場がないため	192	21.6
新しい仕事を覚えるのが大変なため	65	7.3
人に使われたくないため	60	6.8
子や孫の育児に時間をとられるため	27	3.0
仕事をするきっかけがないから	47	5.3
その他	26	2.9
特に理由はない	124	14.0

問 18.あなたのボランティア活動への参加状況を教えてください。

	n	%
全体	1500	100.0
参加している	189	12.6
以前は参加していたが、現在は参加していない	241	16.1
参加したことがない	1070	71.3

問 19.前問で「1.参加している」あるいは「2.以前は参加していたが、現在は参加していない」と回答した方にお伺いします。参加している（参加していた）ボランティア活動の分野・領域を教えてください。（いくつでも）

	n	%
全体	430	100.0
高齢者に対する活動	64	14.9
障害者・障害児に対する活動	57	13.3
子育て世帯、およびその児童に対する活動	44	10.2
スポーツに関連した活動	57	13.3
芸術や歴史・文化に関連した活動	35	8.1
自然保護・環境保全活動	50	11.6
公園管理・地域美化活動	45	10.5
国際交流活動	24	5.6
災害時支援・防災活動	50	11.6
観光案内活動	7	1.6
人権・平和活動	6	1.4
交通安全・防犯活動	26	6.0
その他公民館・学校等での教育活動	50	11.6
地域イベント(夏祭りなど)の運営支援	104	24.2
生涯学習に関する活動	29	6.7
その他	69	16.0

問 20.あなたの今後のボランティア活動への参画意向を教えてください。

	n	%
全体	1500	100.0
主宰・参加いずれも行いたい	45	3.0
(参加は難しいが)主宰をしたい	3	0.2
(主宰は難しいが)参加はしたい	339	22.6
どちらともいえない	591	39.4
主宰・参加いずれも行うつもりはない	522	34.8

問 21.前問で「1.主宰・参加いずれも行いたい」～「3.（主宰は難しいが）参加はしたい」のいずれかを回答した方にお伺いします。参画をしたいボランティア活動の分野・領域を教えてください。（いくつでも）

	n	%
全体	387	100.0
高齢者に対する活動	98	25.3
障害者・障害児に対する活動	60	15.5
子育て世帯、およびその児童に対する活動	90	23.3
スポーツに関連した活動	62	16.0
芸術や歴史・文化に関連した活動	85	22.0
自然保護・環境保全活動	108	27.9
公園管理・地域美化活動	66	17.1
国際交流活動	39	10.1
災害時支援・防災活動	67	17.3
観光案内活動	48	12.4
人権・平和活動	17	4.4
交通安全・防犯活動	47	12.1
その他公民館・学校等での教育活動	70	18.1
地域イベント(夏祭りなど)の運営支援	105	27.1
生涯学習に関する活動	71	18.3
その他	27	7.0

問 22.問 20 で、「1.主宰・参加いずれも行いたい」～「3.（主宰は難しいが）参加はしたい」のいずれかを回答した方にお伺いします。ボランティア活動へ参画する上で重視することを教えてください。（3つまで）

	n	%
全体	387	100.0
活動する時間・日数が希望に合致すること	197	50.9
活動場所が自宅に近いこと	163	42.1
交通費等の活動に係る経費が負担してもらえること	51	13.2
自身の経験や技術が生かせること	100	25.8
自身の活動内での役割が明確であること	39	10.1
体力的に負担がないこと	81	20.9
精神的に負担がないこと	60	15.5
活動する団体の信頼度が高いこと	41	10.6
活動団体の知名度が高いこと	1	0.3
地域・社会へ貢献できること	96	24.8
知人・友人が参加していること	9	2.3
活動する仲間との人間関係が良好であること	55	14.2
同年代が参加していること	14	3.6
新しい知人・友人が得られること	23	5.9
新しい技術や知識が得られること	9	2.3
自身の健康維持につながる	30	7.8
団体の考えや理念に自身が共感できること	57	14.7
その他	2	0.5
特になし	9	2.3

問 23.前問で「4.どちらともいえない」「5.主宰・参加いずれも行うつもりはない」のいずれかを回答した方にお伺いします。前問で選択した回答を選んだ理由について教えてください。（いくつでも）

	n	%
全体	1113	100.0
時間に縛られずに自由に生活をしたいため	338	30.4
参加する体力がないため	187	16.8
趣味等に時間を費やしたいため	151	13.6
自身の健康上の理由のため	119	10.7
家族介護に時間をとられるため	61	5.5
家事に時間をとられるため	61	5.5
子や孫の育児に時間をとられるため	37	3.3
仕事に時間をとられるため	108	9.7
他人と接するのがおっくうなため	124	11.1
関心がある活動がないため	96	8.6
自宅の近くでの活動がないため	76	6.8
活動団体等の情報入手が困難なため	22	2.0
外出時の交通手段がないため	18	1.6
活動へ参画するきっかけがないから	160	14.4
その他	43	3.9
特に理由はない	241	21.7

問 24.問 20 で、「1.主宰・参加いずれも行いたい」～「3.（主宰は難しいが）参加はしたい」のいずれかを回答した方、あるいは問 23 で「14.活動へ参画するきっかけがないから」と回答した方にお伺いします。ボランティア活動に参画する際のきっかけとして、どのようなものがあればよいとお考えになられるか教えてください。（いくつでも）

	n	%
全体	547	100.0
家族や友人からの活動への勧誘・お誘い	245	44.8
ボランティア団体による研修・セミナー	152	27.8
行政や社協によるボランティア研修・セミナー	144	26.3
行政や社協の広報誌やホームページでのボランティア活動の紹介	144	26.3
回覧板や掲示板でのボランティア活動の紹介	109	19.9
ボランティア団体によるチラシやホームページ等での活動紹介	108	19.7
テレビや新聞によるボランティア活動の紹介	70	12.8
ボランティア活動にトライアルで参加する機会の提供	151	27.6
所属する組織や町内会によるボランティア活動の実施	136	24.9
その他:	8	1.5

問 25.あなたのご家族（親戚も含めます）に介護が必要な方はいますか。※同居していない場合も含みます。

	n	%
全体	1500	100.0
いる	385	25.7
過去にいたが、現在はいない	278	18.5
いない	837	55.8

問 26.前問で「1.いる」あるいは「2.過去にいたが、現在はいない」と回答した方にお伺いします。あなたはそのご家族の介護にどのぐらい関わっていますか（関わりましたか）。

	n	%
全体	663	100.0
主たる介護者である(介護者であった)	213	32.1
一部、関わっている(関わっていた)	291	43.9
ほとんど関わっていない(関わっていなかった)	159	24.0

問 27.前問で「1.主たる介護者である（介護者であった）」「2.一部、関わっている（関わっていた）」と回答した方にお伺いします。あなたが実施したご家族への介護について、全体を通じて提供したいと考えている（考えていた）介護が実施できていますか（できましたか）。

	n	%
全体	504	100.0
実施できている(できた)	70	13.9
ある程度実施できている(できた)	245	48.6
どちらともいえない	116	23.0
あまり実施できていない(できなかった)	63	12.5
実施できていない(できなかった)	10	2.0

問 28-1.あなたの家族（親戚も含めます）や友人・知人について、介護の仕事をしている人はいますか。（矢印方向にそれぞれひとつだけ）

	n	いる	いない
1.家族	1500 100.0	150 10.0	1350 90.0
2.知人・友人	1500 100.0	390 26.0	1110 74.0

問 28-2.前問で「1.いる」を選んだ人にお伺いします。介護の仕事をしている家族や知人・友人は、介護の仕事をどのよう  
に評価していますか。（それぞれひとつだけ）

	n	好意的	やや好意的	普通	やや否定的	否定的
1.家族	150 100.0	49 32.7	42 28.0	46 30.7	10 6.7	3 2.0
2.知人・友人	390 100.0	105 26.9	93 23.8	162 41.5	29 7.4	1 0.3

問 29.あなたと近隣の介護事業所との接点を教えてください。（いくつでも）

	n	%
全体	1500	100.0
あなたやご家族が介護保険サービスを利用している	224	14.9
あなたやご家族が介護保険外のサービスを利用している	26	1.7
活動に対して寄付等を行っている	11	0.7
事業所主催の祭り等の行事に参加している	27	1.8
事業所主催のセミナー・勉強会に参加している	6	0.4
町内会や自治会等のメンバーとして交流がある	40	2.7
事業所の設備や建物等を利用している	15	1.0
家族や友人・知人が働いている	128	8.5
運営推進会議のメンバーである	4	0.3
現在の仕事の一環で介護事業所と付き合いがある	10	0.7
その他	32	2.1
特に接点はない	945	63.0
近くに介護事業所がない	146	9.7

問 30.あなたの介護に関する知識の入手方法を教えてください。(いくつでも)

	n	%
全体	1500	100.0
介護専門の新聞・雑誌・書籍の記事	53	3.5
介護専門でない一般の新聞・雑誌・本の記事	153	10.2
行政・社協の広報物	257	17.1
回覧板・掲示板	121	8.1
インターネット(SNS 含む)	275	18.3
テレビ・ラジオ	232	15.5
介護事業者によるセミナー	17	1.1
地域包括支援センターによるセミナー	36	2.4
自治体や行政機関によるセミナー	38	2.5
社会福祉協議会によるセミナー	25	1.7
介護業界団体・職能団体によるセミナー	7	0.5
介護サービスを利用する家族や友人・知人	146	9.7
介護事業所で働く家族や友人・知人	141	9.4
12、13 以外の家族や友人・知人	72	4.8
その他	35	2.3
特に情報は入手していない	737	49.1



問 31.あなたが介護業界や介護の仕事に対して抱いているイメージを教えてください。(いくつでも)

	n	%
全体	1500	100.0
社会的な意義が大きい	602	40.1
今後成長していく	266	17.7
資格や専門知識を活かせる	194	12.9
色々な人と交流できる	58	3.9
やりがいがある	134	8.9
専門知識や技術が身につく	89	5.9
雇用不安が少ない	64	4.3
長く働くことが可能である	78	5.2
介護職以外にも多様な活躍の場がある	39	2.6
仕事と家庭の両立ができる	12	0.8
早い段階で責任ある役職につける	2	0.1
自分のアイデアが仕事に反映できる	5	0.3
体力的にきつい	938	62.5
精神的にきつい	674	44.9
給与水準が低い	733	48.9
他人の人生に関わるので大変である	314	20.9
離職率が高い	572	38.1
向いている・向いていないがはっきりする	289	19.3
社会的地位や評判が低い	279	18.6
補助金・助成金頼みの法人が多い	174	11.6
知名度が低い法人が多い	72	4.8
規模が小さい法人が多い	203	13.5
福利厚生が充実していない	175	11.7
給与体系が明確でない法人が多い	205	13.7
働く人が特定の層に偏っている	76	5.1
尊敬できる人がいない	15	1.0
人手不足の法人が多い	552	36.8
職場の人間関係が大変そうである	195	13.0
他業界に転職することが難しい	26	1.7
経営層のマネジメントが未熟である	92	6.1
その他	13	0.9
特にイメージはない	209	13.9

問 32.介護業界や介護の仕事に対する総合的なイメージを教えてください。

	n	%
全体	1500	100.0
非常によい	25	1.7
よい	137	9.1
まあまあよい	198	13.2
どちらともいえない	536	35.7
あまりよくない	448	29.9
よくない	113	7.5
非常によくない	43	2.9

問 33.あなたが仕事をする上で重視することが満たされた場合、以下の介護に関連する仕事をしてみたいと思いますか。  
(それぞれひとつだけ)

※なお、問 13 において「仕事をしたくない」を選択した方の回答も含まれている点に留意されたい。

	n	仕事をしたい	やや仕事をしたい	どちらともいえない	あまり仕事をしたくない	仕事をしたくない
ホームヘルパー	1500 100.0	3 0.2	26 1.7	238 15.9	327 21.8	906 60.4
ホームヘルパー(生活援助のみ)	1500 100.0	3 0.2	75 5.0	256 17.1	285 19.0	881 58.7
特別養護老人ホームや 通所介護事業所等での介護職	1500 100.0	2 0.1	20 1.3	220 14.7	319 21.3	939 62.6
特別養護老人ホームや 通所介護事業所等での介護補助職	1500 100.0	5 0.3	37 2.5	224 14.9	315 21.0	919 61.3
間接部門での仕事	1500 100.0	12 0.8	151 10.1	330 22.0	221 14.7	786 52.4
マネジメント業務	1500 100.0	16 1.1	126 8.4	332 22.1	233 15.5	793 52.9
その他	1230 100.0	5 0.4	11 0.9	212 17.2	147 12.0	855 69.5
介護事業所の起業	1500 100.0	4 0.3	18 1.2	170 11.3	188 12.5	1120 74.7

問 34.前問の 1～7 いずれかにおいて、「1.仕事をしたい」あるいは「2.やや仕事をしたい」と回答した方にお伺いします。  
他の仕事と比較して特に介護に関連する仕事をする上で不安を感じる点を教えてください。(いくつでも)

	n	%
全体	239	100.0
体力的に仕事が続けられるか不安を感じる	157	65.7
勤務日や勤務時間帯について希望が通らないのではないかと不安を感じる	85	35.6
休暇が取得しづらいのではないかと不安を感じる	84	35.1
おむつ交換や排泄介助など排泄ケアができるか不安を感じる	119	49.8
認知症の方への対応ができるか不安を感じる	129	54.0
人の死に身近に接することに不安を感じる	70	29.3
(介護や福祉に関する)専門的な技能が身に付けられるか不安を感じる	44	18.4
1人で利用者に接することになるのではないかと不安を感じる	23	9.6
職場の人間関係が良くないのではないかと不安を感じる	43	18.0
顧客(利用者)との人間関係の構築がうまくいかないのではないかと不安を感じる	39	16.3
いきなり現場での仕事を任されるのではないかと不安を感じる	34	14.2
(事業所の都合等で)補助職や間接部門の担当でも 介護職として働くことになるのではないかと不安を感じる	38	15.9
給与体系や人事評価の仕組みが不明瞭なのではないかと不安を感じる	40	16.7
給与水準が低いのではないかと不安を感じる	77	32.2
入職後に実際にやることになる仕事のイメージがつかめず不安を感じる	42	17.6
その他:	1	0.4
特に不安はない	12	5.0

問 35.あなたがボランティア活動を行う上で重視することが満たされた場合、以下の介護に関連するボランティア活動を行ないたいと思いますか。(それぞれひとつだけ) ※問 20 で「主宰・参加いずれも行うつもりはない」を選択した方の回答も含まれている点に留意されたい。

	n	活動したい	やや活動したい	どちらともいえない	あまり活動したくない	活動したくない
1.訪問系ボランティア活動	1500 100.0	8 0.5	94 6.3	310 20.7	299 19.9	789 52.6
2.施設等でのアクティビティ支援等のボランティア活動	1500 100.0	10 0.7	118 7.9	317 21.1	295 19.7	760 50.7
3.施設等での 2.以外のボランティア活動	1500 100.0	12 0.8	102 6.8	334 22.3	286 19.1	766 51.1
4.地域で行われる高齢者を対象とした交流会等の支援	1500 100.0	16 1.1	149 9.9	351 23.4	253 16.9	731 48.7
5.介護のボランティア活動の側面支援	1500 100.0	13 0.9	139 9.3	358 23.9	248 16.5	742 49.5
6.その他	1221 100.0	2 0.2	12 1.0	265 21.7	169 13.8	773 63.3
7.民生委員・社会福祉推進委員	1500 100.0	14 0.9	67 4.5	287 19.1	273 18.2	859 57.3
8.介護のボランティア団体の立ち上げ	1500 100.0	4 0.3	19 1.3	188 12.5	255 17.0	1034 68.9
9.介護のボランティア団体に対するプロボノ活動	1500 100.0	4 0.3	23 1.5	213 14.2	249 16.6	1011 67.4

問 36.前問の 1～7 のいずれかにおいて「1.活動したい」あるいは「2.やや活動したい」と回答した方にお伺いします。  
 他の領域のボランティア活動と比較し、特に介護に関連するボランティア活動を行う上で不安を感じる点を教えてください。(いくつでも)

	n	%
全体	286	100.0
体力的に活動を続けられるか不安を感じる	172	60.1
活動をともに行うボランティア間の人間関係が良くないのではないかと不安を感じる	61	21.3
活動が強制や義務のようになってしまわないかと不安を感じる	115	40.2
活動の対象である高齢者等との人間関係の構築がうまくいかないのではないかと不安を感じる	76	26.6
ボランティアに必要な技能・知識を身に付けられるか不安を感じる	89	31.1
自身が活動に対してどのような手伝いができるか分からず不安を感じる	95	33.2
介護職になるよう参加する団体や事業所側から促されるのではないかと不安を感じる	41	14.3
活動に要する費用等について自己負担が大きくなるのではないかと不安を感じる	67	23.4
その他	1	0.3
特に不安はない	27	9.4

問 37.問 33 の「1.ホームヘルパー」～「7.その他」でいずれも「3.どちらともいえない」「4.あまり仕事をしたくない」あるいは「5.仕事をしたくない」と回答し、また、問 35 の「1.訪問系ボランティア活動」～「7.民生委員・社会福祉推進委員」で「3.どちらともいえない」あるいは「4.あまり活動したくない」「5.活動したくない」と回答した方にお伺いします。他の仕事やボランティア活動と比較して、特に介護に関連する仕事やボランティアをしたくないと考える理由を教えてください。(いくつでも)

	n	%
全体	920	100.0
体力的にきついから	504	54.8
精神的にきついから	361	39.2
給与水準が低いから	179	19.5
他人の人生に関わることが大変そうだから	197	21.4
新しい知識や技術を覚えるのが大変だから	62	6.7
介護関係の資格を持っていないから	184	20.0
介護に向いていないと思うから	234	25.4
介護業界や仕事の社会的地位や評価が低いから	31	3.4
自分が働いた(活動した)ことのある業界や領域以外関心がないから	27	2.9
家族から理解が得られないから	12	1.3
家族や友人・知人が以前利用した事業所やボランティア団体の質がよくなかったから	10	1.1
高齢者と接することが苦手だから	102	11.1
健康上の理由で働くことが難しいから	92	10.0
介護の仕事やボランティアの内容がイメージできないから	26	2.8
そもそも仕事やボランティアをしたくないから	89	9.7
介護事業所や介護ボランティア団体との接点がないから	37	4.0
その他:	26	2.8
特に理由はない	166	18.0

【アンケート回答者の属性】

	n	%
全体	1500	100.0
55歳【男性】	42	2.8
56歳【男性】	42	2.8
57歳【男性】	41	2.7
58歳【男性】	40	2.7
59歳【男性】	42	2.8
60歳【男性】	43	2.9
61歳【男性】	43	2.9
62歳【男性】	46	3.1
63歳【男性】	48	3.2
64歳【男性】	51	3.4
65歳【男性】	54	3.6
66歳【男性】	59	3.9
67歳【男性】	58	3.9
68歳【男性】	55	3.7
69歳【男性】	34	2.3
70歳【男性】	35	2.3
55歳【女性】	42	2.8
56歳【女性】	43	2.9
57歳【女性】	42	2.8
58歳【女性】	41	2.7
59歳【女性】	43	2.9
60歳【女性】	44	2.9
61歳【女性】	44	2.9
62歳【女性】	47	3.1
63歳【女性】	50	3.3
64歳【女性】	53	3.5
65歳【女性】	57	3.8
66歳【女性】	63	4.2
67歳【女性】	62	4.1
68歳【女性】	59	3.9
69歳【女性】	37	2.5
70歳【女性】	40	2.7

性別

	n	%
全体	1500	100.0
男性	733	48.9
女性	767	51.1

年齢（\_\_歳）

	値
全体	1500
平均値	62.77
最小値	55.00
最大値	70.00

## 都道府県

	n	%
全体	1500	100.0
北海道	84	5.6
青森県	10	0.7
岩手県	9	0.6
宮城県	25	1.7
秋田県	9	0.6
山形県	9	0.6
福島県	11	0.7
茨城県	26	1.7
栃木県	20	1.3
群馬県	17	1.1
埼玉県	104	6.9
千葉県	77	5.1
東京都	201	13.4
神奈川県	138	9.2
新潟県	23	1.5
富山県	10	0.7
石川県	13	0.9
福井県	6	0.4
山梨県	7	0.5
長野県	14	0.9
岐阜県	17	1.1
静岡県	44	2.9
愛知県	107	7.1
三重県	18	1.2
滋賀県	17	1.1
京都府	36	2.4
大阪府	128	8.5
兵庫県	81	5.4
奈良県	23	1.5
和歌山県	11	0.7
鳥取県	5	0.3
島根県	4	0.3
岡山県	20	1.3
広島県	33	2.2
山口県	10	0.7
徳島県	7	0.5
香川県	6	0.4
愛媛県	15	1.0
高知県	1	0.1
福岡県	54	3.6
佐賀県	3	0.2
長崎県	8	0.5
熊本県	16	1.1

大分県	5	0.3
宮崎県	7	0.5
鹿児島県	8	0.5
沖縄県	3	0.2
海外	0	0.0





# 【資料 4】

講演資料

～中高年齢者の介護分野への参入に向けた阻害要因等～

民介協「平成28年度 老人保健健康増進等事業 成果報告」

## ～中高年齢者の介護分野への参入 に向けた阻害要因等～

2017年2月18日

有識者検討委員会 座長

大妻女子大学 名誉教授

是枝 祥子

## 実施事業名・背景

- 事業名・・・中高年齢者の介護分野への参入に向けた阻害要因等の実態把握並びに実態に即した啓発ツールの開発に関する調査研究
- 介護分野への人材の参入促進「すそ野を拡げる」・・・中高年齢者を想定
- 実際に中高年齢層人材を活用している事業者では、挨拶や身だしなみなどの基本マナー、家事技術の習得、対象者とコミュニケーション、評価、中高年齢層向けの啓発が手薄、中高年になってから始める不安が多い
- 参入阻害要因、働き方、参入支援策や促進への期待に関する調査がない状況

## 事業の目的

- 中高年齢層の介護分野への参入に関する実態把握と実態に即した啓発ツールの開発を目的
- 全国規模のアンケート調査を通じて参入に関する意向等を詳細に把握
- 介護分野で中高年齢者を活用している事業者へのヒヤリングを通して、事業者として求める人材像や職域の手法・視点、教育体制を把握
- 働いている中高年齢者本人にヒヤリング・・・介護分野で働く前後を比較した(働く前にイメージしていた)阻害要因に対する感覚の変化、具体的な働き方
- 啓発シート作成・・・「働き方診断シート(仮称)」「介護分野の仕事紹介リーフレット(仮称)」

## 事業の特徴

- 在宅介護事業者が多数加盟している全国規模の事業者団体としてのネットワークを活用し、先進的な中高年齢層人材の活用事例の掘り起こし
- 過去に若年層向け啓発ツールを作成したノウハウを活用・・・啓発ツール作成
- 全国研修会や会員ネットワークを通じ、調査研究成果の普及啓発や中高年齢者の介護分野への参入を強力に推進

## 事業内容

- 全国の中高齢者を対象とするWEBアンケート調査
- 中高年齢者を活用する法人および介護分野で働く中高年齢者を対象としたヒヤリング調査・職域開拓、教育体制、募集方法、処遇、長く働き続けてもらうためのコツ
- 啓発ツールの開発と関係機関等への配布・周知・啓発・働き方診断シート、介護分野の仕事(ボランティアを含む)を紹介するリーフレット作成
- 成果報告・啓発セミナーの開催、事業報告書の作成

## 事業の効果

- 老人保健福祉サービスの一層の充実や介護保険制度の適正な運営の効果
- 研究を通じて得られる全国の中高齢層における介護分野への参入意向や課題に関するアンケートデータについて、政策検討資料として活用
- 全国各地の事業所が、啓発ツールと口コミ、自治体との連携による取り組みを組み合わせる働きかけを行い、中高年齢層の参入者数の地域レベルを底上げ

## 事業の活用

- 啓発リーフレットを全国の自治体や社会福祉協議会、シルバー人材センター、福祉人材センター、介護事業者へ配布、研修会で成果内容の普及・啓発
- 啓発ツールは、次年度以降も当協議会や会員事業者が実施する教材として活用
- 調査結果を踏まえ、事業者団体として今後の中高年齢層の介護分野での活用のあり方と自治体や国に求められる参入・就業継続支援策に関する政策提言を行う

## WEBアンケート調査の実施概要

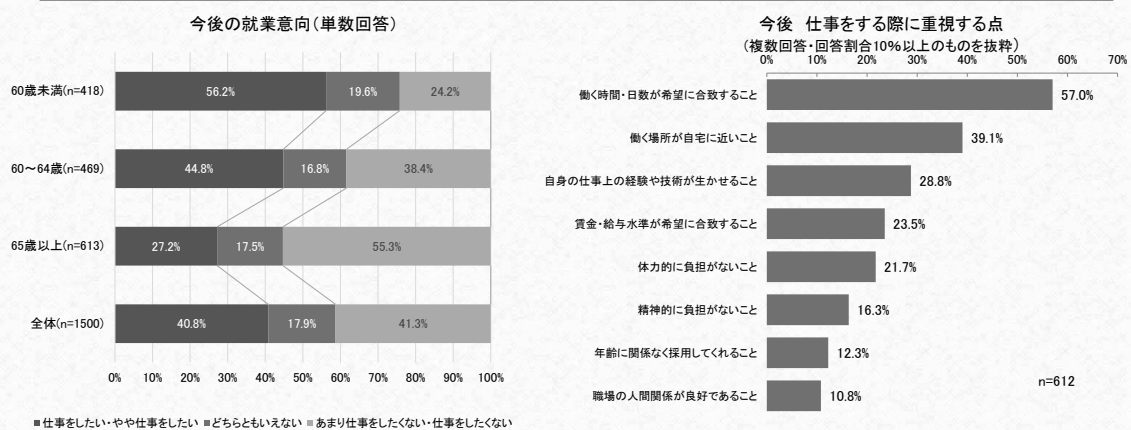
項目	内容
調査対象	過去に介護事業所で仕事をしたことがなく、かつ介護事業所で定期的にボランティア活動に従事していない、全国の55歳から70歳までの方
調査件数	1,500件
実施時期	2016年11月22日～11月25日
調査手法	WEBアンケート調査会社(楽天リサーチ)のモニターを対象としたWEB調査
設問項目	・回答者の属性 ・今後の就業意向について ・今後のボランティア活動への参画意向について ・普段の生活における介護との接点 ・介護業界に対するイメージおよび就業・活動意向 など

※アンケート結果の詳細は、本年4月以降の民介協ホームページで公開する「事業実施報告書」をご参照ください。

## WEBアンケート対象者の分布

	男性	女性	計
60歳未満	207人	211人	418人
60～64歳	231人	238人	469人
65歳以上	295人	318人	613人
計	733人	767人	1,500人

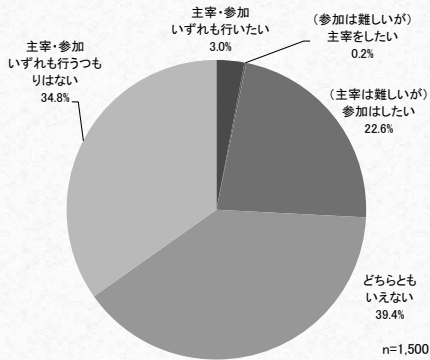
## 今後の就業意向





# 今後のボランティア活動意向

今後のボランティア活動意向(単数回答)



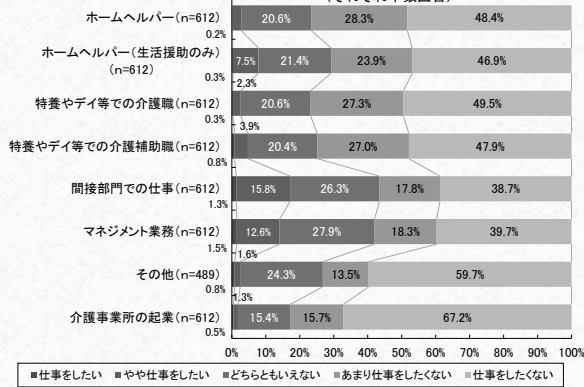
今後参画したいボランティア活動分野 (複数回答・回答割合15%以上のものを抜粋)



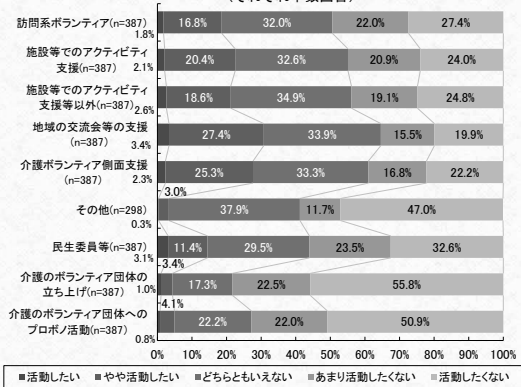
# 介護業界での就業・ボランティア意向

(今後の仕事やボランティアについて「仕事(活動)をしたい」「やや仕事(活動)をしたい」と回答した方のみ対象)

介護の仕事への就業意向 (それぞれ単数回答)



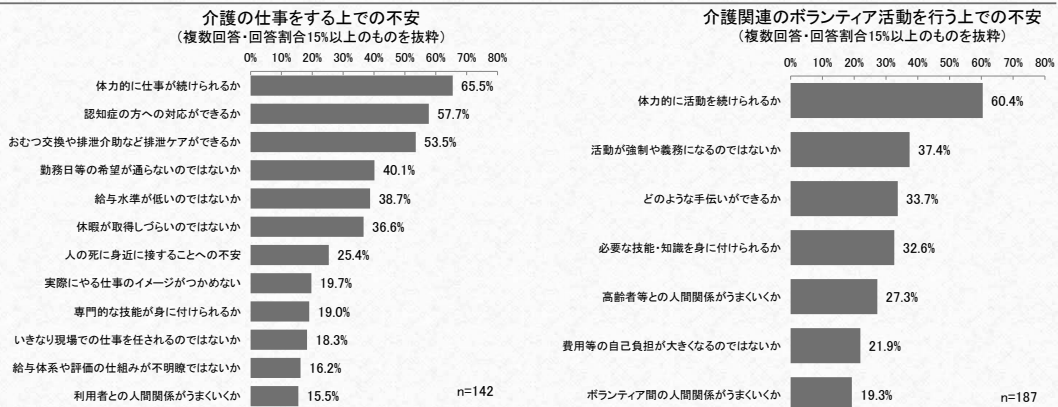
介護関連のボランティアへの参画意向 (それぞれ単数回答)





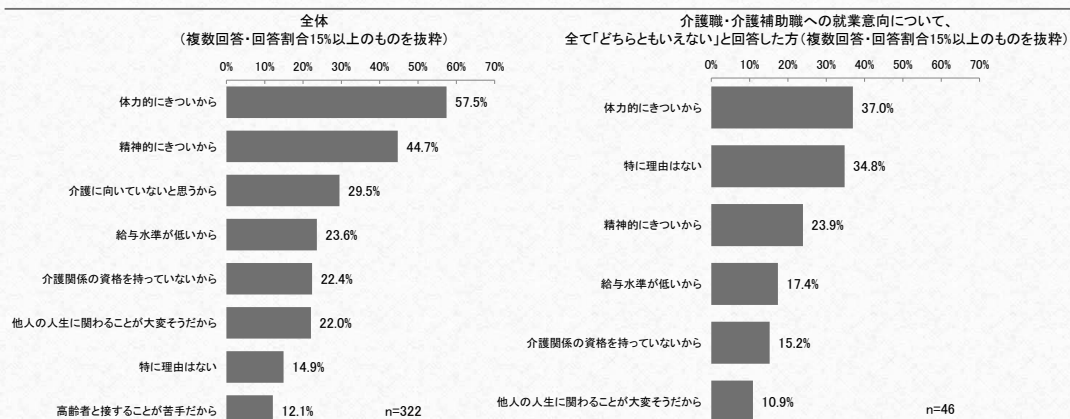
# 介護業界での就業・ボランティアに対する不安

(介護の仕事への就業意向・介護関連のボランティアへの参画意向について  
「仕事(活動)をしたい」「やや仕事(活動)をしたい」と回答した方のみ対象)



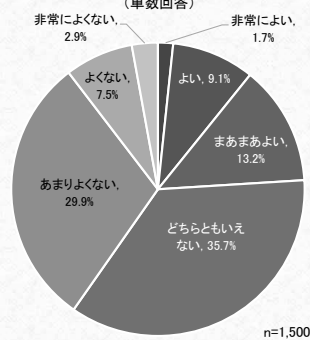
# 介護の仕事に就くことを躊躇する理由

(介護の仕事への就業意向について、  
「どちらともいえない」「あまりしたくない」「したくない」と回答した方のみ対象)

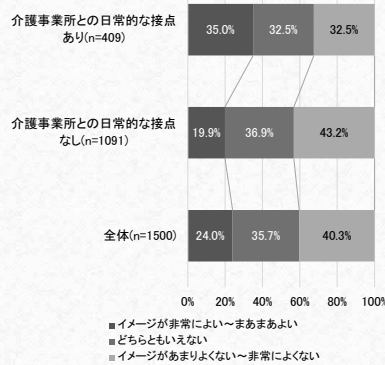


# 介護業界や介護の仕事に対するイメージ

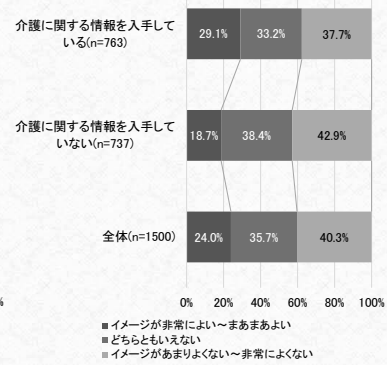
介護業界や介護の仕事に対するイメージ (単数回答)



介護事業所との日常的な接点の有無と介護に対するイメージ

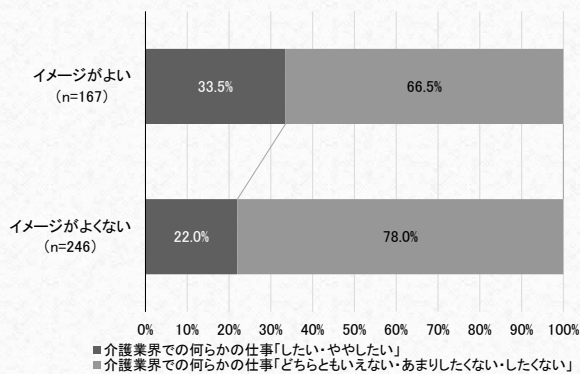


介護に関する情報入手の有無と介護に対するイメージ

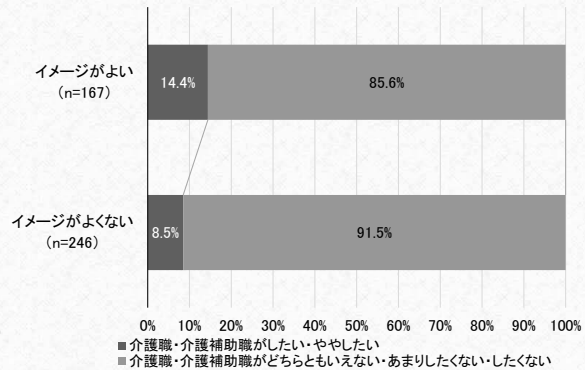


# 介護に対するイメージと介護業界での就業意向

介護に対するイメージと介護業界での就業意向 (介護の仕事全般)



介護に対するイメージと介護業界での就業意向 (介護職・介護補助職)



## アンケート結果の要約

- アンケート回答者の約4割が今後も仕事をしたいと回答し、また、約3割がボランティア活動に参画したいと回答。
- 上記の仕事をしたい方・ボランティア活動をしたい方について、介護の仕事やボランティアへの就業・参画意向を見ると、特に介護職・介護補助職への就業意向は低くなっている(例:ホームヘルパーとして「仕事をしたい」「やや仕事をしたい」と回答した方の割合は2.8%、特養等の介護職の場合は2.6%)。
- 介護の仕事に就くことを躊躇する理由としては、体力面・精神面のきつさを挙げる回答が多い。また、「介護に向いていない」「給与水準が低い」「資格を持っていない」といったものも挙げられている。
- 他方、介護業界や介護の仕事について肯定的なイメージを持っている方が約2割にとどまっている状況がある。ただし、こうした業界へのイメージは、日常的な介護事業所との接点、あるいは介護に関する情報入手の状況により、改善する傾向が見られる。
- 介護業界や介護の仕事に肯定的なイメージを持つ群とそうでない群を分け、介護の仕事への就業意向を比較すると、肯定的なイメージを持つ群のほうが介護の仕事をしたいと考える方の割合が高くなっている。
- (1つの仮説として)介護の仕事をより正確に知ってもらうことができれば、シニア層の業界に対するイメージが変わり、就業意向が高まる可能性がある。

⇒シニア層・中高年齢層に「介護の仕事を知ってもらい、身近に感じてもらう」ためのツールの必要性

## 介護の仕事を身近に感じてもらうためのツール

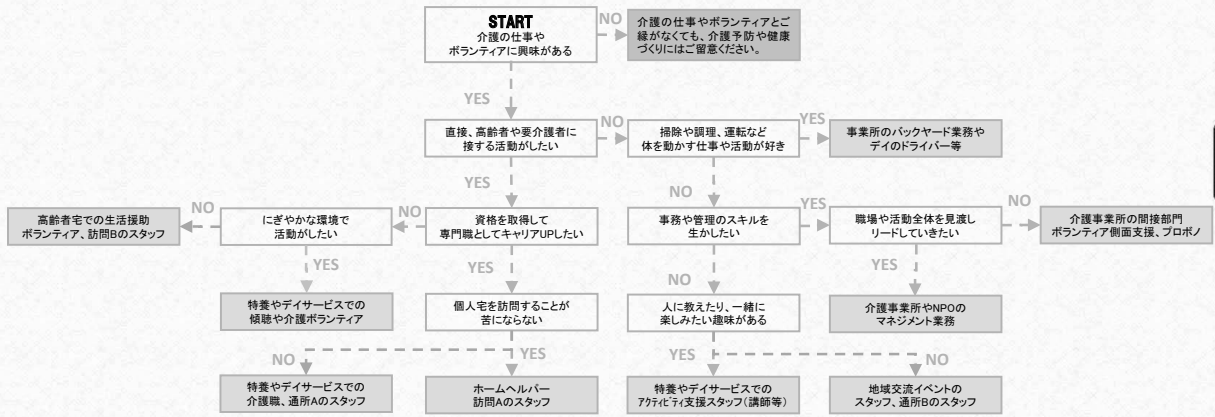
(介護分野の仕事紹介リーフレット(仮称)インタビュー記事 イメージ)



※内容やデザインイメージは、今後委員会での議論を経て変更・修正が行われる可能性があります。

# 介護の仕事を手近に感じてもらうためのツール

(働き方診断シート(仮称)・yes/noチャート案)



※内容は、今後委員会での議論を経て変更・修正が行われる可能性があります。

ご静聴ありがとうございました

本事業の成果冊子は、後日、皆様方へお送りさせていただきます。

厚生労働省「平成 28 年度 老人保健健康増進等事業」成果報告

中高年齢者の介護分野への参入に向けた阻害要因等の  
実態把握ならびに実態に即した啓発ツールの開発  
に関する調査研究  
**事業実施報告書**

一般社団法人『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会